

暮らしの中の性別役割分担 の実態と意識調査 ＜中間報告＞

2025年9月

豊岡市役所くらし創造部 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課

（受託者：株式会社Will Lab）

調査概要

1. 調査目的

市民の暮らしの中における家事・育児や介護、社会活動に関する分担の実態と意識を把握し、ジェンダーギャップ解消に向けた施策の参考とする。
2. 調査地域

豊岡市全域
3. 調査方法

WEBシステムを利用したインターネット調査、郵送調査
4. 回答数

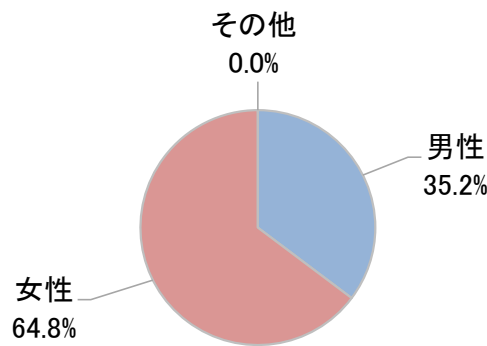
回収1,531
5. 調査時期:

2025年4月28日～ 2025年5月23日
6. 回答属性:

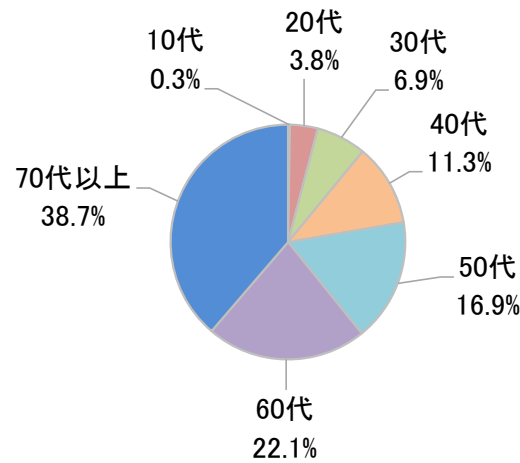
属性未回答の回答は全体回答に含むが、属性別には含まない
7. 回答補正:

配偶者なしの回答属性で配偶者の職業を記載ありのケースは、「配偶者なし」と補正

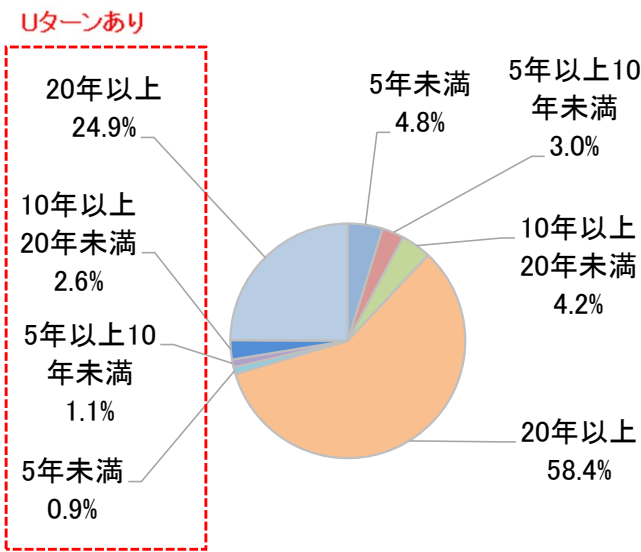
[Q1]性別をお答えください。
(n=1510)



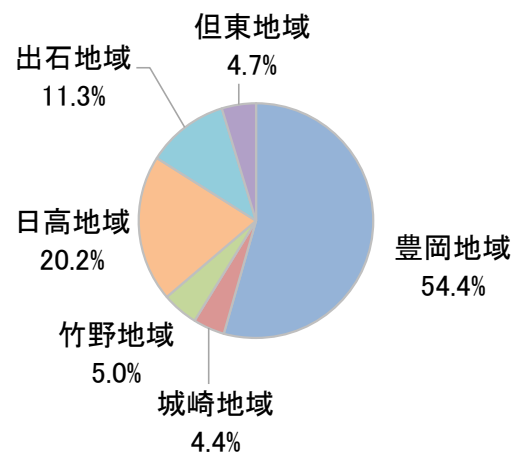
[Q2]年齢
(n=1511)



[Q3]豊岡市の居住何年(Uターン有無)
(n=1474)



[Q4]居住地域
(n=1509)



(参考) 前回2021年の調査対象との比較

【前回の調査概要と回収結果】

- 1. 調査地域 豊岡市全域
- 2. 調査方法: WEBシステムを利用したインターネット調査
- 3. 回答数 : 回収635、うち有効626(紙回答分のうち、未回答を含む9回答を除く)
- 4. 調査時期: 2021年7月20日～ 2021年8月10日
- 5. 回収結果

	年齢							
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	626	18	53	147	177	130	62	39
男性	283	2	20	50	81	75	38	17
女性	339	14	33	96	96	54	24	22
その他	4	2	0	1	0	1	0	0

	地域						
	全体	豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域
	626	338	21	40	121	70	36
男性	283	148	10	19	55	32	19
女性	339	186	11	21	66	38	17
その他	4	4	0	0	0	0	0

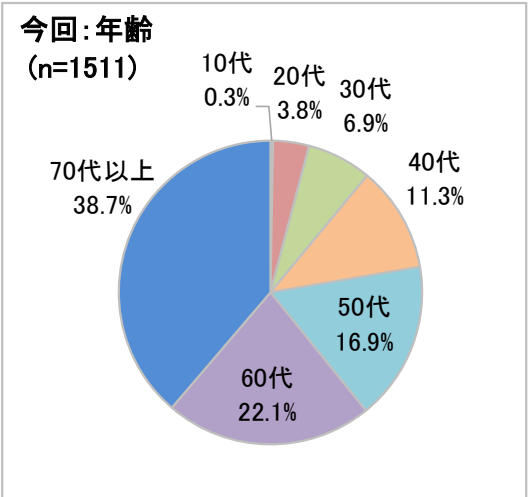
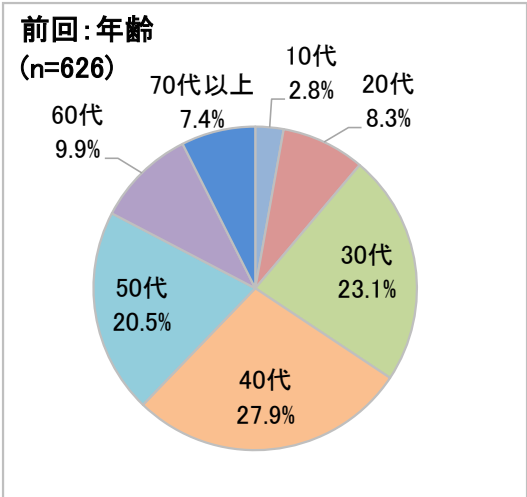
【今回の回収結果】

10代が少なく、60代以上が60.8%。(前回調査では60代以上が16.1%)

	年齢							
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	1511	4	58	104	171	255	334	585
男性	532	3	32	48	91	85	107	166
女性	977	1	26	56	80	170	226	418
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

	地域						
	全体	豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域
	1509	821	66	75	305	171	71
男性	532	355	12	12	102	42	9
女性	976	466	54	63	203	128	62
その他	0	0	0	0	0	0	0

※その他:性別の選択肢「男性・女性・その他」のうち、「その他」を選択した人
本調査で性別比較をする際は、サンプル数の少なから「その他」を比較対象としていない(但し、全体集計に含む)



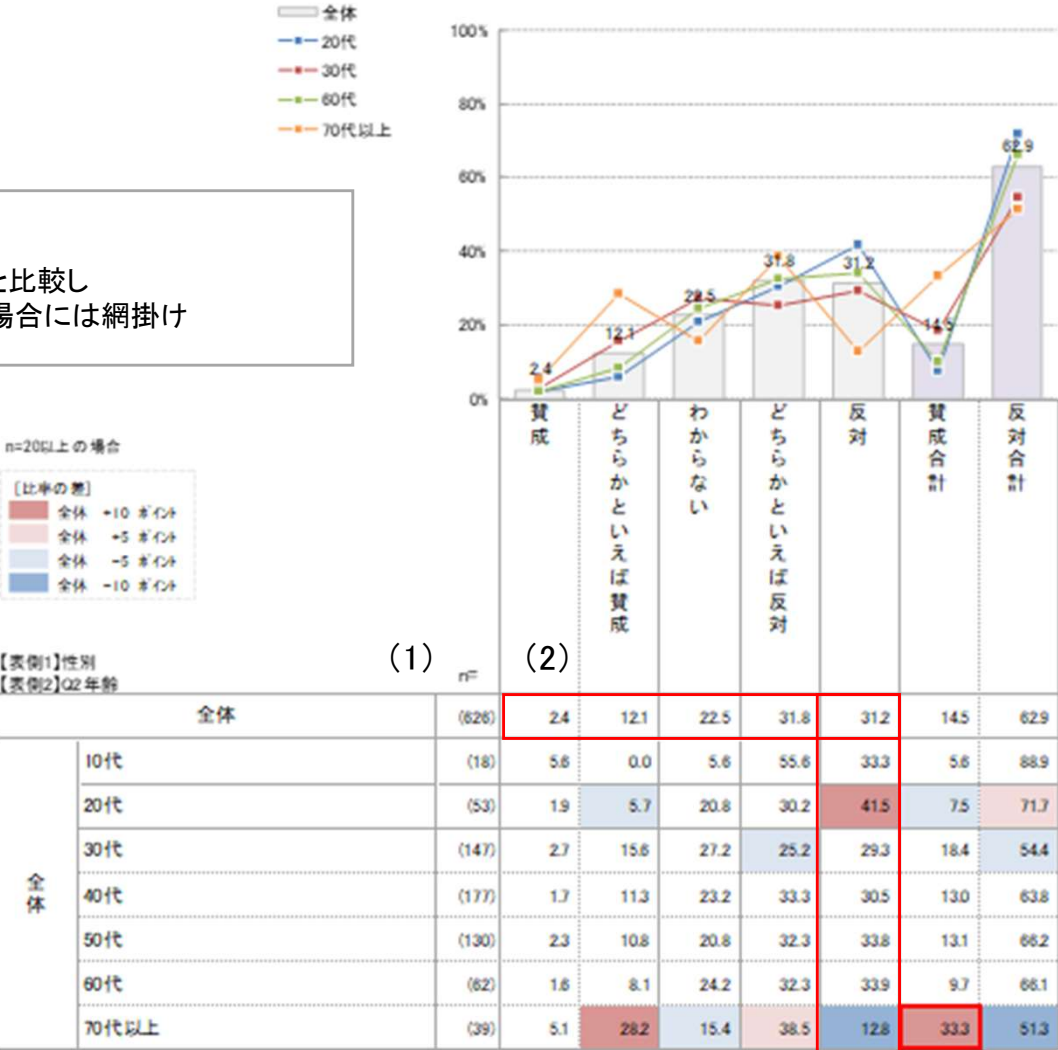
調査概要(レポートの見方)

- (1)n は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。
- (2)集計は、小数点第二位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (3)回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問については、全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合がある。
- (4)比率の差を網掛け 全体の回答の比率(%)と比較し、5ポイント以上差がある場合には網掛け

グラフの見方の例

(4)

n=10以上の場合には
全体の回答の比率(%)と比較し
5ポイント以上差がある場合には網掛け



- (3)
全体より
+10ptの「20代」
-10ptの「70代以上」
に網掛け

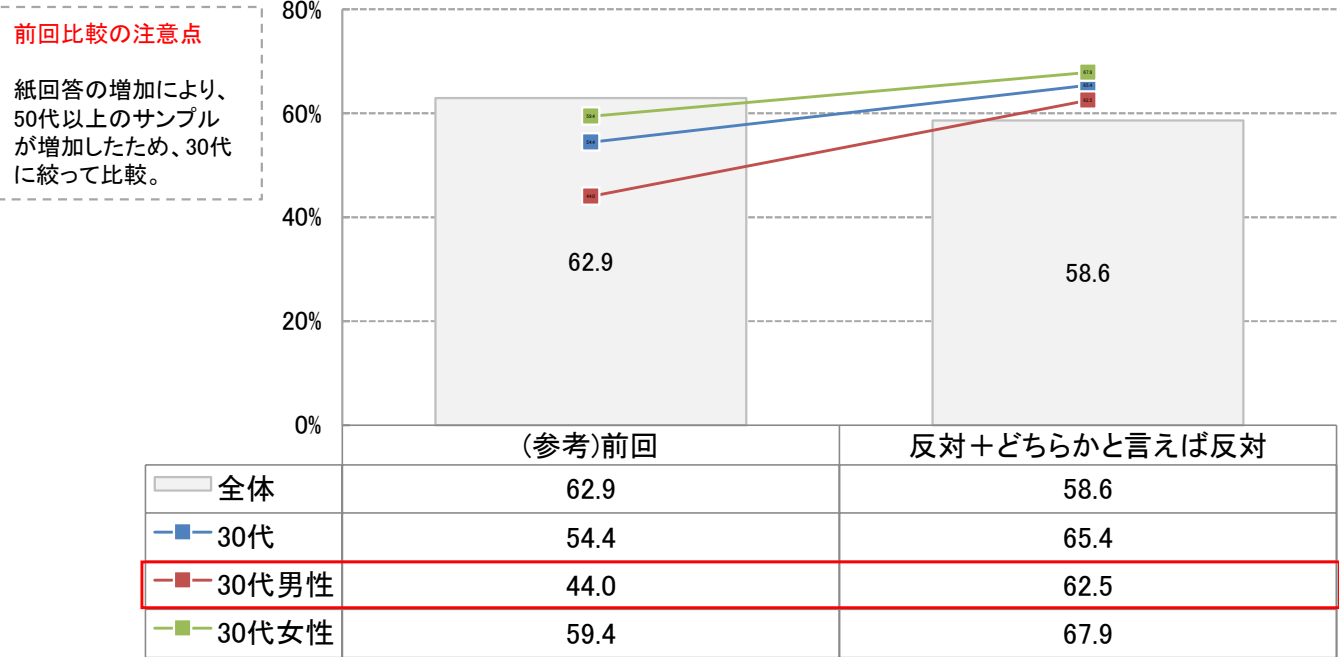
サマリー (前回比較)

サマリー① 性別役割分担意識

性別役割分担意識 30代、特に男性で大きく変化

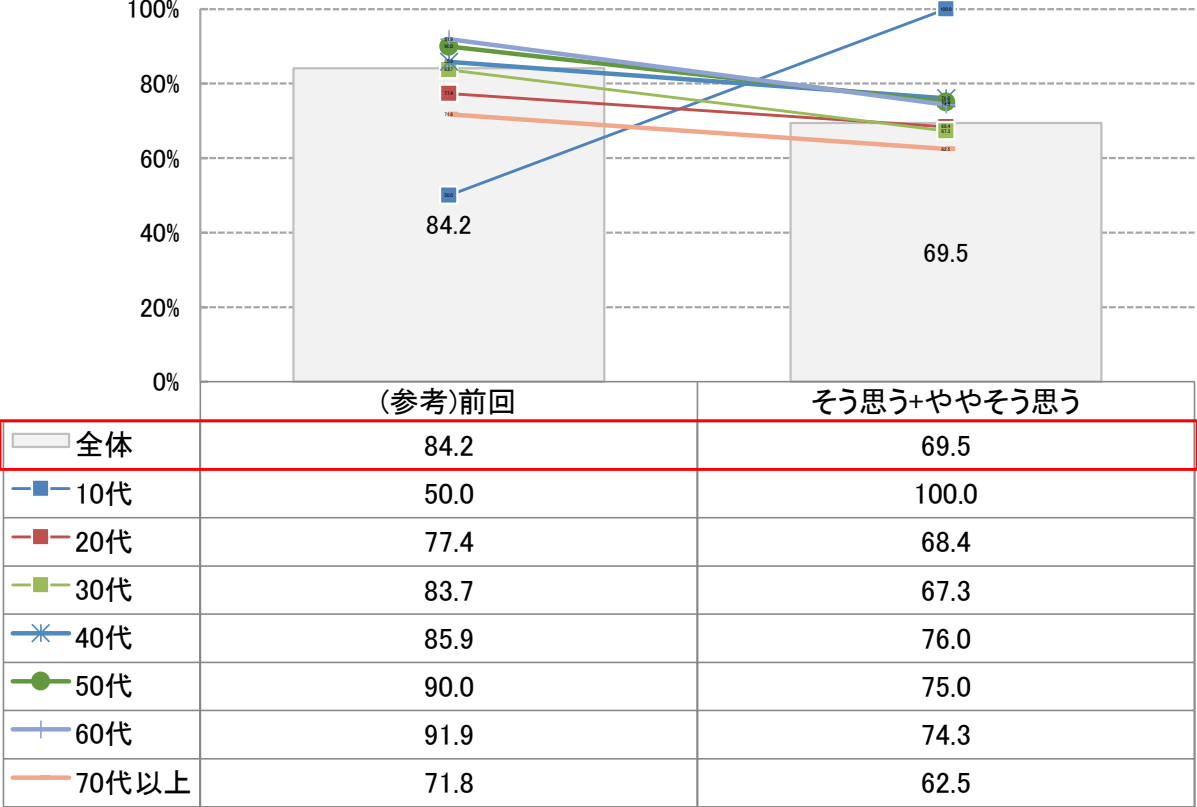
Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について、あなたの考えをお答えください。

「反対」と回答した人は全体で58.6%となり、前回調査（62.9%）と比較してやや減少した。しかし、年代別に見ると30代では反対が54%から65%へと上昇し、特に30代男性は44%から62.5%、30代女性は59.4%から67.9%へと上昇しており、若い世代で性別役割分担意識に反対する傾向が見られる。



Q14 普段の生活で、女性だから、男性だからこうあるべきという決めつけや固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習などによる男女間の差を感じることはありますか。

「そう思う+ややそう思う」と回答した人の割合は前回の84.2%から69.5%へと大きく減少しており、固定的な性別役割意識が全体的に減少傾向にあることが示された。



サマリー② 地域の意思決定

➡高齢女性の地域参画増加／若い世代で地域活動への関心・関与低下

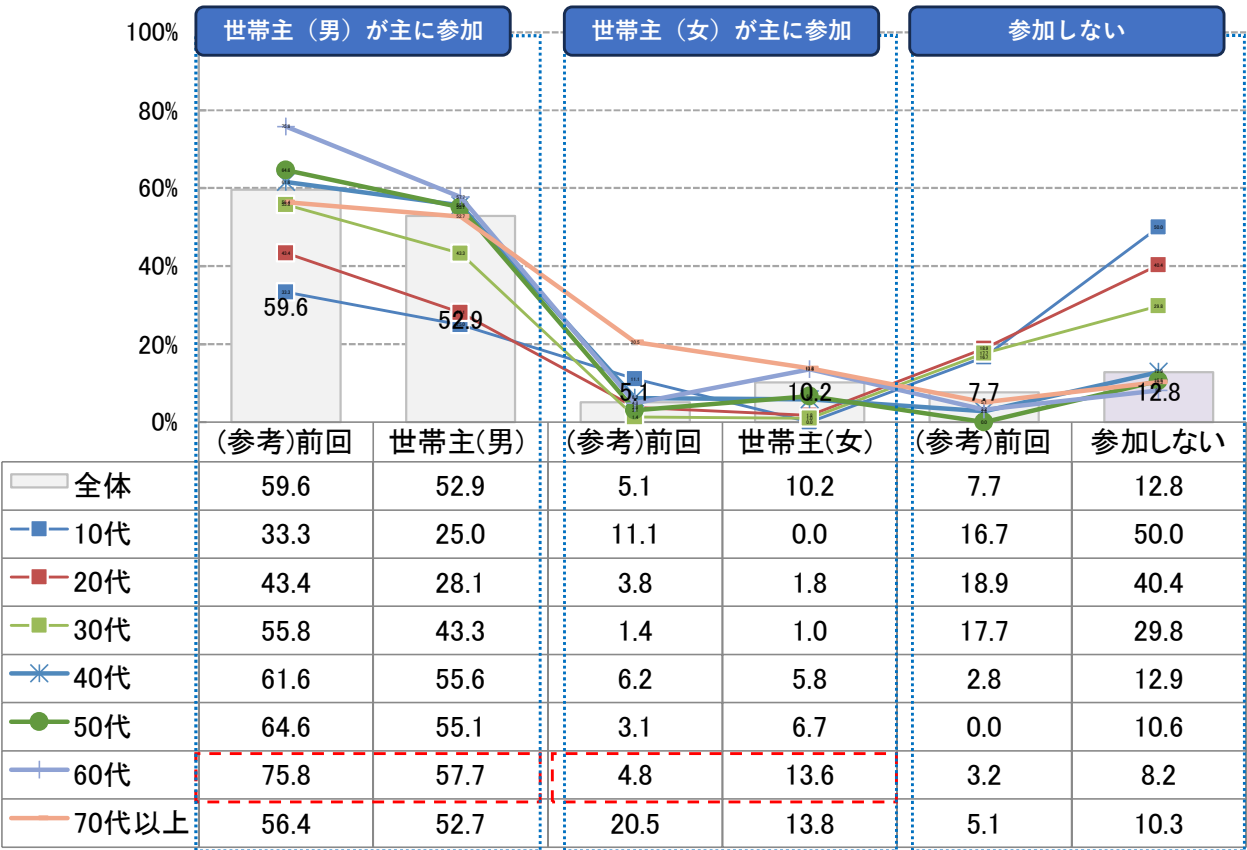
Q12 地区の会合に主に参加する人は誰ですか。

「世帯主(男性)」が主に参加するとの回答は前回59.6%から今回52.9%へと減少した。年代別に見ると、30代では55.8%から43.3%へ、60代では75.8%から57.7%へと大きく減少している。

一方、「世帯主(女性)」が主に参加すると回答した割合は前回5.1%から今回10.2%に上昇。特に60代女性では4.8%から13.6%に増加しており、**高齢女性層において地域活動への参画が進んでいる傾向**が見られる。

なお、30代女性では1.4%→1.0%で変化がなかった。

また、会合に「参加しない」との回答は全体で7.7%から12.8%に増加。30代では17.7%から29.8%に上昇しており、**若年層における地域活動への関心や関与の低下が課題**として浮かび上がっている。



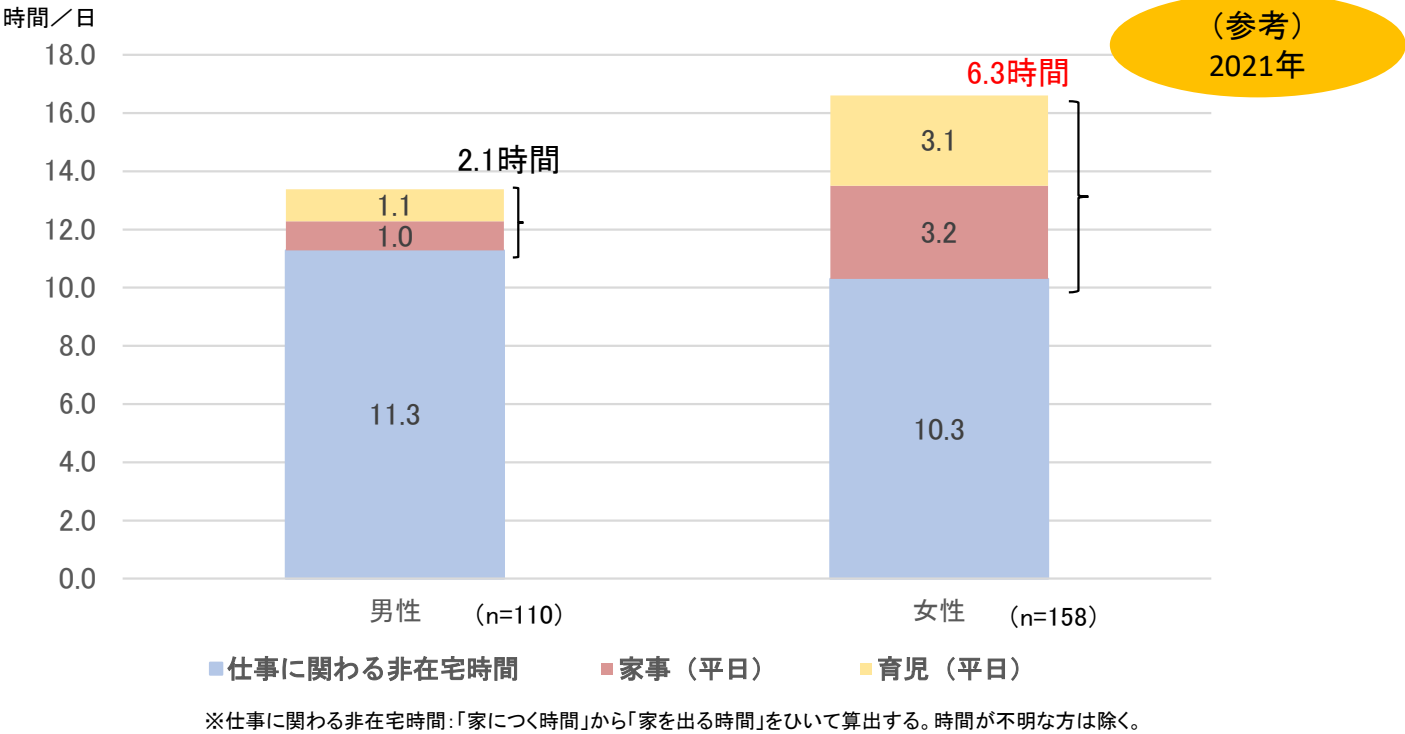
サマリー③ 仕事・家事・育児に要する時間(末子の年齢別)

※高校生までの子を持ち、働いている方を対象

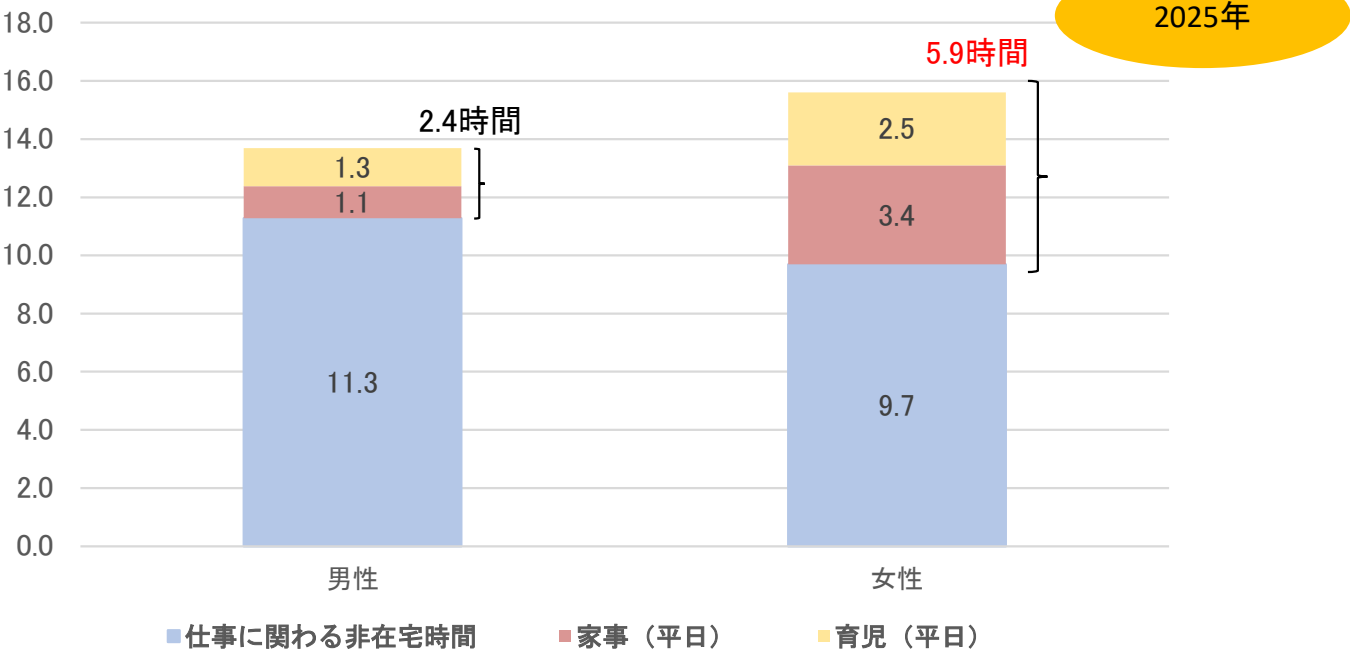
➡男女の家事育児時間の差、約3倍から約2.45倍に

●子育て世代の男女の家事・育児関連時間(対象:高校生までの子どもを持ち、働いている人)

高校生までの子どもを持ち、働いている人の家事・育児関連時間は、
2021年には、女性が6.3時間と、男性の2.1時間と比較し4.2時間長く、**約3倍**の差があった。



高校生までの子どもを持ち、働いている人の家事・育児関連時間は、
2025年には、女性が5.9時間と、男性の2.4時間と比較し3.5時間長く、**約2.45倍**の差となった。



サマリー③-1 仕事・家事・育児に要する時間(末子の年齢別)

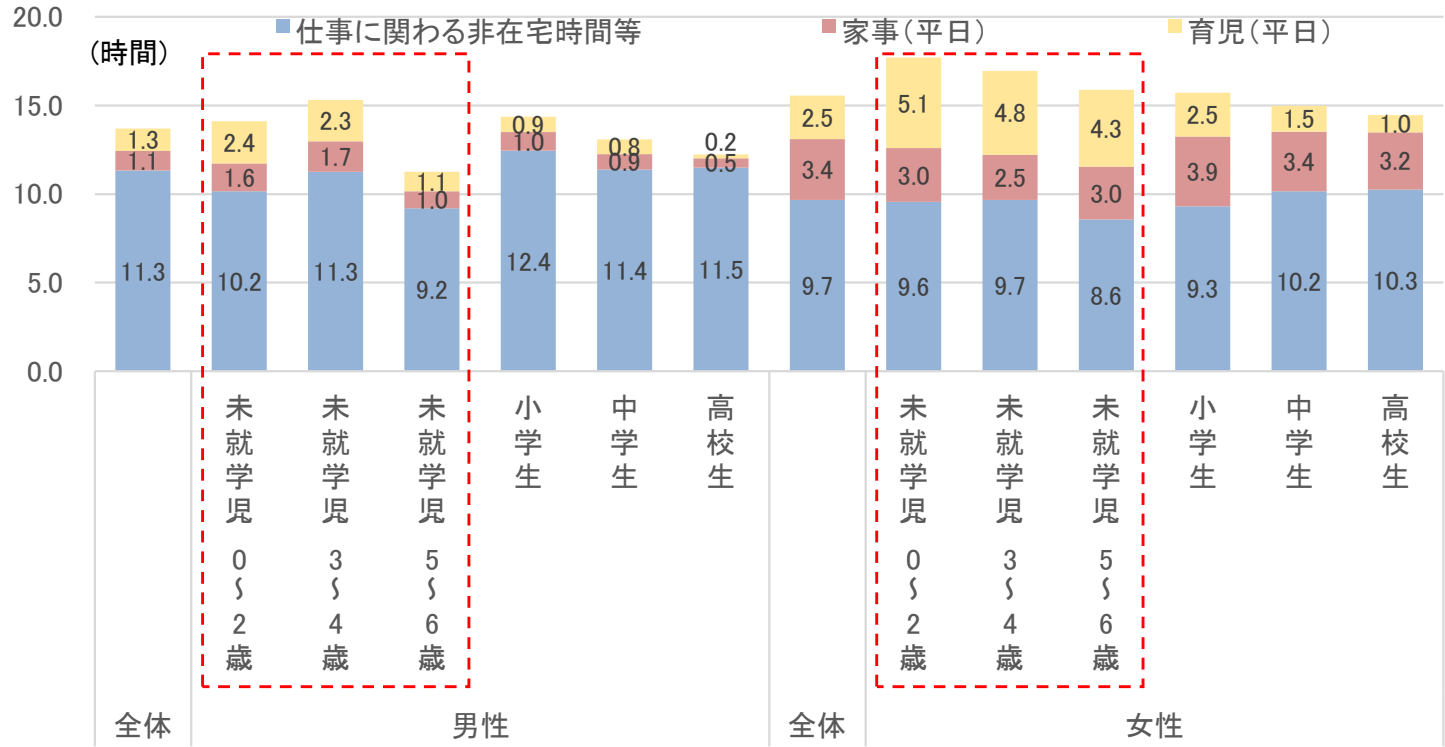
※高校生までの子を持ち、働いている方を対象

→未就学児を持つ男性の家事微増、育児増加

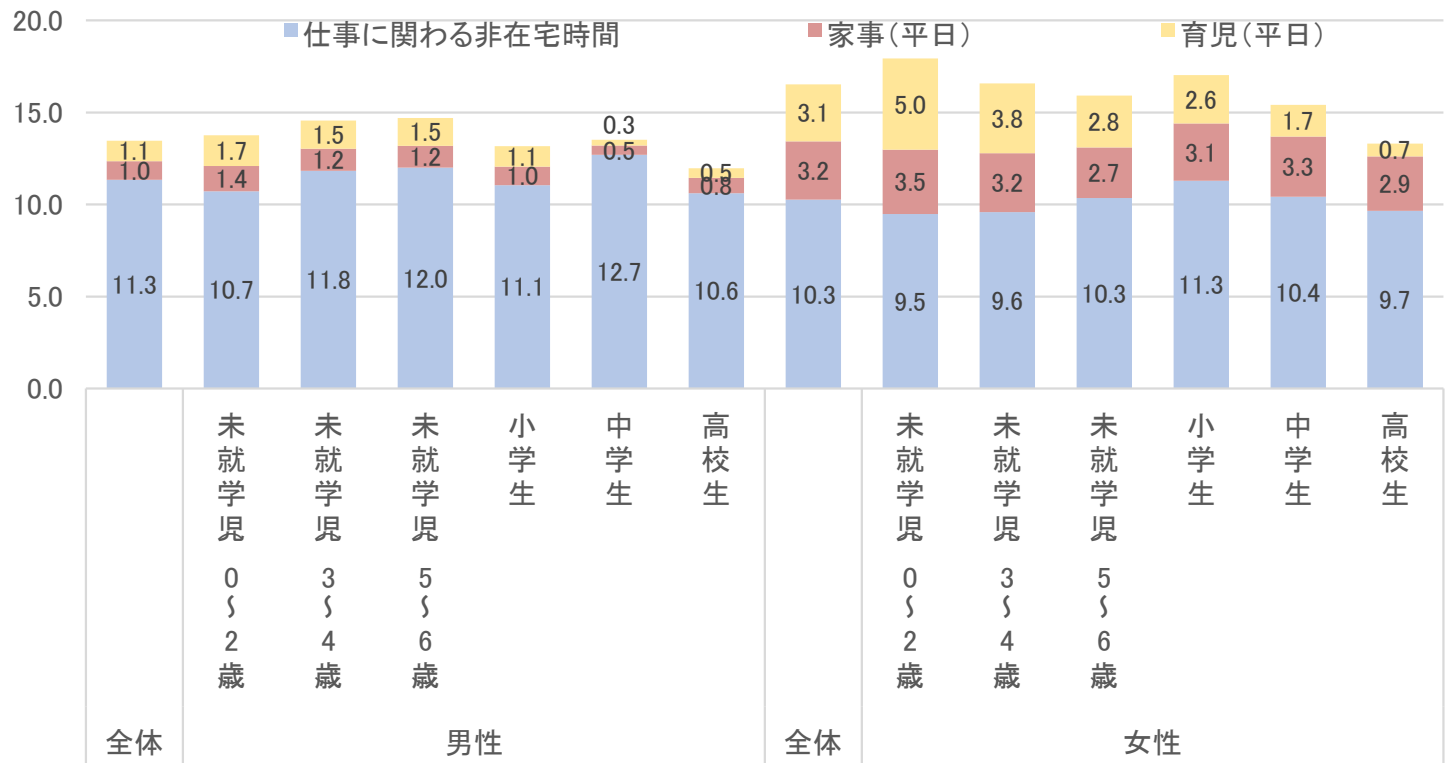
- 【全体】 男性は、仕事に関わる非在宅時間11.3時間、家事1.1時間、育児1.3時間 合計すると13.7時間
女性は、仕事に関わる非在宅時間 9.7時間、家事3.4時間、育児2.5時間 合計すると15.6時間
- 【詳細】 未就学児を持つ男性は、女性よりも0.5～1時間程度、仕事の時間が長い。
一方、女性は家事・育児にそれぞれ3～5時間程度要している。仕事・家事・育児を合計すると女性に多大な負担がかかっている。

- 【前回比較】 未就学児を持つ男性において、家事微増、育児増加
未就学児を持つ女性において、家事微減、育児増加

※仕事に関わる非在宅時間
・「家につく時間」から「家を出る時間」をひいて算出する。時間が不明な方は除く。



- 【参考:前回結果】
今回は未就学児を持つ男女のサンプルが少ないため比較は参考程度



サマリー③-2 男性育休の取得状況

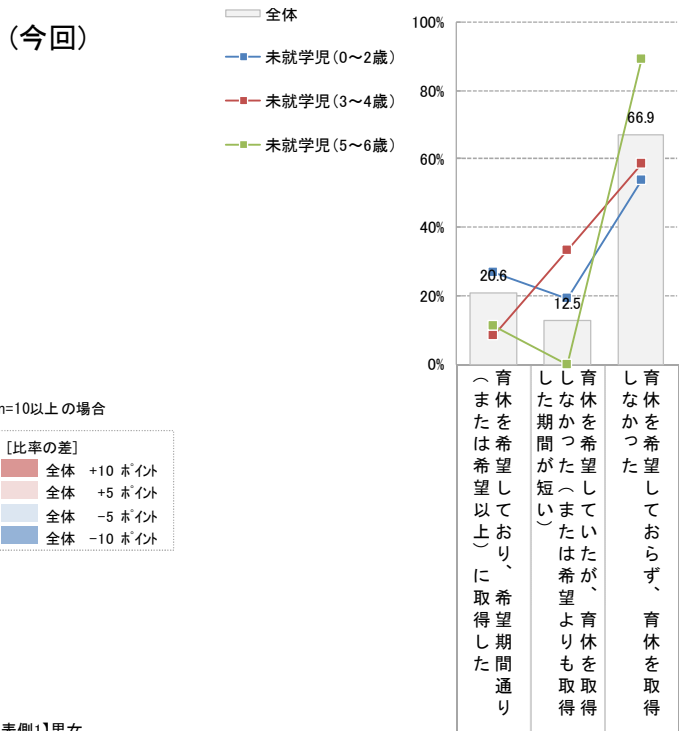
➡男性の育休取得8ポイント増加

Q36 あなたが同居している最も年齢が低いお子様について、【男性】あなた(【女性】あなたの夫)は、育児休業等
を取得しましたか(していますか)。

【全体】「育休を希望しており、希望期間通り(または希望以上)に取得した」は21%で、「育休を希望しておらず、育
休を取得しなかった」は67%。前回よりも「育休を希望しており、希望期間通り(または希望以上)に取得した」は3.8
ポイント上昇している。

【性別】「取得した」男性は18.6%と前回から+8pt

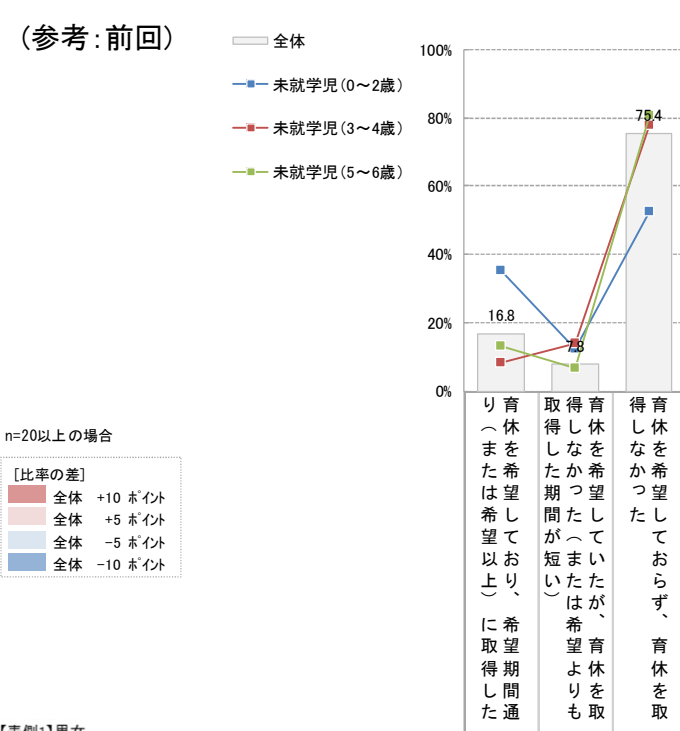
(今回)



【表側1】男女
【表側2】子ども年齢

全体		(160)	20.6	12.5	66.9
全体	未就学児(0~2歳)	(26)	26.9	19.2	53.8
	未就学児(3~4歳)	(12)	8.3	33.3	58.3
	未就学児(5~6歳)	(9)	11.1	0.0	88.9
	小学生	(57)	28.1	14.0	57.9
	中学生	(30)	10.0	10.0	80.0
	高校生	(26)	19.2	0.0	80.8
	全体	(86)	18.6	14.0	67.4
男性	未就学児(0~2歳)	(20)	25.0	20.0	55.0
	未就学児(3~4歳)	(8)	12.5	37.5	50.0
	未就学児(5~6歳)	(5)	20.0	0.0	80.0
	小学生	(28)	28.6	10.7	60.7
	中学生	(13)	0.0	15.4	84.6
	高校生	(12)	8.3	0.0	91.7
	全体	(74)	23.0	10.8	66.2
女性	未就学児(0~2歳)	(6)	33.3	16.7	50.0
	未就学児(3~4歳)	(4)	0.0	25.0	75.0
	未就学児(5~6歳)	(4)	0.0	0.0	100.0
	小学生	(29)	27.6	17.2	55.2
	中学生	(17)	17.6	5.9	76.5
	高校生	(14)	28.6	0.0	71.4
	全体	(74)	23.0	10.8	66.2

(参考: 前回)



【表側1】男女
【表側2】子ども年齢

全体		(268)	16.8	7.8	75.4
全体	未就学児(0~2歳)	(57)	35.1	12.3	52.6
	未就学児(3~4歳)	(36)	8.3	13.9	77.8
	未就学児(5~6歳)	(31)	12.9	6.5	80.6
	小学生	(83)	14.5	8.4	77.1
	中学生	(36)	8.3	0.0	91.7
	高校生	(25)	12.0	0.0	88.0
	全体	(110)	10.9	7.3	81.8
男性	未就学児(0~2歳)	(22)	36.4	13.6	50.0
	未就学児(3~4歳)	(12)	8.3	16.7	75.0
	未就学児(5~6歳)	(8)	12.5	0.0	87.5
	小学生	(38)	2.6	7.9	89.5
	中学生	(17)	5.9	0.0	94.1
	高校生	(13)	0.0	0.0	100.0
	全体	(158)	20.9	8.2	70.9
女性	未就学児(0~2歳)	(35)	34.3	11.4	54.3
	未就学児(3~4歳)	(24)	8.3	12.5	79.2
	未就学児(5~6歳)	(23)	13.0	8.7	78.3
	小学生	(45)	24.4	8.9	66.7
	中学生	(19)	10.5	0.0	89.5
	高校生	(12)	25.0	0.0	75.0
	全体	(158)	20.9	8.2	70.9

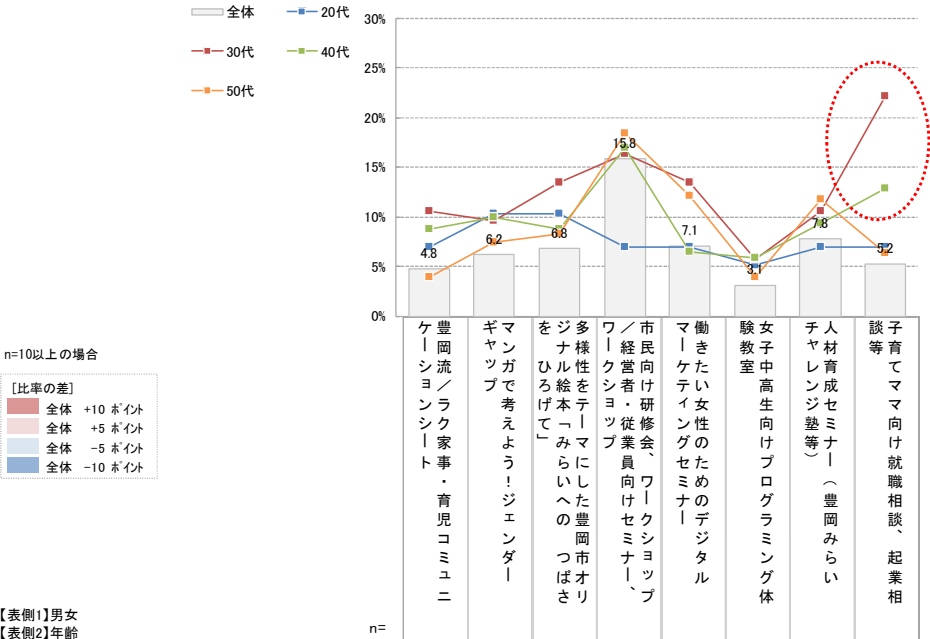
サマリー④ジェンダーギャップ解消関連事業の利用状況

➡30代・40代女性で就職相談／起業相談のニーズ高

Q48S1 Q48 下記の豊岡市が行うジェンダーギャップ解消関連事業の利用状況と意向をお答えください。【選択肢のいずれかを選択:利用、利用予定、機会があれば利用】

【全体】「市民向け(地域コミュニティ、自治会、学校等)研修会、ワークショップ／経営者・従業員向けセミナー、ワークショップ」が16%と最も高く、次いで「人材育成セミナー(豊岡みらいチャレンジ塾等)」(8%)「働きたい女性のためのデジタルマーケティングセミナー」(7%)の順である。

【年齢】「30代」は「働きたい女性のためのデジタルマーケティングセミナー」(13%)がやや高い。「50代」は「働きたい女性のためのデジタルマーケティングセミナー」(12%)がやや高い。



【表側1】男女
【表側2】年齢

全体(GT)		(1,532)	4.7	6.1	6.7	15.6	7.0	3.1	7.7	5.2
全体		(1,509)	4.8	6.2	6.8	15.8	7.1	3.1	7.8	5.2
全体	10代	(4)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(58)	6.9	10.3	10.3	6.9	6.9	5.2	6.9	6.9
	30代	(104)	10.6	9.6	13.5	16.3	13.5	5.8	10.6	22.1
	40代	(171)	8.8	9.9	8.8	17.0	6.4	5.8	9.4	12.9
	50代	(255)	3.9	7.5	8.2	18.4	12.2	3.9	11.8	6.3
	60代	(333)	4.2	4.8	7.8	18.0	9.0	3.0	9.9	2.1
	70代以上	(584)	3.1	4.3	3.4	13.9	2.9	1.4	4.1	1.2
全体		(532)	5.1	5.8	5.6	12.6	3.2	2.6	6.0	3.8
男性	10代	(3)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(32)	9.4	9.4	9.4	6.3	6.3	3.1	6.3	3.1
	30代	(48)	12.5	8.3	10.4	12.5	2.1	6.3	6.3	10.4
	40代	(91)	5.5	5.5	6.6	12.1	2.2	3.3	4.4	6.6
	50代	(85)	4.7	5.9	7.1	16.5	3.5	2.4	10.6	4.7
	60代	(107)	3.7	4.7	6.5	14.0	4.7	2.8	7.5	1.9
	70代以上	(166)	3.0	5.4	1.8	10.8	2.4	1.2	3.6	1.2
全体		(977)	4.6	6.3	7.4	17.6	9.2	3.4	8.8	6.0
女性	10代	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(26)	3.8	11.5	11.5	7.7	7.7	7.7	7.7	11.5
	30代	(56)	8.9	10.7	16.1	19.6	23.2	5.4	14.3	32.1
	40代	(80)	12.5	15.0	11.3	22.5	11.3	8.8	15.0	20.0
	50代	(170)	3.5	8.2	8.8	19.4	16.5	4.7	12.4	7.1
	60代	(226)	4.4	4.9	8.4	19.9	11.1	3.1	11.1	2.2
	70代以上	(418)	3.1	3.8	4.1	15.1	3.1	1.4	4.3	1.2

第1章

性別役割分担意識

男性の家事・育児参画に向けて

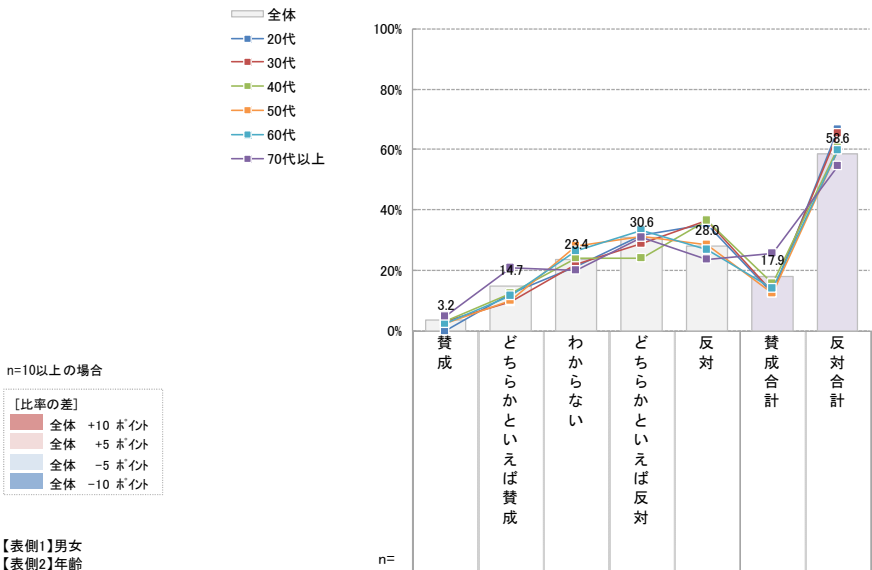
Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について、あなたの考えをお答えください。

反対と回答した人は全体の58.6%。前回調査では63%。

【全体】「どちらかといえば反対」が31%と最も高く、次いで「反対」(28%)の順である。

【性別】「反対合計」は男性＞女性

【年代】「反対合計」は20代30代＞シニア



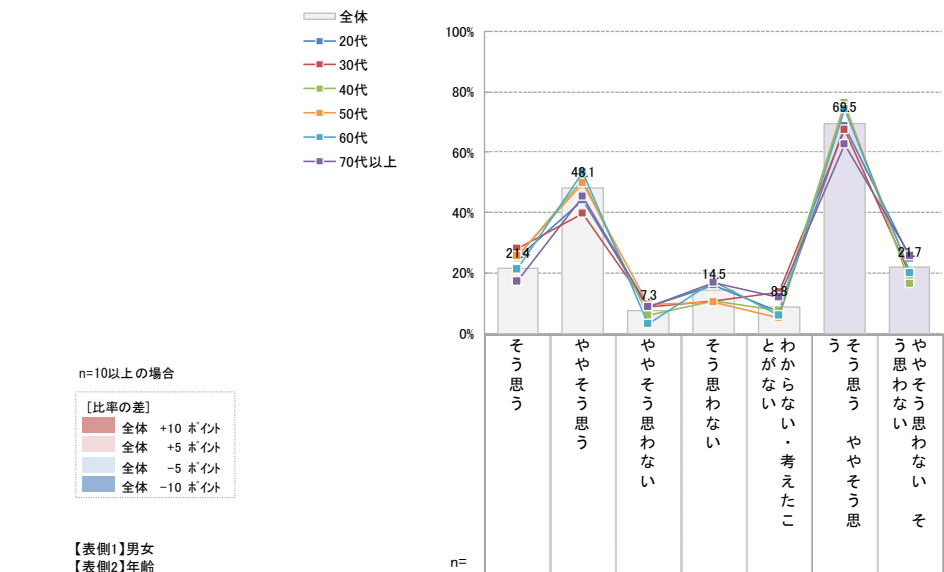
Q14 普段の生活で、女性だから、男性だからこうあるべきという決めつけや 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習などによる男女間の差を感じることはありますか。

そう思う・ややそう思うと回答した人は全体の69.6%。前回調査では84%。

【全体】「ややそう思う」が48%と最も高く、次いで「そう思う」(21%)の順である。

【性別】性差は特になし。

【年齢】「30代」は「そう思う」(28%)がやや高く、「ややそう思う」(39%)がやや低い。「60代」は「ややそう思う」(53%)がやや高い。

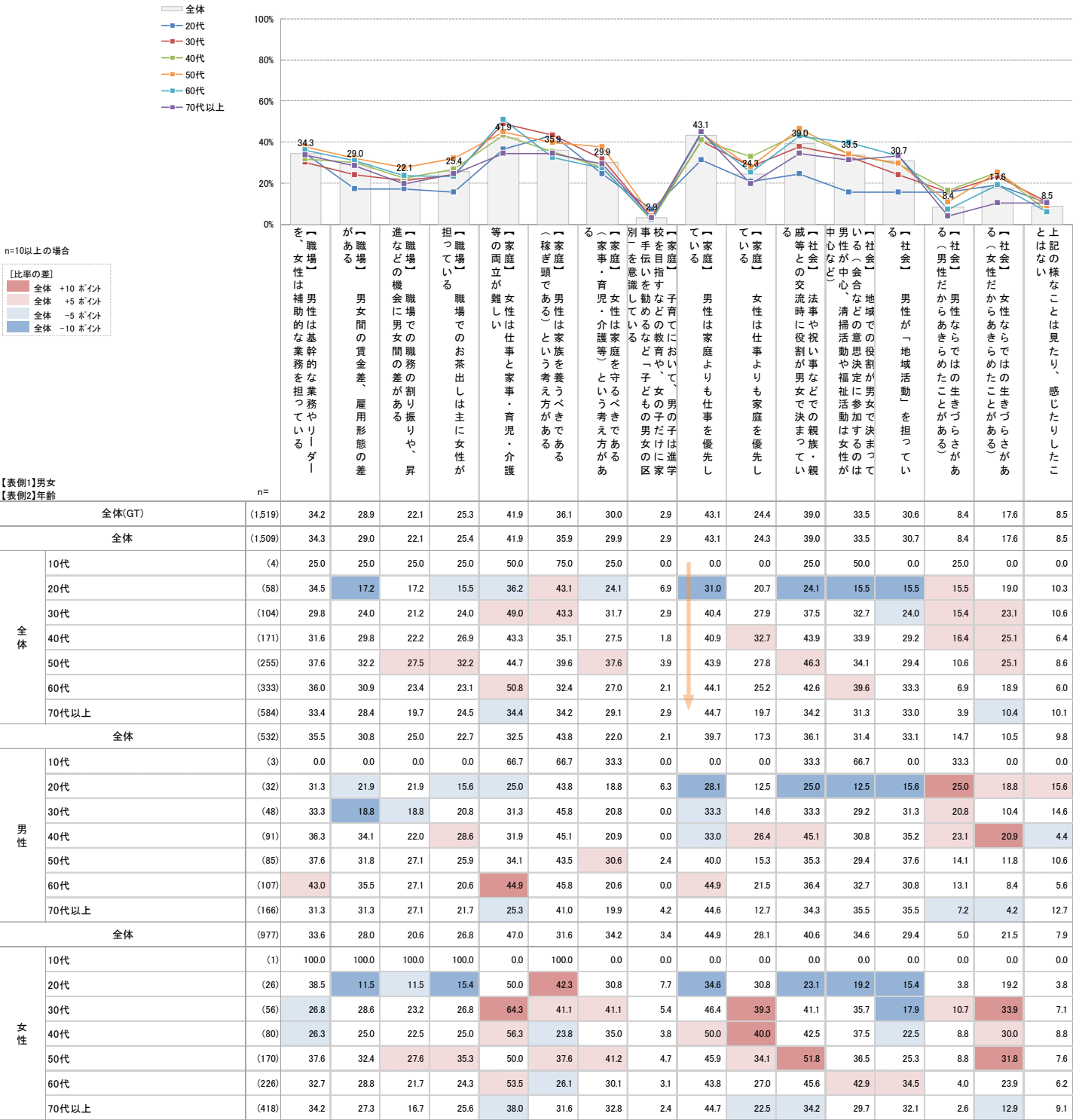


【表側1】男女		【表側2】年齢		n=							
全体(GT)				(1,497)	21.4	48.2	7.2	14.4	8.8	69.6	21.6
全体				(1,497)	21.4	48.1	7.3	14.5	8.8	69.5	21.7
全体	10代			(4)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代			(57)	24.6	43.9	8.8	15.8	7.0	68.4	24.6
	30代			(104)	27.9	39.4	8.7	10.6	13.5	67.3	19.2
	40代			(171)	25.1	50.9	5.8	10.5	7.6	76.0	16.4
	50代			(252)	25.4	49.6	9.5	10.3	5.2	75.0	19.8
	60代			(331)	21.1	53.2	3.0	16.9	5.7	74.3	19.9
	70代以上			(568)	17.1	45.4	8.8	16.7	12.0	62.5	25.5
全体				(528)	22.5	47.3	6.8	15.9	7.4	69.9	22.7
男性	10代			(3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代			(32)	28.1	40.6	9.4	15.6	6.3	68.8	25.0
	30代			(48)	25.0	37.5	10.4	14.6	12.5	62.5	25.0
	40代			(91)	26.4	52.7	2.2	13.2	5.5	79.1	15.4
	50代			(85)	25.9	48.2	10.6	9.4	5.9	74.1	20.0
	60代			(107)	19.6	49.5	3.7	21.5	5.6	69.2	25.2
	70代以上			(162)	18.5	46.3	8.0	17.9	9.3	64.8	25.9
全体				(959)	20.8	48.5	7.5	13.7	9.6	69.2	21.2
女性	10代			(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代			(25)	20.0	48.0	8.0	16.0	8.0	68.0	24.0
	30代			(56)	30.4	41.1	7.1	7.1	14.3	71.4	14.3
	40代			(80)	23.8	48.8	10.0	7.5	10.0	72.5	17.5
	50代			(167)	25.1	50.3	9.0	10.8	4.8	75.4	19.8
	60代			(224)	21.9	54.9	2.7	14.7	5.8	76.8	17.4
	70代以上			(406)	16.5	45.1	9.1	16.3	13.1	61.6	25.4

Q15 普段の生活の中で以下のようなことを見たり、感じたりしたことはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】 「【家庭】 男性は家庭よりも仕事を優先している」が43%と最も高く、次いで「【家庭】 女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい」(42%) 「【社会】 法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている」(39%) 「【家庭】 男性は家族を養うべきである(稼ぎ頭である)」という考え方がある」(36%) 「【職場】 男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている」(34%)の順である。

【年齢】 「【家庭】 男性は家庭よりも仕事を優先している」は「10代」から「70代以上」にかけて上昇傾向にある。



Q15 普段の生活の中で以下のようなことを見たり、感じたりしたことはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

【男女】性別が異なると、1位の項目のスコアが大きく異なる。男性は「家族を養う」、女性は「両立の難しさ」

「男性」は「【家庭】 男性は家族を養うべきである（稼ぎ頭である）という考え方がある」(44%)がやや高く
「女性」は「【家庭】 女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい」(47%)がやや高い。

男女ともに上位10位に入っている項目

	男性上位10項目 (n=532)	%
1	【家庭】 男性は家族を養うべきである（稼ぎ頭である）という考え方がある	43.8
2	【家庭】 男性は家庭よりも仕事を優先している	39.7
3	【社会】 法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	36.1
4	【職場】 男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている	35.5
5	【社会】 男性が「地域活動」を担っている	33.1
6	【家庭】 女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	32.5
7	【社会】 地域での役割が男女で決まっている（会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など）	31.4
8	【職場】 男女間の賃金差、雇用形態の差がある	30.8
9	【職場】 職場での職務の割り振りや、昇進などの機会に男女間の差がある	25.0
10	【職場】 職場でのお茶出しは主に女性が担っている	22.7

	女性上位10項目 (n=977)	%
1	【家庭】 女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	47.0
2	【家庭】 男性は家庭よりも仕事を優先している	44.9
3	【社会】 法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	40.6
4	【社会】 地域での役割が男女で決まっている（会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など）	34.6
5	【家庭】 女性は家庭を守るべきである（家事・育児・介護等）という考え方がある	34.2
6	【職場】 男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている	33.6
7	【家庭】 男性は家族を養うべきである（稼ぎ頭である）という考え方がある	31.6
8	【社会】 男性が「地域活動」を担っている	29.4
9	【家庭】 女性は仕事よりも家庭を優先している	28.1
10	【職場】 男女間の賃金差、雇用形態の差がある	28.0

Q15 普段の生活の中で以下のようなことを見たり、感じたりしたことはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

(参考) 前回比較

男性(今回)

	男性上位10項目 (n=532)	%
1	【家庭】男性は家族を養うべきである（稼ぎ頭である）という考え方がある	43.8
2	【家庭】男性は家庭よりも仕事を優先している	39.7
3	【社会】法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	36.1
4	【職場】男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている	35.5
5	【社会】男性が「地域活動」を担っている	33.1
6	【家庭】女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	32.5
7	【社会】地域での役割が男女で決まっている（会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など）	31.4
8	【職場】男女間の賃金差、雇用形態の差がある	30.8
9	【職場】職場での職務の割り振りや、昇進などの機会に男女間の差がある	25.0
10	【職場】職場でのお茶出しは主に女性が担っている	22.7

男性(前回)

	男性上位10項目 (n=283)	%
1	【社会】法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	51.2
2	【家庭】男性は家庭よりも仕事を優先している	48.8
3	【家庭】男性は家族を養うべきである（稼ぎ頭である）という考え方がある	45.2
4	【職場】男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている	43.8
5	【家庭】女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	38.9
6	【社会】地域での役割が男女で決まっている（会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など）	38.9
7	【職場】職場での職務の割り振りや、昇進などの機会に男女間の差がある	36.7
8	【社会】男性が「地域活動」を担っている	35.7
9	【職場】男女間の賃金差、雇用形態の差がある	31.4
10	【家庭】女性は家庭を守るべきである（家事・育児・介護等）という考え方がある	28.6

Q15 普段の生活の中で以下のようなことを見たり、感じたりしたことはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

(参考) 前回比較

女性(今回)		
	女性上位10項目(n=977)	%
1	【家庭】女性の仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	47.0
2	【家庭】男性は家庭よりも仕事を優先している	44.9
3	【社会】法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	40.6
4	【社会】地域での役割が男女で決まっている(会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など)	34.6
5	【家庭】女性はあるべきである(家事・育児・介護等)という考え方がある	34.2
6	【職場】男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている	33.6
7	【家庭】男性は家族を養うべきである(稼ぎ頭である)という考え方がある	31.6
8	【社会】男性が「地域活動」を担っている	29.4
9	【家庭】女性はあるよりも家庭を優先している	28.1
10	【職場】男女間の賃金差、雇用形態の差がある	28.0

女性(前回)		
	女性上位10項目(n=339)	%
1	【家庭】女性はある仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	67.3
2	【社会】法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	60.2
3	【家庭】男性はある家庭よりも仕事を優先している	50.7
4	【家庭】女性はある家庭を守るべきである(家事・育児・介護等)という考え方がある	49.6
5	【社会】地域での役割が男女で決まっている(会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など)	46.0
6	【職場】男性はある基幹的な業務やリーダーを、女性はある補助的な業務を担っている	44.0
7	【家庭】男性はある家族を養うべきである(稼ぎ頭である)という考え方がある	41.6
8	【家庭】女性はある仕事よりも家庭を優先している	41.6
9	【職場】職場でのお茶出しは主に女性が担っている	38.6
10	【社会】女性ならではの生きづらさがある(女性だからあきらめたことがある)	38.3

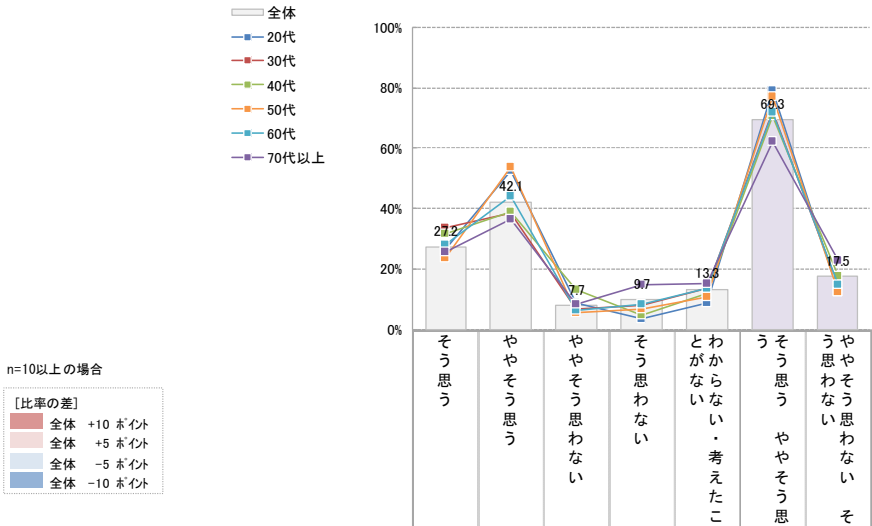
Q16 固定的な性別役割分担をなくす必要があると思いますか。

「そう思う+ややそう思う」と回答した人は全体で69.3%と、前回の80%から低下。
(70代以上のサンプル数が増えたことが要因の可能性)

【全体】「ややそう思う」が42%と最も高く、次いで「そう思う」(27%)の順である。

【男女】「男性」は「そう思う」(33%)がやや高い。

【年齢】「20代」「50代」は「そう思う+ややそう思う」がやや高い。「70代」はやや低い。

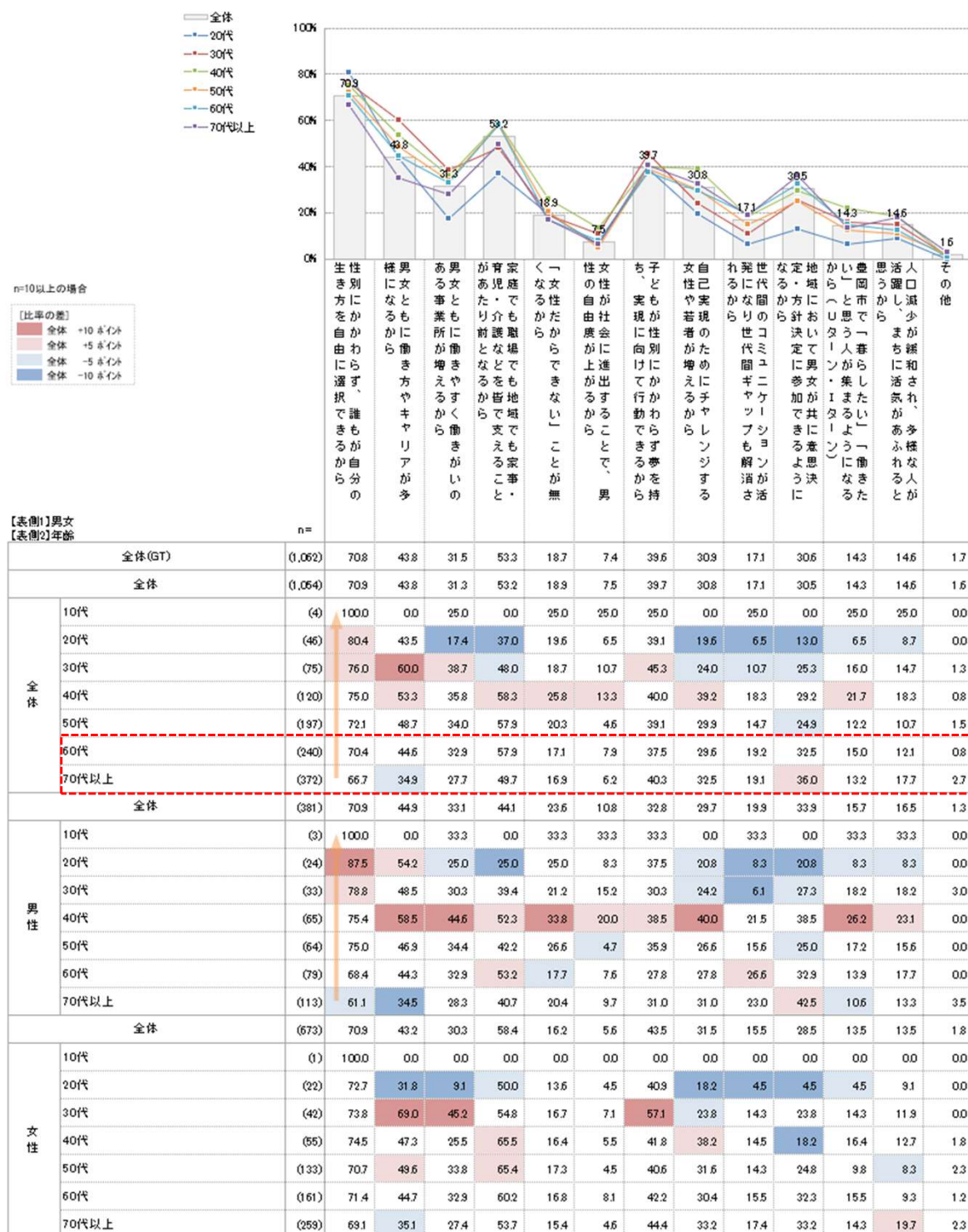


【表側1】男女		【表側2】年齢		n=							
全体(GT)				(1,481)	27.2	42.1	7.7	9.8	13.2	69.3	17.5
全体				(1,471)	27.2	42.1	7.7	9.7	13.3	69.3	17.5
全体	10代			(4)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代			(57)	26.3	52.6	8.8	3.5	8.8	78.9	12.3
	30代			(104)	33.7	38.5	6.7	7.7	13.5	72.1	14.4
	40代			(170)	31.8	38.8	12.9	4.7	11.8	70.6	17.6
	50代			(254)	23.6	53.5	5.5	6.7	10.6	77.2	12.2
	60代			(330)	27.9	43.9	6.4	8.2	13.6	71.8	14.5
	70代以上			(552)	25.7	36.2	8.2	14.7	15.2	62.0	22.8
全体				(526)	32.5	39.0	7.4	11.0	10.1	71.5	18.4
男性	10代			(3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代			(32)	34.4	40.6	12.5	6.3	6.3	75.0	18.8
	30代			(48)	37.5	31.3	8.3	12.5	10.4	68.8	20.8
	40代			(90)	38.9	33.3	12.2	4.4	11.1	72.2	16.7
	50代			(85)	22.4	52.9	4.7	9.4	10.6	75.3	14.1
	60代			(106)	30.2	43.4	5.7	12.3	8.5	73.6	17.9
	70代以上			(162)	34.0	33.3	6.2	15.4	11.1	67.3	21.6
全体				(945)	24.2	43.8	7.9	9.0	15.0	68.0	16.9
女性	10代			(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代			(25)	16.0	68.0	4.0	0.0	12.0	84.0	4.0
	30代			(56)	30.4	44.6	5.4	3.6	16.1	75.0	8.9
	40代			(80)	23.8	45.0	13.8	5.0	12.5	68.8	18.8
	50代			(169)	24.3	53.8	5.9	5.3	10.7	78.1	11.2
	60代			(224)	26.8	44.2	6.7	6.3	16.1	71.0	12.9
	70代以上			(390)	22.3	37.4	9.0	14.4	16.9	59.7	23.3

Q17 【Q16でそう思うと答えた方にお聞きします。】 それはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「性別にかかわらず、誰もが自分の生き方を自由に選択できるから」が71%と最も高く、次いで「家庭でも職場でも地域でも家事・育児・介護などを皆で支えることがあたり前となるから」(53%)「男女ともに働き方やキャリアが多様になるから」(44%)「子どもが性別にかかわらず夢を持ち、実現に向けて行動できるから」(40%)「男女ともに働きやすく働きがいのある事業所が増えるから」(31%)の順である。

【年齢】「性別にかかわらず、誰もが自分の生き方を自由に選択できるから」は「70代以上」から「10代」にかけて上昇傾向にある。「20代」は「男女ともに働きやすく働きがいのある事業所が増えるから」(17%)、「家庭でも職場でも地域でも家事・育児・介護などを皆で支えることがあたり前となるから」(37%)が低い。「30代」は「男女ともに働き方やキャリアが多様になるから」(60%)が高い。

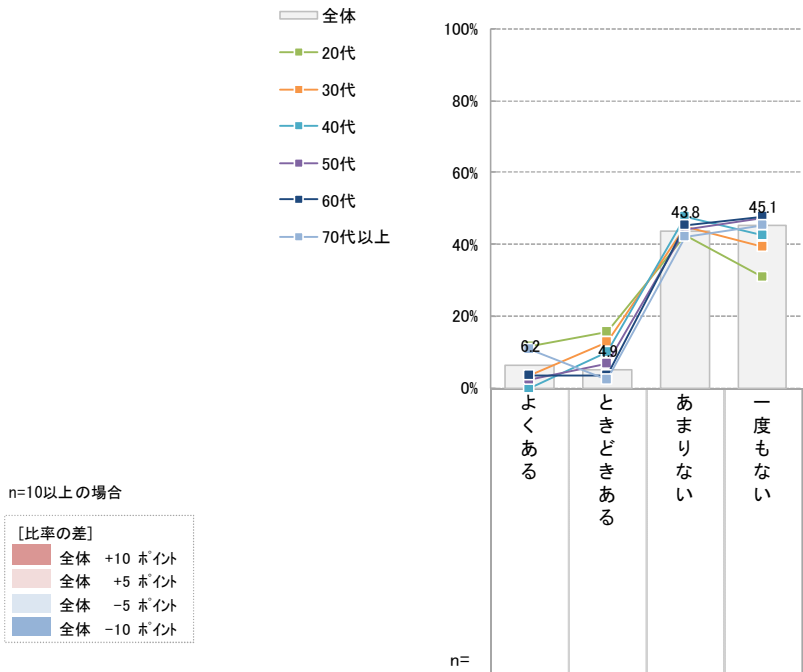


Q20 【女性にお聞きします。】 生理用品の購入・入手に苦勞したことがありますか。

【全体】「一度もない」が45%と最も高く、次いで「あまりない」(44%)の順である。

【年齢】「20代」は「ときどきある」(15%)が高い。「30代」「40代」もやや高い。

【年収】「130万-200万円未満」は「よくある」(11%)がやや高い。



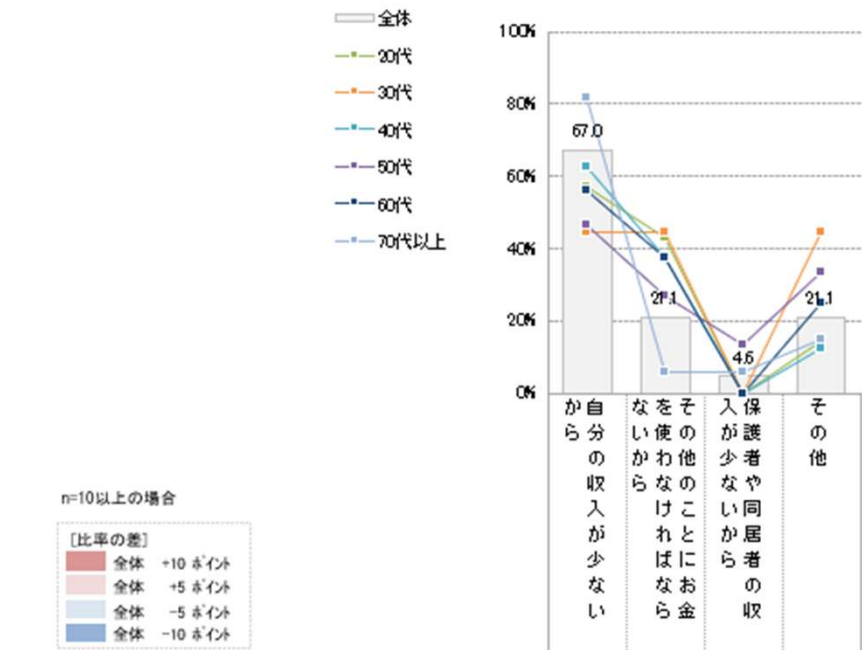
全体(GT)		(978)	6.2	4.9	43.8	45.1
全体		(978)	6.2	4.9	43.8	45.1
年齢	10代	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代	(26)	11.5	15.4	42.3	30.8
	30代	(56)	3.6	12.5	44.6	39.3
	40代	(80)	0.0	10.0	47.5	42.5
	50代	(170)	2.4	6.5	44.1	47.1
	60代	(226)	3.5	3.5	45.1	47.8
	70代以上	(418)	10.5	2.4	41.9	45.2
全体		(928)	5.4	5.1	44.2	45.4
年収	130万円未満	(295)	5.8	4.7	41.7	47.8
	130万-200万円未満	(143)	11.2	7.0	39.2	42.7
	200万-300万円未満	(146)	1.4	6.2	42.5	50.0
	300万-500万円未満	(101)	1.0	2.0	50.5	46.5
	500万-750万円未満	(41)	0.0	4.9	43.9	51.2
	750万-1,000万円未満	(2)	0.0	50.0	50.0	0.0
	1,000万円-	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0
	わからない・答えたくない	(70)	7.1	5.7	41.4	45.7
	収入はない	(127)	7.1	3.9	52.8	36.2

Q21 【生理用品の購入・入手に苦労したことが「ある」と回答した人にお聞きします。】 その理由はなんですか。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「自分の収入が少ないから」が67%と最も高く、次いで「その他のことにお金を使わなければならないから」(21%)の順である。

【年齢】「70代以上」は「自分の収入が少ないから」(81%)が高い。

【年収】「130万円未満」は「自分の収入が少ないから」(83%)が高い。



n=10以上の場合

[比率の差]	
全体	+10 ポイント
全体	+5 ポイント
全体	-5 ポイント
全体	-10 ポイント

全体(GT)		(108)	67.0	21.1	4.6	21.1
全体		(108)	67.0	21.1	4.6	21.1
年齢	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(7)	57.1	42.9	0.0	14.3
	30代	(3)	44.4	44.4	0.0	44.4
	40代	(8)	62.5	37.5	0.0	12.5
	50代	(15)	46.7	26.7	13.3	33.3
	60代	(16)	56.3	37.5	0.0	25.0
	70代以上	(54)	81.5	5.6	5.6	14.8
全体		(97)	63.9	23.7	4.1	22.7
年収	130万円未満	(31)	83.9	22.6	6.5	9.7
	130万-200万円未満	(26)	69.2	23.1	0.0	26.9
	200万-300万円未満	(11)	36.4	18.2	9.1	45.5
	300万-500万円未満	(3)	33.3	33.3	0.0	33.3
	500万-750万円未満	(2)	0.0	50.0	0.0	50.0
	750万-1,000万円未満	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0
	1,000万円-	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない・答えたくない	(9)	66.7	11.1	0.0	22.2
	収入はない	(14)	50.0	35.7	7.1	14.3

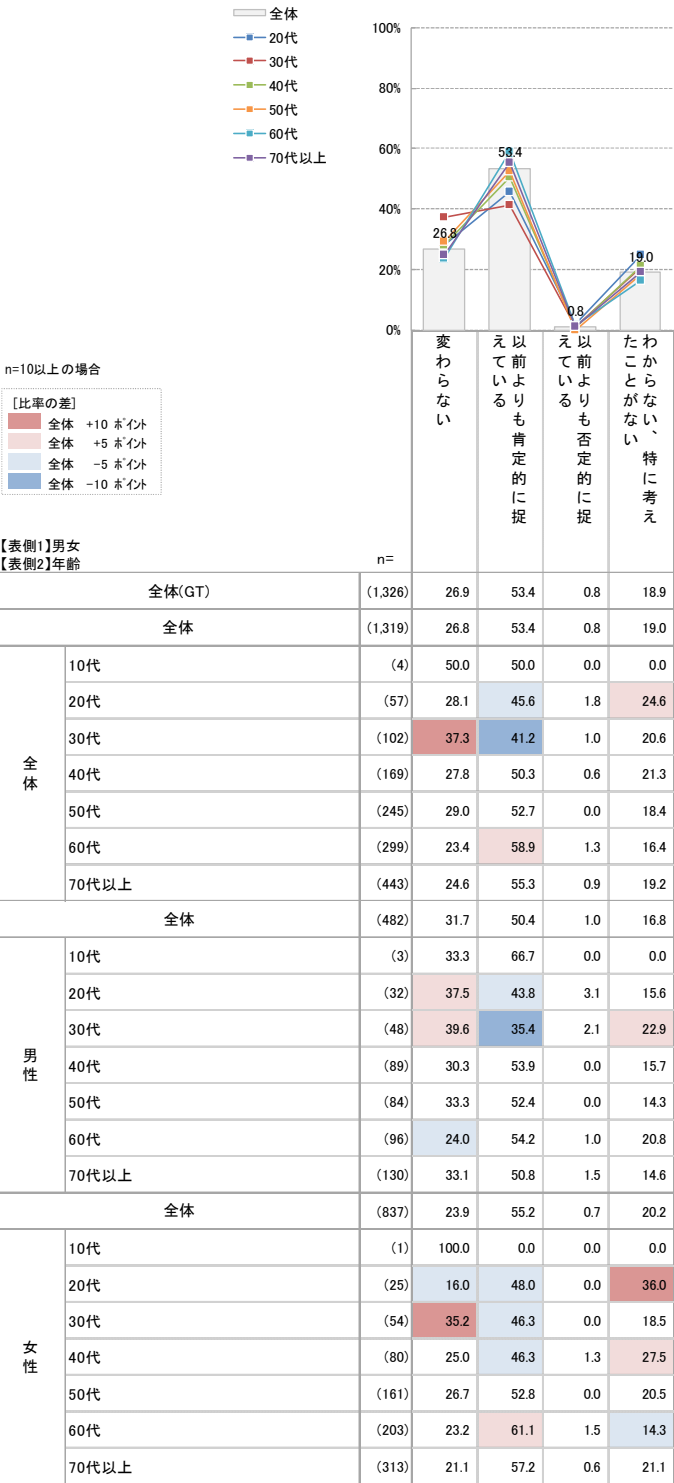
年齢	Q21_4 その他【 】
30代	生理用品が高い・生理用品は種類が多く(昼用、夜用、多い日、少ない日など)揃えるのが大変
30代	生理用品を買うことがはずかしいという意識かせの中にあると感じる
60代	収入のことではなく、店の店員が男性であるとき恥ずかしさがあった
20代	レジ打ちの時の男の人は、緊張する時としないときあります。
60代	いつも使用している商品が売切れて困ってしまった

Q44 男性が家事・育児に積極的に参画することについて、以前と比べて考え方は変わりましたか。

【全体】「以前よりも肯定的に捉えている」が53%と最も高く、次いで「変わらない」(27%)の順である。

【男女】「男性」は「変わらない」(32%)がやや高い。

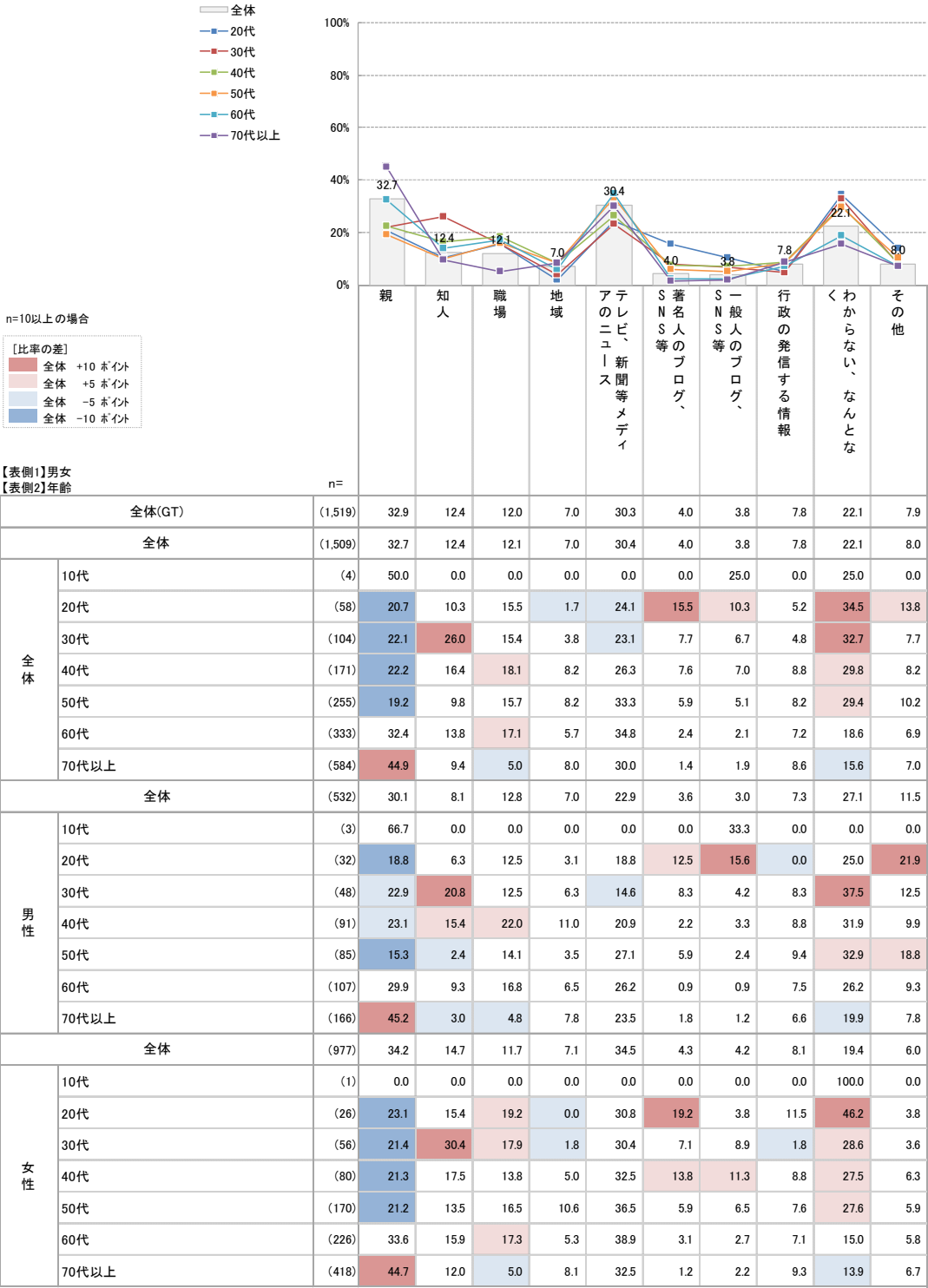
【年齢】「30代」は「変わらない」(37%)が高く、「以前よりも肯定的に捉えている」(41%)が低い。



Q45 あなたの考え方が変わったのは何の影響を受けてだと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「親」が33%と最も高く、次いで「テレビ、新聞等メディアのニュース」(30%)「わからない、なんとなく」(22%)「知人」(12%)の順である。

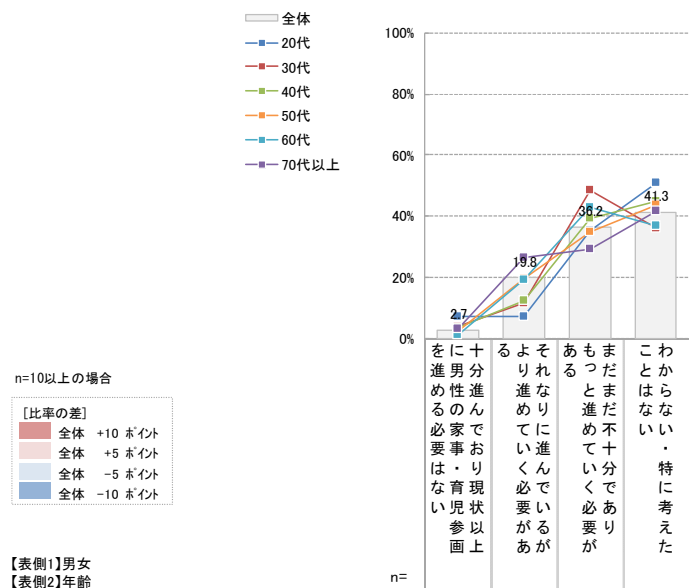
【年齢】「20代」「30代」は「わからない、なんとなく」(34%)が高い。加えて、「30代」は「知人」(26%)が高い。「70代以上」は「親」(45%)が高い。



Q46 豊岡市における男性の家事・育児参画についてあなたの考えにいちばん近いものをお答えください。

【全体】「わからない・特に考えたことはない」が41%と最も高く、次いで「まだまだ不十分でありもっと進めていく必要がある」(36%)の順である。

【年齢】「30代」は「まだまだ不十分でありもっと進めていく必要がある」(49%)が高い。



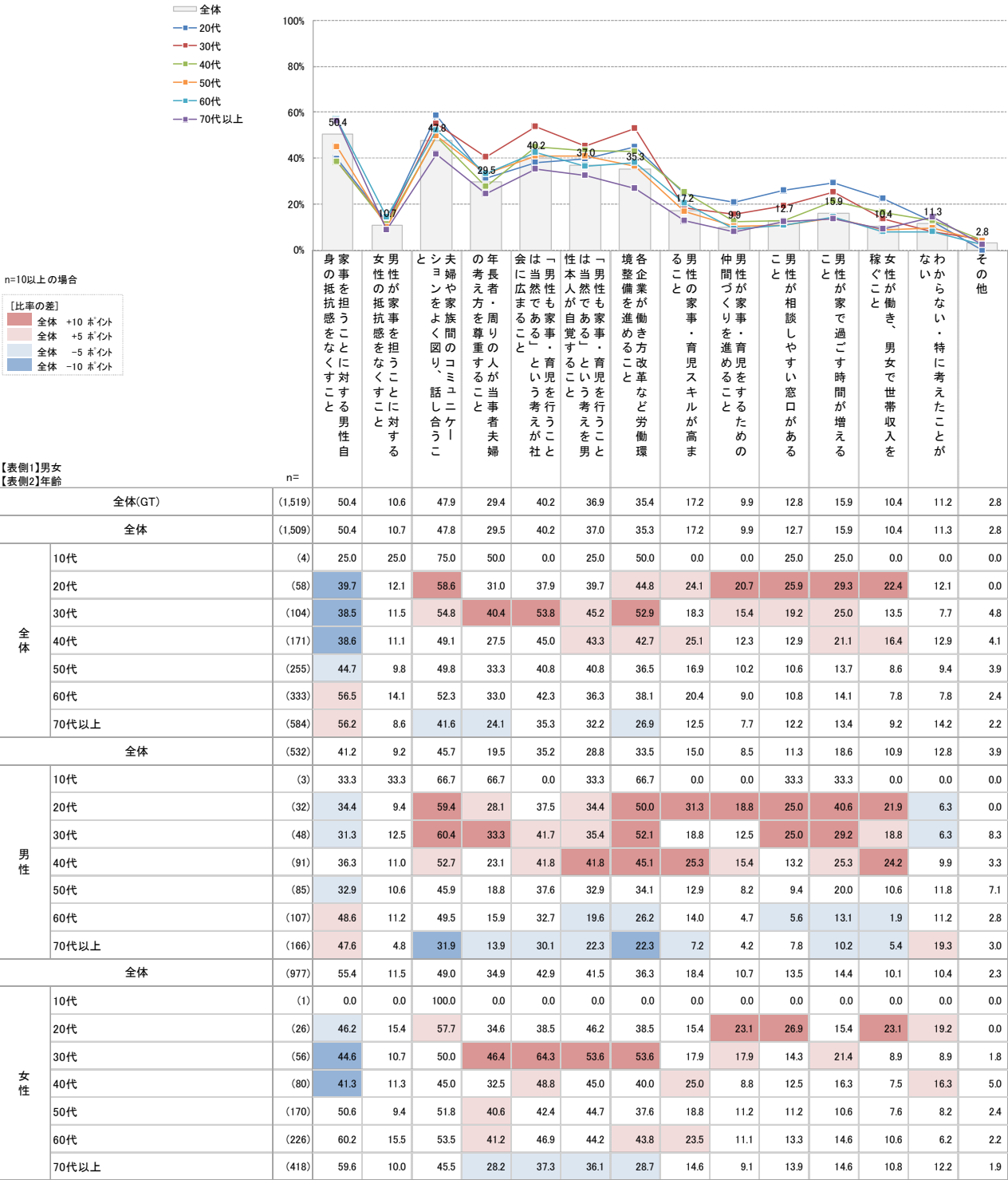
全体(GT)		n=	を十分に必要とする・育児参画を必要とする	より進んでいく必要がある	もつと進めたい	まだ不十分であり	わからない・特に考えたことはない
全体		(1,366)	2.6	19.9	36.2	41.3	
全体		(1,358)	2.7	19.8	36.2	41.3	
全体	10代	(4)	0.0	25.0	25.0	50.0	
	20代	(57)	7.0	7.0	35.1	50.9	
	30代	(103)	3.9	11.7	48.5	35.9	
	40代	(169)	3.6	12.4	39.1	45.0	
	50代	(246)	2.0	19.5	35.0	43.5	
	60代	(307)	1.0	19.2	43.0	36.8	
	70代以上	(472)	3.0	26.3	29.0	41.7	
全体		(495)	4.2	16.4	33.3	46.1	
男性	10代	(3)	0.0	33.3	0.0	66.7	
	20代	(32)	12.5	6.3	34.4	46.9	
	30代	(47)	8.5	6.4	44.7	40.4	
	40代	(90)	3.3	14.4	35.6	46.7	
	50代	(82)	3.7	19.5	31.7	45.1	
	60代	(97)	3.1	16.5	37.1	43.3	
	70代以上	(144)	2.8	20.8	27.1	49.3	
全体		(863)	1.7	21.8	37.9	38.6	
女性	10代	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20代	(25)	0.0	8.0	36.0	56.0	
	30代	(56)	0.0	16.1	51.8	32.1	
	40代	(79)	3.8	10.1	43.0	43.0	
	50代	(164)	1.2	19.5	36.6	42.7	
	60代	(210)	0.0	20.5	45.7	33.8	
	70代以上	(328)	3.0	28.7	29.9	38.4	

Q47 あなたは男性の家事・育児参画を進めるために何が必要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「家事を担うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が50%と最も高く、次いで「夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図り、話し合うこと」(48%)「男性も家事・育児を行うことは当然である」という考えが社会に広まること」(40%)「男性も家事・育児を行うことは当然である」という考えを男性本人が自覚すること」(37%)「各企業が働き方改革など労働環境整備を進めること」(35%)の順である。

【男女】「男性」は「家事を担うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(41%)、やや低く、「女性」は「家事を担うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(55%)がやや高い。

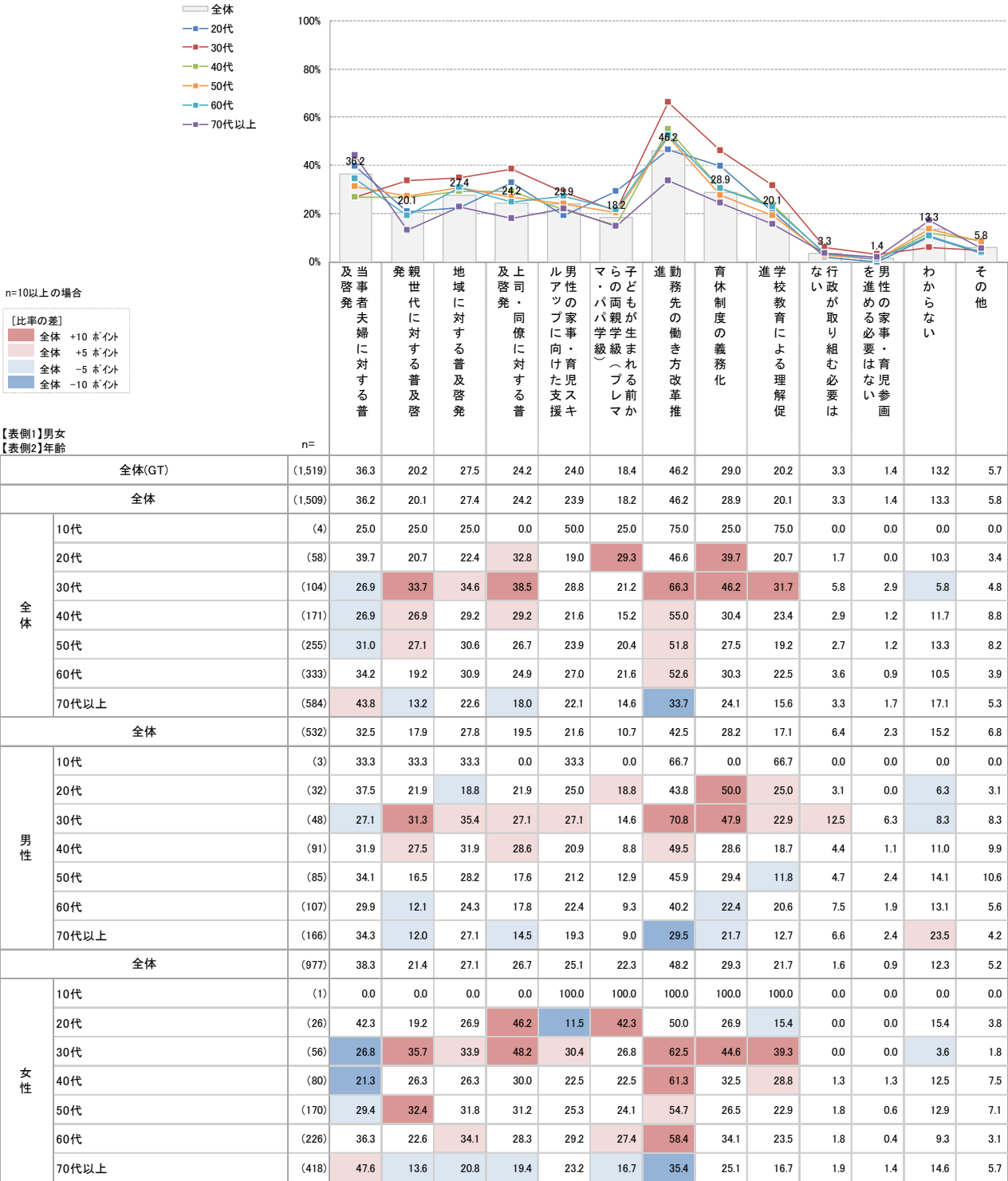
【年代】「20代」は「夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図り、話し合うこと」(59%)が高い。「30代」は「男性も家事・育児を行うことは当然である」という考えが社会に広まること」(54%)が高く、「各企業が働き方改革など労働環境整備を進めること」(53%)が高い。



Q50 あなたは男性の家事・育児参画を進めるために行政が取り組むべきことは何だと思えますか。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「勤務先の働き方改革推進」が46%と最も高く、次いで「当事者夫婦に対する普及啓発」(36%)「育休制度の義務化」(29%)「地域に対する普及啓発」(27%)「上司・同僚に対する普及啓発」(24%)の順である。

【年齢】「30代」は「勤務先の働き方改革推進」(66%)、「育休制度の義務化」(46%)、「上司・同僚に対する普及啓発」(38%)が高い。「70代以上」は「当事者夫婦に対する普及啓発」(44%)がやや高く、「勤務先の働き方改革推進」(34%)が低い。



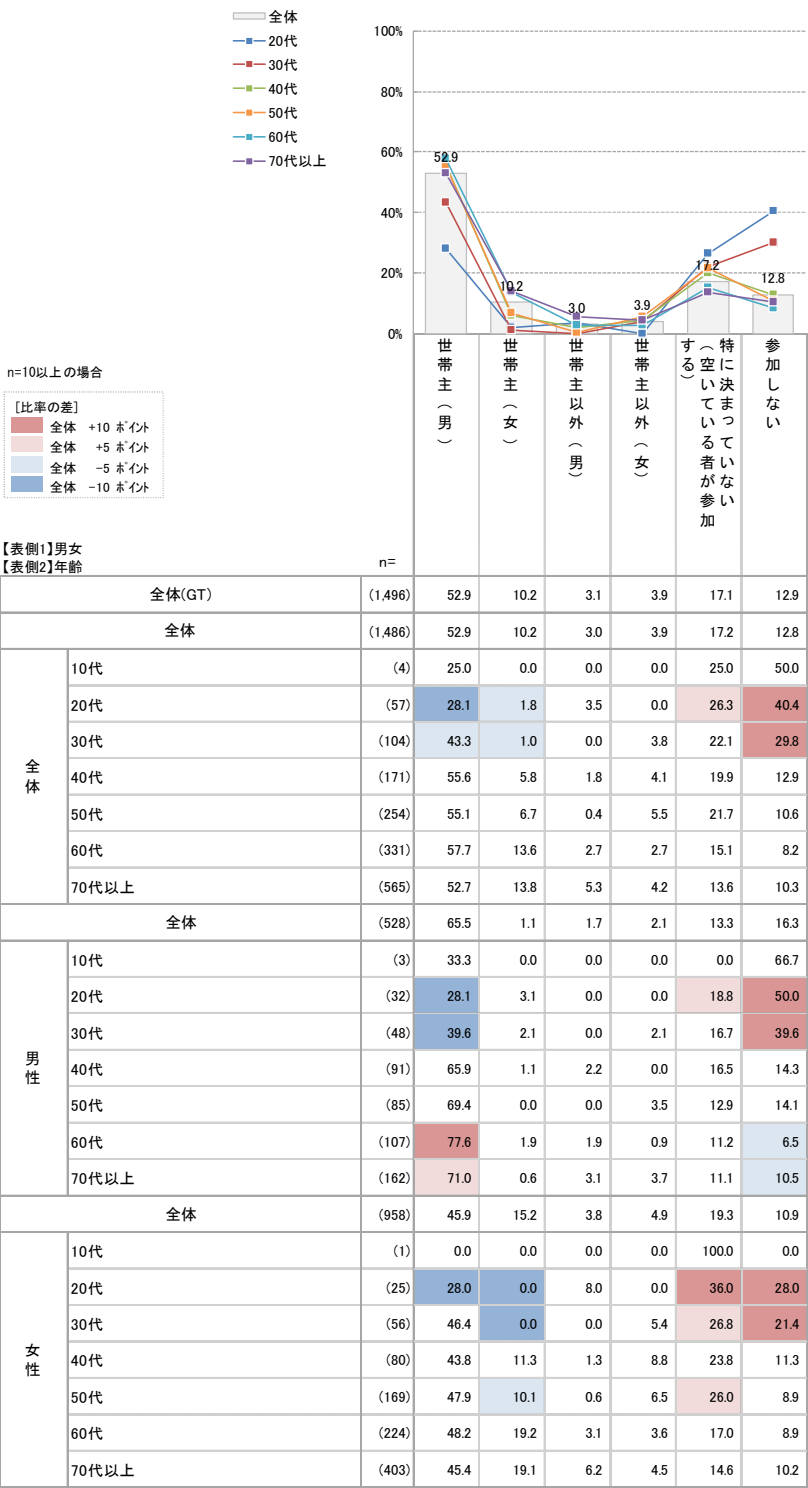
第2章 社会活動の実態

Q12 地区の会合に主に参加する人は誰ですか。

【全体】「世帯主(男)」が53%と最も高く、次いで「特に決まっていない(空いている者が参加する)」(17%)の順である。

【男女】「男性」は「世帯主(男)」(66%)が高い。「女性」は「世帯主(男)」(46%)がやや低い。

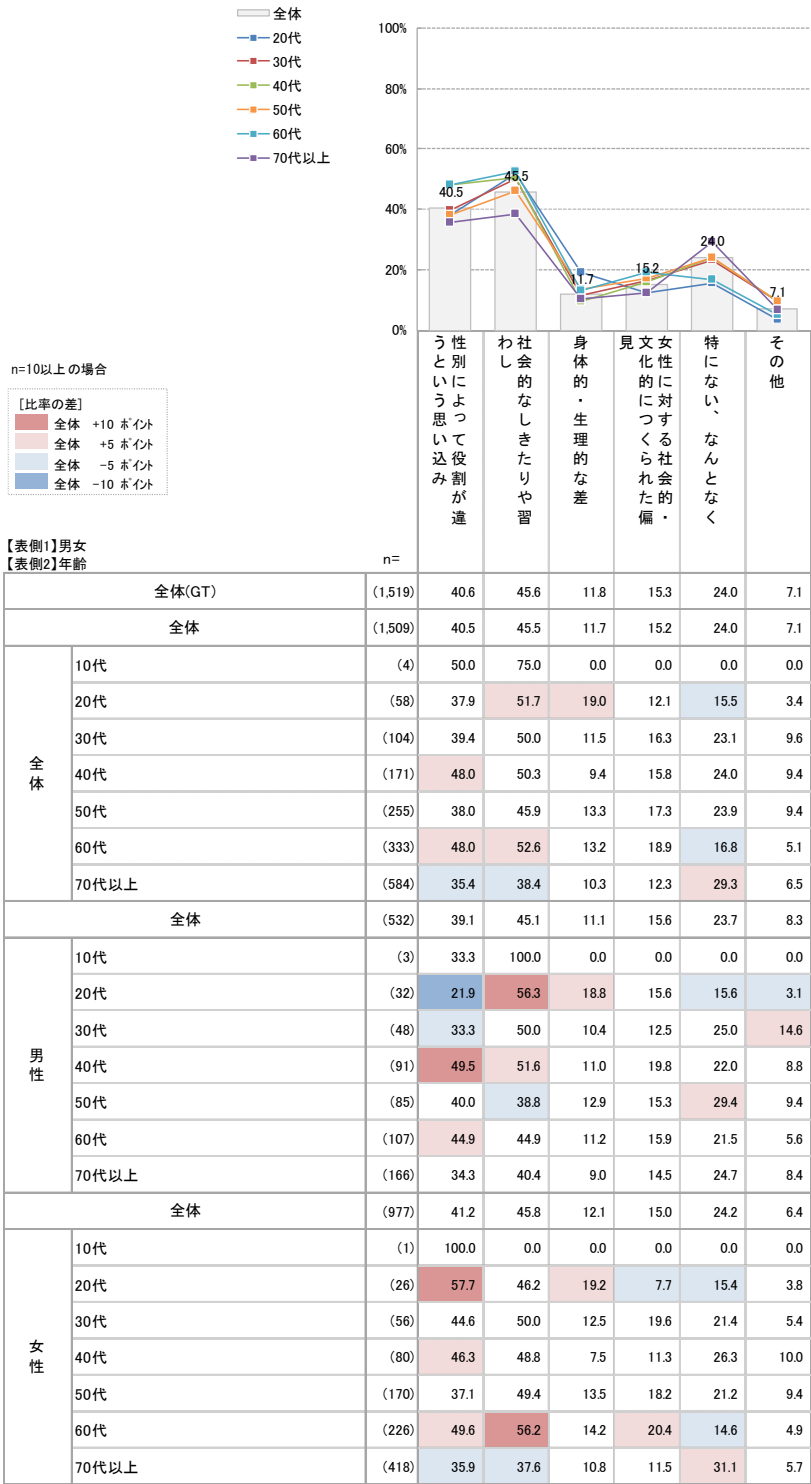
【年齢】「20代」「30代」は「参加しない」が高い(40%)(30%)。



Q13 地域行事や会合に参加する男女の割合に差があると言われますが、その原因は何だと思えますか。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「社会的なしきたりや習わし」が46%と最も高く、次いで「性別によって役割が違うという思い込み」(40%)の順である。

【年齢】 60代で「社会的なしきたりや習わし」「性別によって役割が違うという思い込み」の回答率が高い。



Q23S1 Q23 あなたが「社会活動」にかかる時間をお答えください。月の合計時間で、お答えください。月の差がある場合には、多い月の合計時間でお答えください。

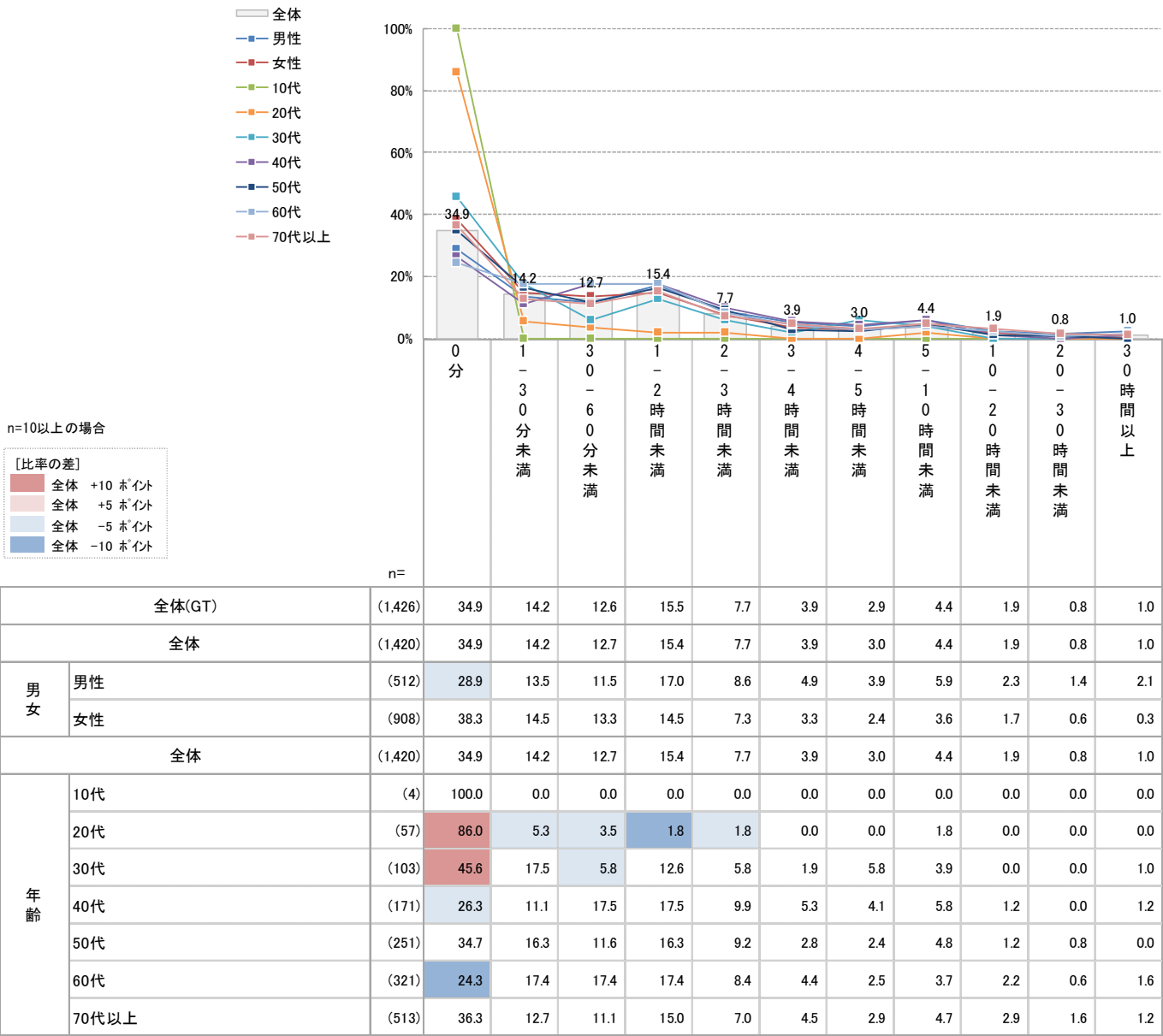
【全体】

「0分」が35%と最も高く、次いで「1-2時間未満」(15%)「1-30分未満」(14%)「30-60分未満」(13%)の順である。

【年齢】

「20代」は「0分」(86%)、「30代」は「0分」(46%)が高い。

※社会活動
地区の会合への参加、地区での草むしり・ひやく、保護者会への出席、PTAなどの保護者組織や保護者による活動への参加、ボランティア



第3章

家事育児時間の実態と意識

対象：高校生までの子を持ち、働いている方

【高校生までの子持ち、働いている方を対象】
仕事・家事・育児に要する時間(末子の年齢別)

【全体】

男性は、仕事に関わる非在宅時間11.3時間、家事1.1時間、育児1.3時間 合計すると13.7時間

女性は、仕事に関わる非在宅時間9.7時間、家事3.4時間、育児2.5時間 合計すると15.6時間

【詳細】

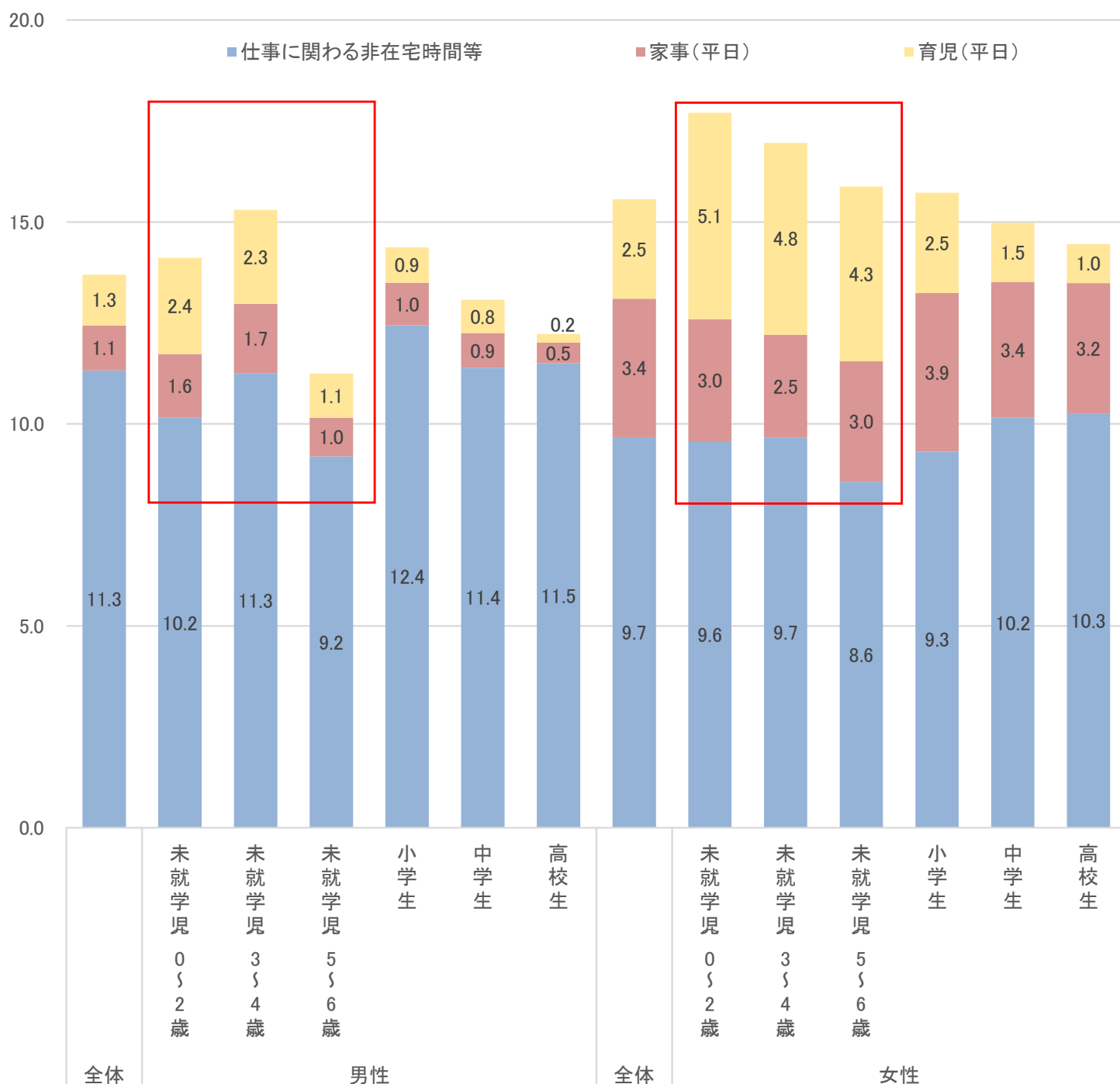
未就学児を持つ男性は、女性よりも0.5～1時間程度、仕事の時間が長い。

一方、未就学児を持つ女性は家事・育児にそれぞれ3～5時間程度要している。

仕事・家事・育児を合計すると女性に多大な負担がかかっている。

仕事に関わる非在宅時間
・「家につく時間」から「家を出る時間」をひいて算出する。時間が不明な方は除く。

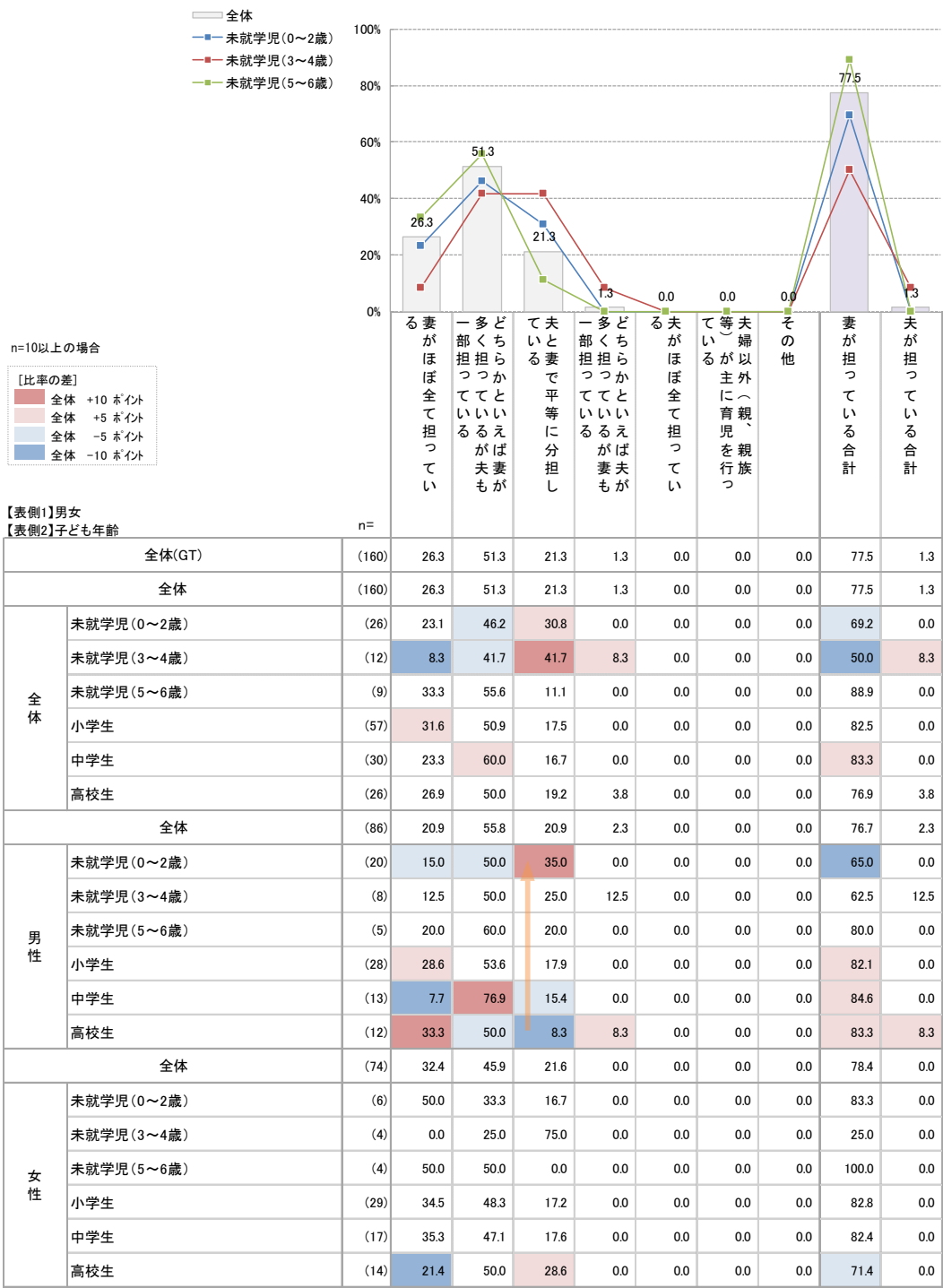
(時間)



Q30 【配偶者と子と同居する方にお聞きします。】 あなたと配偶者の育児分担の状況にいちばん近いと思うものをお答えください。

【全体】「どちらかといえば妻が多く担っているが夫も一部担っている」が53%と最も高く、次いで「妻がほぼ全て担っている」(23%)「夫と妻で平等に分担している」(16%)の順である。

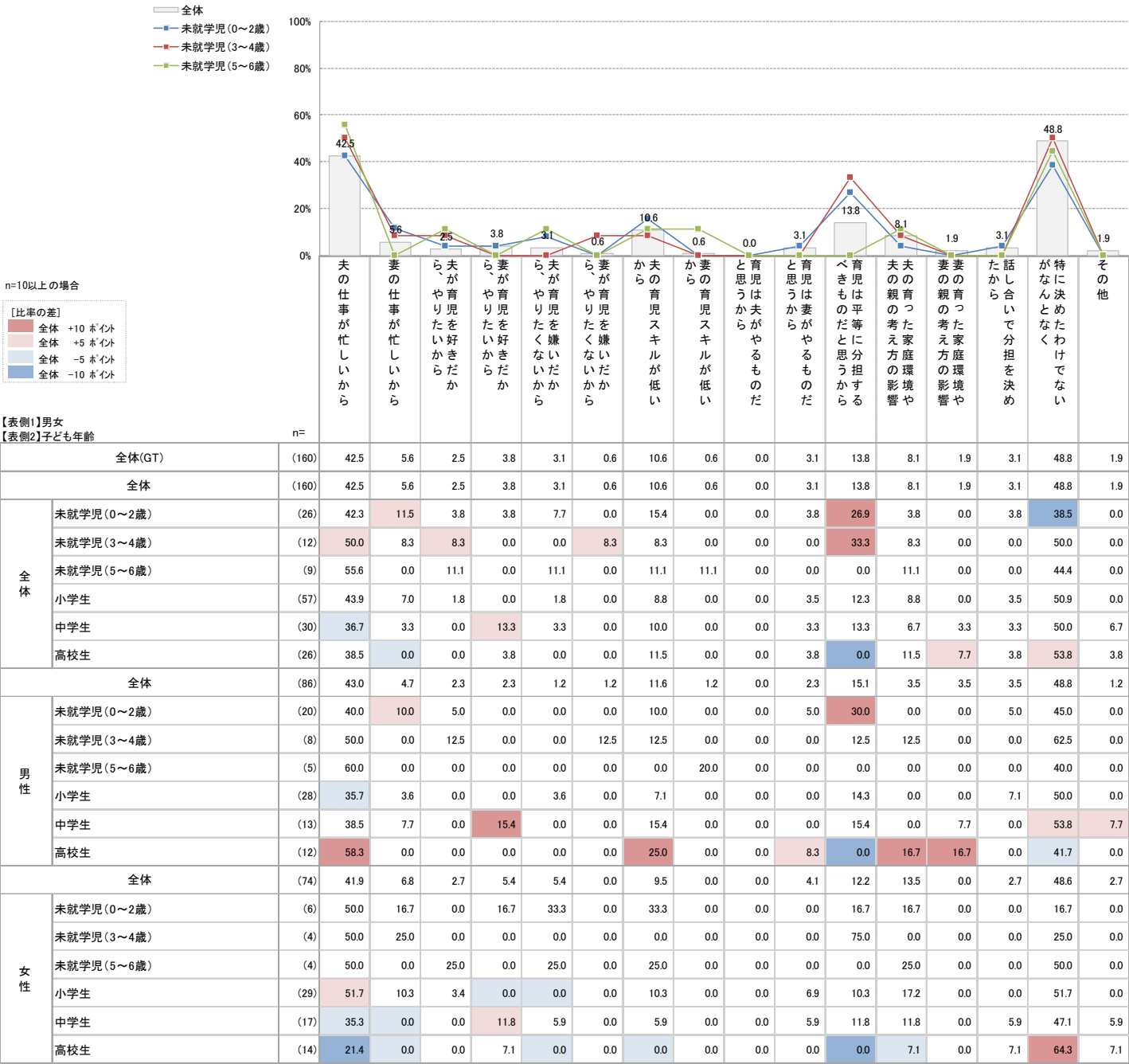
【詳細】「夫と妻で平等に分担している」と回答した人は、「未就学児(0～2歳)」(26%)・「未就学児(3～4歳)」(29%)で高い傾向。但し、男性と女性で差が出ている。



Q31 【配偶者と子と同居する方にお聞きします。】 そのような分担となっている理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「特に決めたわけでないがなんとなく」が49%と最も高く、次いで「夫の仕事が忙しいから」(42%)「育児は平等に分担するべきものだと思うから」(14%)「夫の育児スキルが低いから」(11%)「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」(8%)の順である。

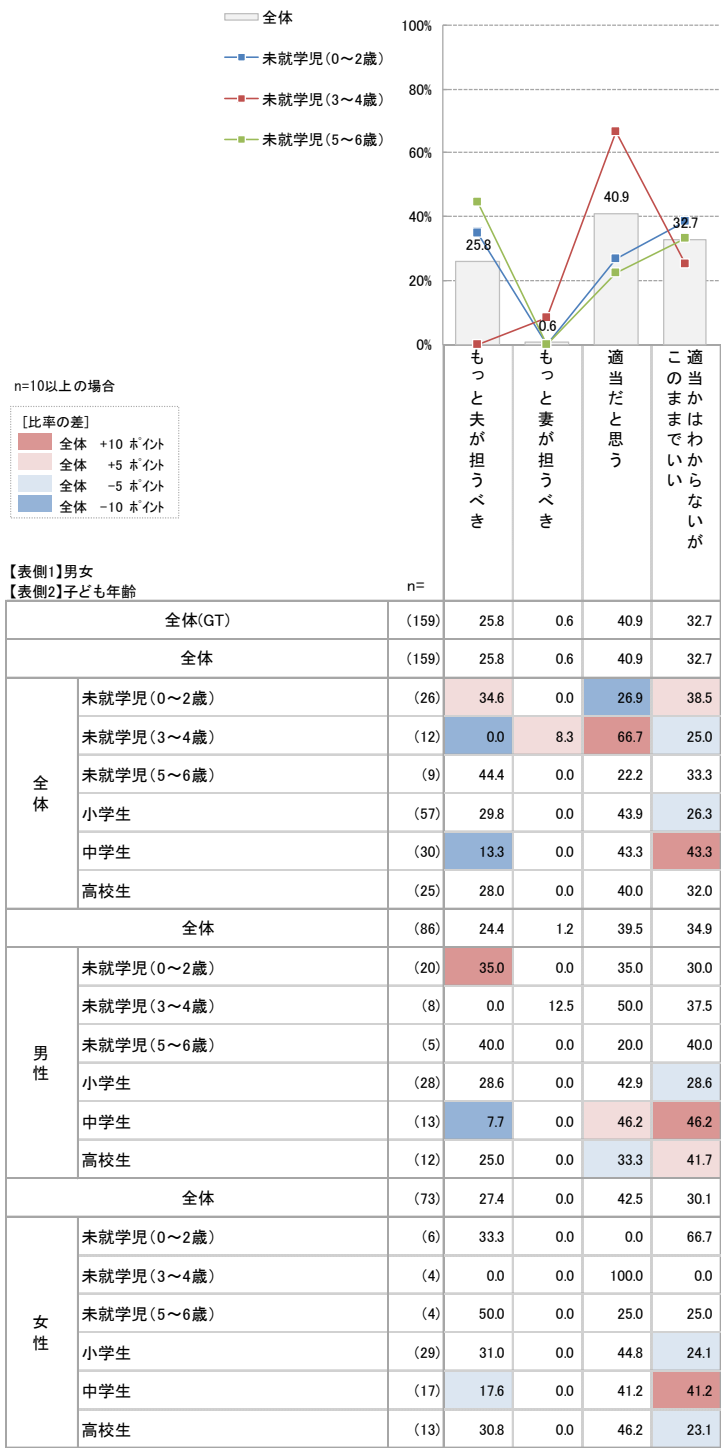
【子ども年齢】「未就学児(0～2歳)」は「特に決めたわけでないがなんとなく」(38%)が低く、「育児は平等に分担するべきものだと思うから」(27%)が高い。「未就学児(3～4歳)」は「育児は平等に分担するべきものだと思うから」(33%)が高い。「高校生」は「育児は平等に分担するべきものだと思うから」(0%)が低い。



Q32 【配偶者と子と同居する方にお聞きします。】 あなたの家庭の育児分担割合についての考えをお答えください。

【全体】「適当だと思う」が41%と最も高く、次いで「適当かはわからないがこのままでいい」(33%)の順である。

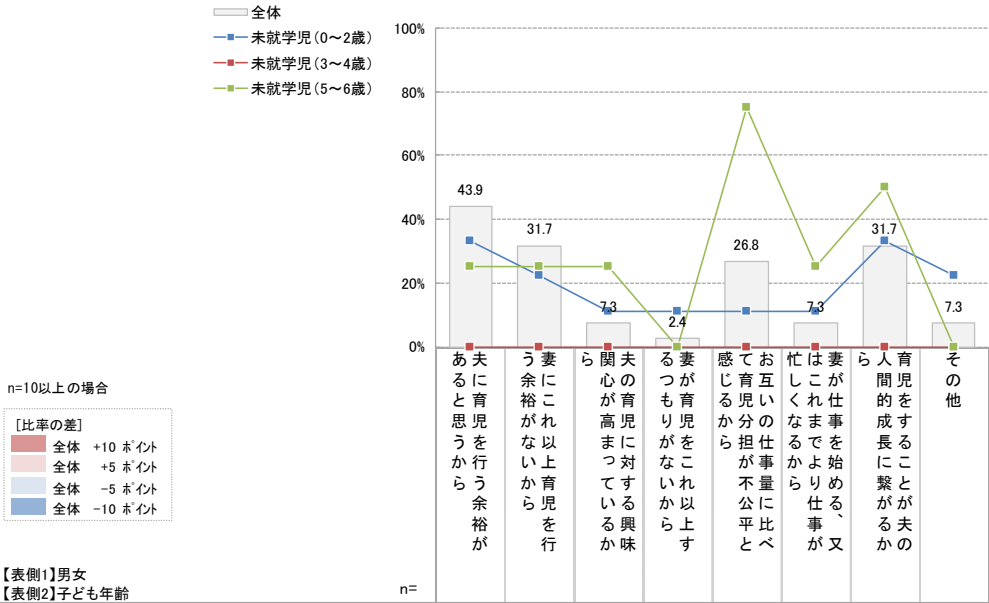
【子ども年齢】「未就学児(0～2歳)」は「適当だと思う」(27%)が低い。「未就学児(3～4歳)」は「適当だと思う」(67%)が高い。「中学生」は「適当かはわからないがこのままでいい」(43%)が高い。



Q33 Q32で「もっと夫が担うべき」と答えた理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「夫に育児を行う余裕があると思うから」が57%と最も高く、次いで「妻にこれ以上育児を行う余裕がないから」(25%)「育児をすることが夫の人間的成長に繋がるから」(23%)の順である。

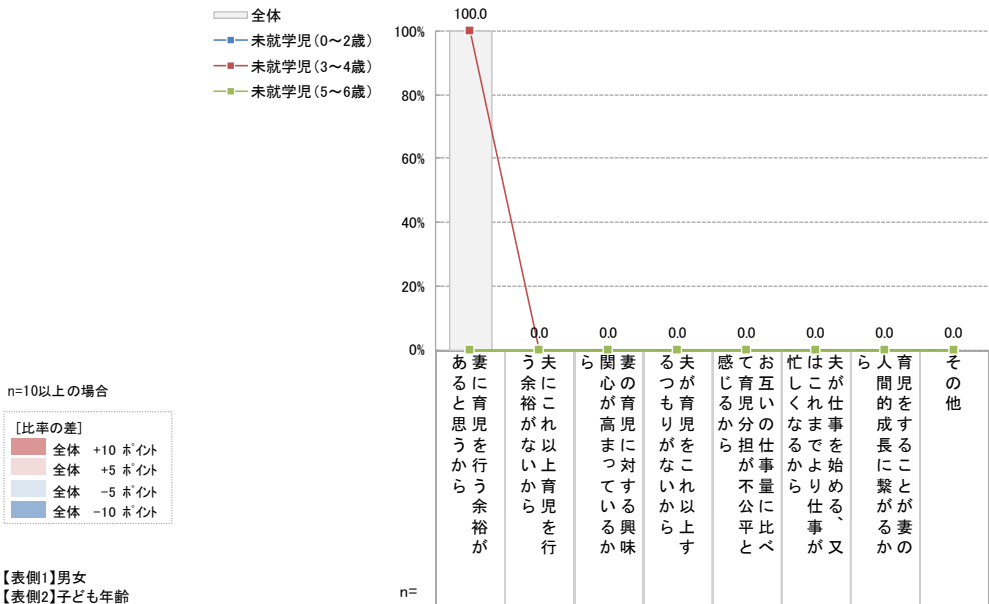
【男女】「男性」は「夫に育児を行う余裕があると思うから」(44%)が低く、「妻にこれ以上育児を行う余裕がないから」(30%)がやや高い。「女性」は「夫に育児を行う余裕があると思うから」(66%)がやや高い。



【表側1】男女
【表側2】子ども年齢

全体(GT)		(41)	43.9	31.7	7.3	2.4	26.8	7.3	31.7	7.3
全体		(41)	43.9	31.7	7.3	2.4	26.8	7.3	31.7	7.3
全体	未就学児 (0~2歳)	(9)	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2
	未就学児 (3~4歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児 (5~6歳)	(4)	25.0	25.0	25.0	0.0	75.0	25.0	50.0	0.0
	小学生	(17)	41.2	35.3	5.9	0.0	29.4	5.9	35.3	5.9
	中学生	(4)	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	高校生	(7)	85.7	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	全体	(21)	42.9	28.6	14.3	0.0	23.8	9.5	23.8	4.8
男性	未就学児 (0~2歳)	(7)	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3
	未就学児 (3~4歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児 (5~6歳)	(2)	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	小学生	(8)	37.5	37.5	12.5	0.0	37.5	0.0	25.0	0.0
	中学生	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	(20)	45.0	35.0	0.0	5.0	30.0	5.0	40.0	10.0
女性	未就学児 (0~2歳)	(2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	未就学児 (3~4歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児 (5~6歳)	(2)	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
	小学生	(9)	44.4	33.3	0.0	0.0	22.2	11.1	44.4	11.1
	中学生	(3)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	高校生	(4)	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	全体	(20)	45.0	35.0	0.0	5.0	30.0	5.0	40.0	10.0

Q34 Q32で「もっと妻が担うべき」と答えた理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。



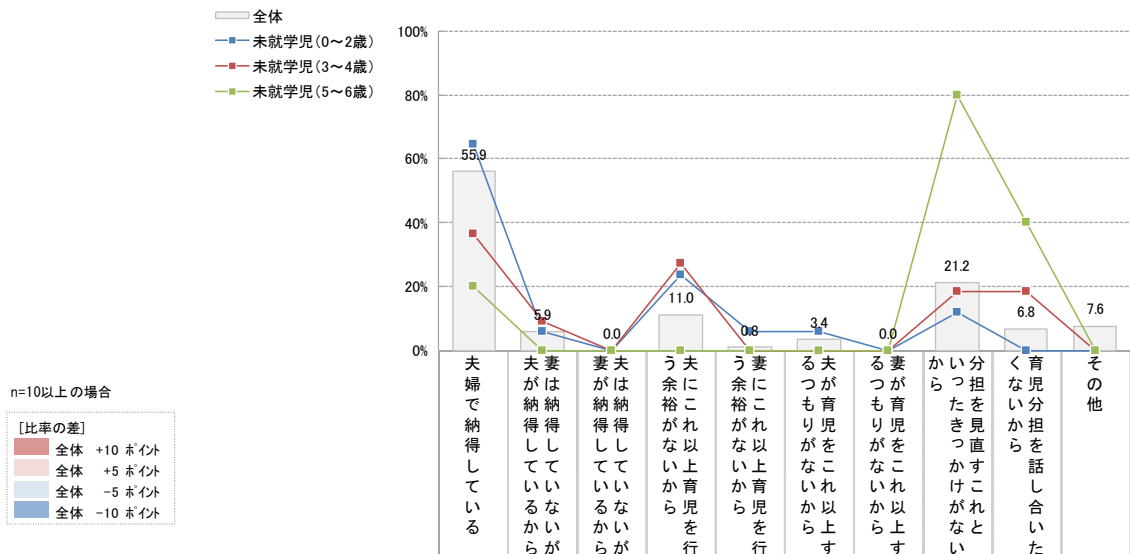
全体(GT)		(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	未就学児(0~2歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(3~4歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5~6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性	未就学児(0~2歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(3~4歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5~6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	未就学児(0~2歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(3~4歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5~6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q35 Q32で「適当だと思う」又は、「このままでいい」と考える理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「夫婦で納得している」が58%と最も高く、次いで「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(19%)「夫にこれ以上育児を行う余裕がないから」(11%)「妻は納得していないが夫が納得しているから」(8%)の順である。

【男女】「男性」は「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(27%)がやや高い。「女性」は「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(12%)がやや低い。

【子ども年齢】「未就学児(0～2歳)」は「夫婦で納得している」(65%)がやや高く、「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(12%)がやや低く、「夫にこれ以上育児を行う余裕がないから」(24%)が高い。「未就学児(3～4歳)」は「夫婦で納得している」(36%)が低く、「夫にこれ以上育児を行う余裕がないから」(27%)が高い。「小学生」は「夫婦で納得している」(62%)がやや高い。「高校生」は「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(11%)、「夫にこれ以上育児を行う余裕がないから」(0%)が低く、「その他」(16%)がやや高い。



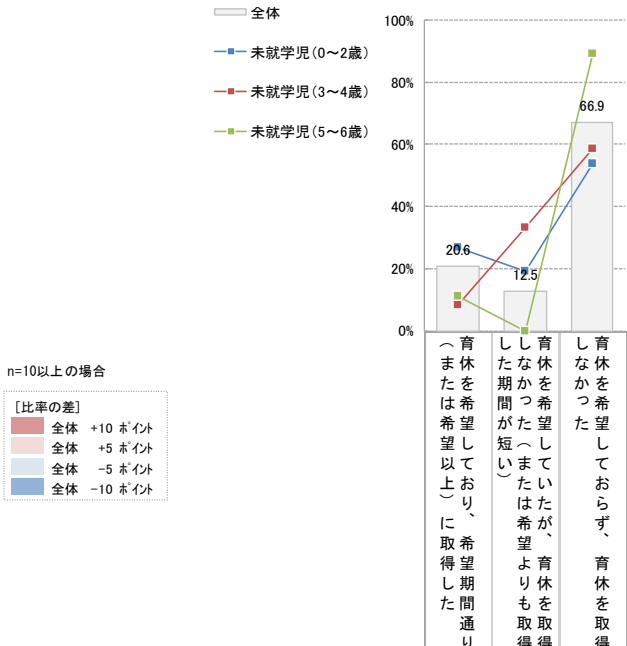
【表側1】男女		【表側2】子ども年齢										
		n=										
全体(GT)		(118)	55.9	5.9	0.0	11.0	0.8	3.4	0.0	21.2	6.8	7.6
全体		(118)	55.9	5.9	0.0	11.0	0.8	3.4	0.0	21.2	6.8	7.6
全体	未就学児(0～2歳)	(17)	64.7	5.9	0.0	23.5	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0
	未就学児(3～4歳)	(11)	36.4	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0
	未就学児(5～6歳)	(5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	40.0	0.0
	小学生	(40)	62.5	5.0	0.0	10.0	0.0	2.5	0.0	22.5	7.5	7.5
	中学生	(26)	53.8	3.8	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	23.1	0.0	11.5
	高校生	(19)	57.9	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	5.3	15.8
全体		(64)	53.1	7.8	0.0	7.8	1.6	0.0	0.0	28.1	9.4	4.7
男性	未就学児(0～2歳)	(13)	76.9	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
	未就学児(3～4歳)	(7)	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0
	未就学児(5～6歳)	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0
	小学生	(20)	55.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	5.0
	中学生	(12)	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
	高校生	(9)	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0
全体		(54)	59.3	3.7	0.0	14.8	0.0	7.4	0.0	13.0	3.7	11.1
女性	未就学児(0～2歳)	(4)	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(3～4歳)	(4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	未就学児(5～6歳)	(2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	小学生	(20)	70.0	5.0	0.0	15.0	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0	10.0
	中学生	(14)	50.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	7.1
	高校生	(10)	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0

Q36 あなたが同居している最も年齢が低いお子様について、【男性】あなた（【女性】あなたの夫）は、育児休業等を取得しましたか（していますか）。

【全体】「育休を希望しており、希望期間通り(または希望以上)に取得した」は21%で、「育休を希望しておらず、育休を希望しておらず、育休を取得しなかった」が67%と最も高い。

【男女】-

【子ども年齢】「未就学児(0～2歳)」は「育休を希望しておらず、育休を取得しなかった」(54%)が低い。「未就学児(3～4歳)」は「育休を希望していたが、育休を取得しなかった(または希望よりも取得した期間が短い)」(33%)が高い。「中学生」「高校生」は「育休を希望しておらず、育休を取得しなかった」が高い。



【表側1】男女		【表側2】子ども年齢		n=	
全体		(160)	20.6	12.5	66.9
全体	未就学児(0～2歳)	(26)	26.9	19.2	53.8
	未就学児(3～4歳)	(12)	8.3	33.3	58.3
	未就学児(5～6歳)	(9)	11.1	0.0	88.9
	小学生	(57)	28.1	14.0	57.9
	中学生	(30)	10.0	10.0	80.0
	高校生	(26)	19.2	0.0	80.8
全体		(86)	18.6	14.0	67.4
男性	未就学児(0～2歳)	(20)	25.0	20.0	55.0
	未就学児(3～4歳)	(8)	12.5	37.5	50.0
	未就学児(5～6歳)	(5)	20.0	0.0	80.0
	小学生	(28)	28.6	10.7	60.7
	中学生	(13)	0.0	15.4	84.6
	高校生	(12)	8.3	0.0	91.7
全体		(74)	23.0	10.8	66.2
女性	未就学児(0～2歳)	(6)	33.3	16.7	50.0
	未就学児(3～4歳)	(4)	0.0	25.0	75.0
	未就学児(5～6歳)	(4)	0.0	0.0	100.0
	小学生	(29)	27.6	17.2	55.2
	中学生	(17)	17.6	5.9	76.5
	高校生	(14)	28.6	0.0	71.4

参考
あなたが将来子どもをもった場合、
【男性】育児休業等を取得したいですか。
【女性】夫に育児休業等の取得をして欲しいですか。

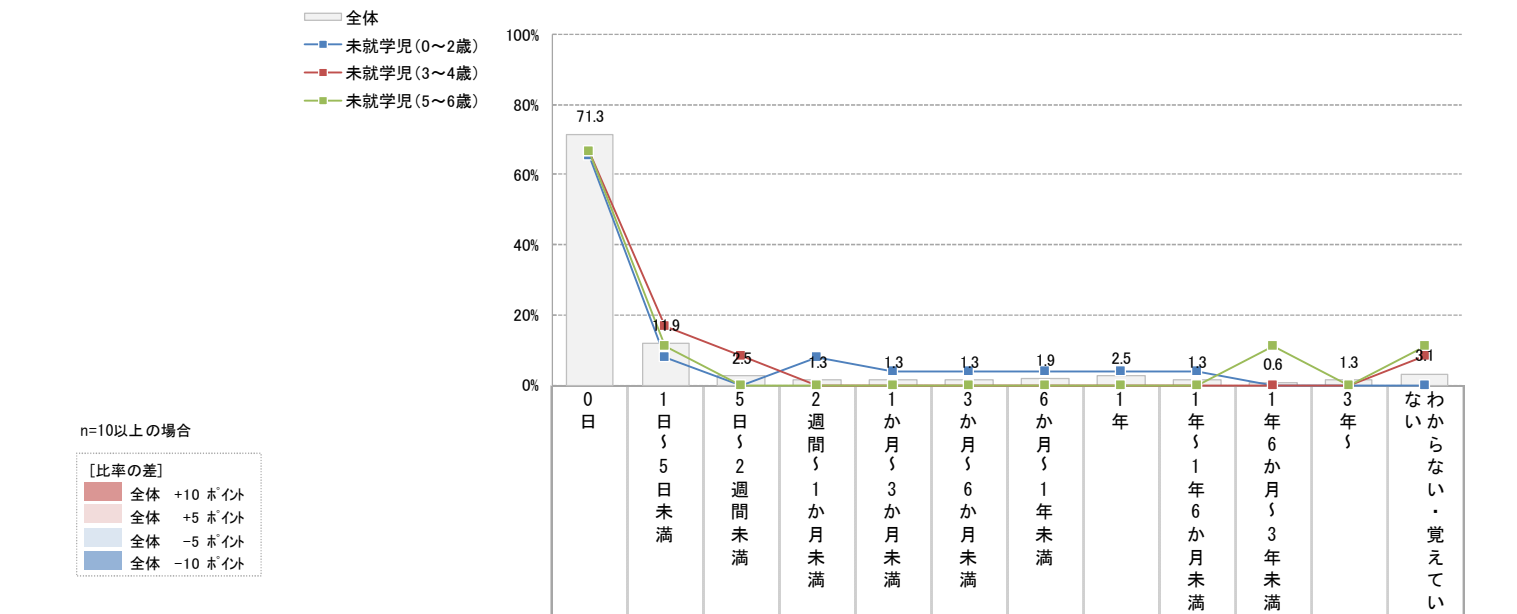
100%取得したい、して欲しい。



Q38 【お子様と同居している方にお聞きします】あなたが同居している最も年齢が低いお子様について、【男性】あなたは（【女性】あなたの夫）は、どのくらいの期間、育児休業等を取得しましたか（していますか）。

【全体】「0日」が71%と最も高く、次いで「1日～5日未満」(12%)「わからない・覚えていない」(3%)「5日～2週間未満」(2%)の順である。

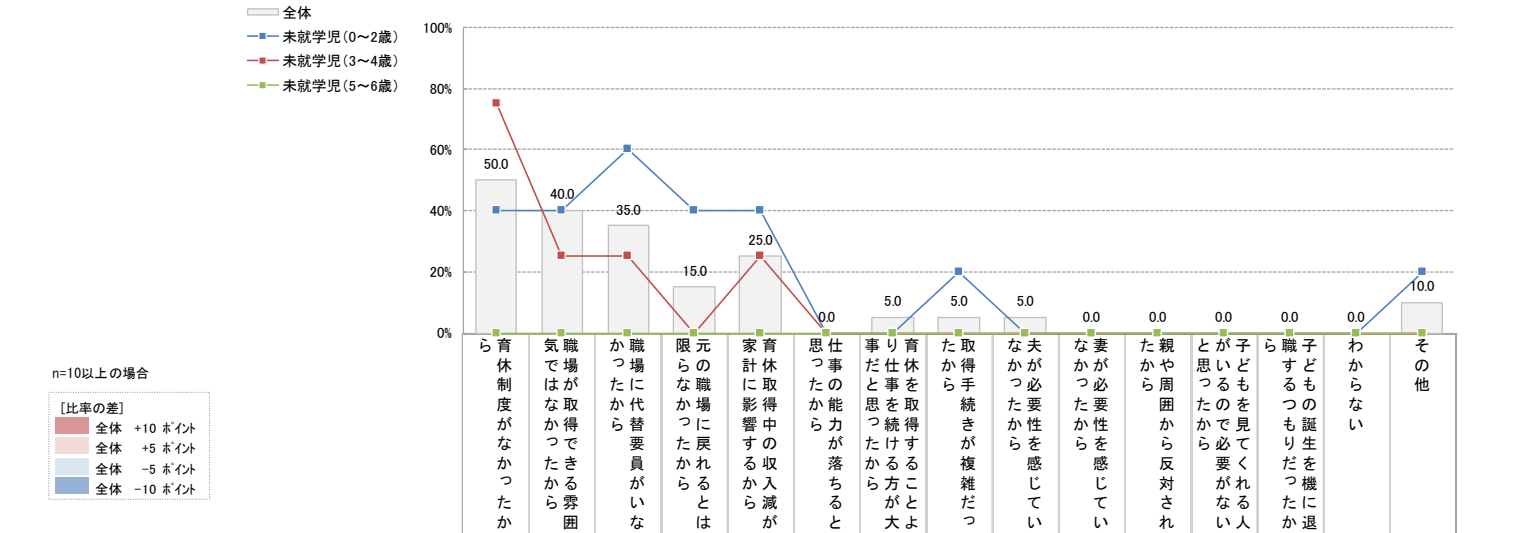
【子ども年齢】「未就学児(0～2歳)」は「0日」(65%)がやや低く、「2週間～1か月未満」(8%)がやや高い。「未就学児(3～4歳)」は「5日～2週間未満」(8%)がやや高い。「高校生」は「0日」(85%)が高い。



【表側1】男女		【表側2】子ども年齢		n=											
全体(GT)		(160)	71.3	11.9	2.5	1.3	1.3	1.3	1.9	2.5	1.3	0.6	1.3	3.1	
全体		(160)	71.3	11.9	2.5	1.3	1.3	1.3	1.9	2.5	1.3	0.6	1.3	3.1	
全体	未就学児(0～2歳)	(26)	65.4	7.7	0.0	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	
	未就学児(3～4歳)	(12)	66.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	
	未就学児(5～6歳)	(9)	66.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	
	小学生	(57)	68.4	12.3	5.3	0.0	0.0	0.0	1.8	3.5	0.0	0.0	3.5	5.3	
	中学生	(30)	73.3	13.3	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	高校生	(26)	84.6	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	
全体		(86)	70.9	16.3	3.5	2.3	0.0	1.2	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	3.5	
男性	未就学児(0～2歳)	(20)	75.0	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	未就学児(3～4歳)	(8)	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	
	未就学児(5～6歳)	(5)	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
	小学生	(28)	71.4	17.9	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	
	中学生	(13)	69.2	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	高校生	(12)	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全体		(74)	71.6	6.8	1.4	0.0	2.7	1.4	2.7	4.1	2.7	1.4	2.7	2.7	
女性	未就学児(0～2歳)	(6)	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	
	未就学児(3～4歳)	(4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	未就学児(5～6歳)	(4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
	小学生	(29)	65.5	6.9	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0	0.0	6.9	6.9	
	中学生	(17)	76.5	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
	高校生	(14)	85.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	

Q39 【お子様と同居している方にお聞きします】あなたが同居している最も年齢が低いお子様について、【男性】あなたは（【女性】あなたの夫）は、育児休業等を取得しなかった（または希望よりも取得した期間が短い）理由にあてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「育休制度がなかったから」が50%と最も高く、次いで「職場が取得できる雰囲気ではなかったから」(40%)「職場に代替要員がいなかったから」(35%)「育休取得中の収入減が家計に影響するから」(25%)「元の職場に戻れるとは限らなかったから」(15%)の順である。

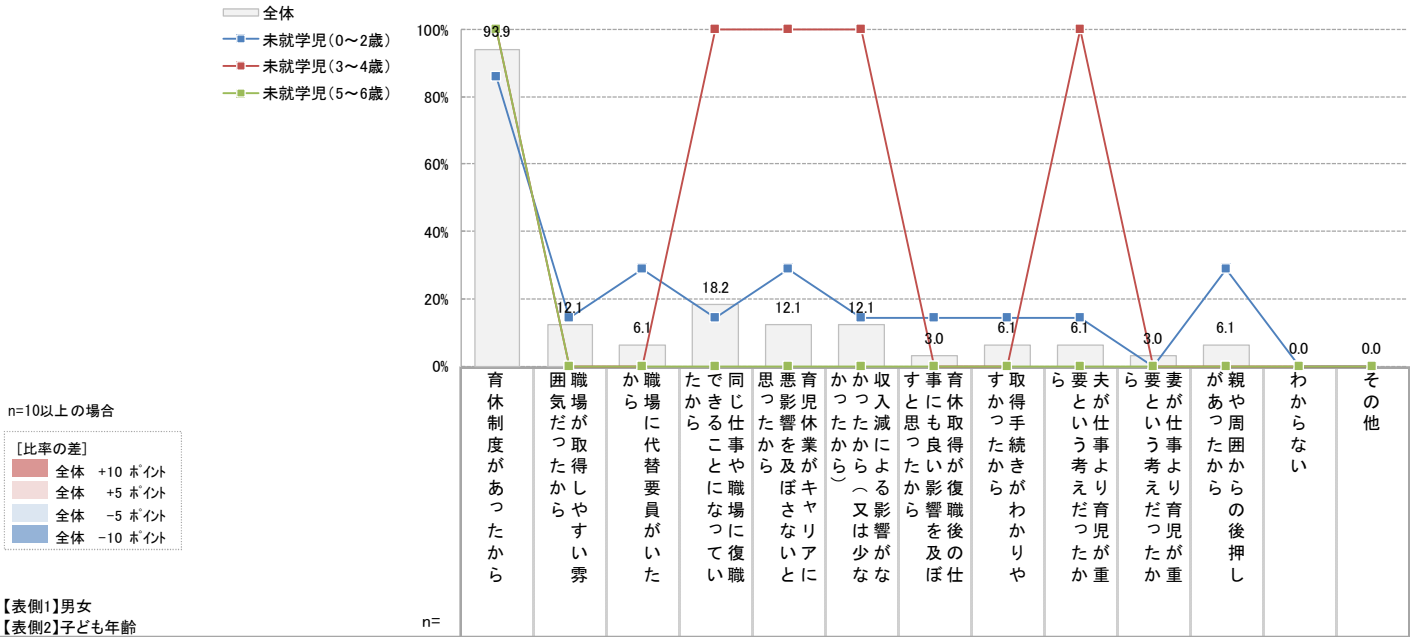


【表側1】男女		【表側2】子ども年齢		n=														
全体(GT)		(20)	50.0	40.0	35.0	15.0	25.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
全体		(20)	50.0	40.0	35.0	15.0	25.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
全体	未就学児(0~2歳)	(5)	40.0	40.0	60.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	200
	未就学児(3~4歳)	(4)	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	未就学児(5~6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	小学生	(8)	37.5	37.5	12.5	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	中学生	(3)	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	高校生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	全体	(12)	50.0	50.0	25.0	8.3	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
男性	未就学児(0~2歳)	(4)	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	250
	未就学児(3~4歳)	(3)	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	未就学児(5~6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	小学生	(3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	中学生	(2)	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	500
	高校生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
全体		(8)	50.0	25.0	50.0	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
女性	未就学児(0~2歳)	(1)	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	未就学児(3~4歳)	(1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	未就学児(5~6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	小学生	(5)	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	中学生	(1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00
	高校生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00

性別	年齢	Q39_15 その他【 】
女性	30代	産休、育休は取得できたが、その後時短勤務なら雇用は…となりフルタイム勤務も難しく、退職しなければならない状況になった。
男性	40代	育休の補助金が入って来るまでに時間がかかりすぎて経済的に余裕がなかったから
女性	50代	その時は仕事していなかったから
男性	50代	希望したか却下された。
男性	40代	異動させられたから。

Q40 【Q36で育休を取得した方にお聞きします】あなたが同居している最も年齢が低いお子様について、【男性】あなたは（【女性】あなたの夫）は、育児休業等を取得した（または希望以上）理由にあてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「育休制度があったから」が97%と最も高く、次いで「同じ仕事や職場に復職できることになっていたから」(4%)「職場が取得しやすい雰囲気だったから」(3%)「育児休業がキャリアに悪影響を及ぼさなかったから」(2%)「収入減による影響がなかったから(又は少なかったから)」(2%)の順である。



【表側1】男女
【表側2】子ども年齢

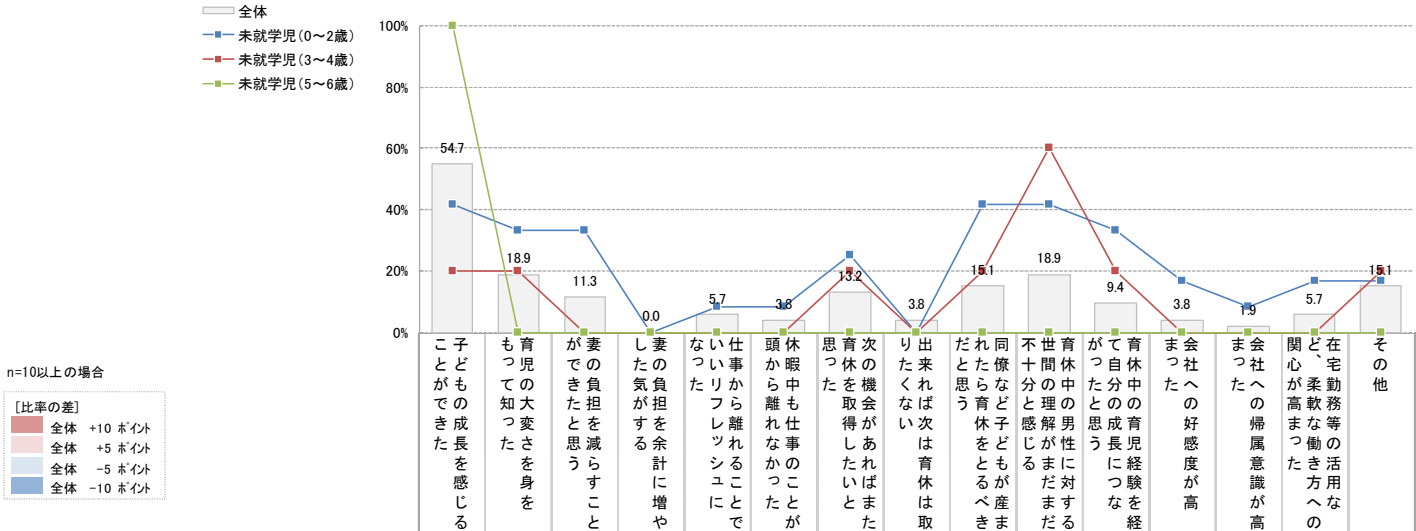
全体(GT)		(33)	93.9	12.1	6.1	18.2	12.1	12.1	3.0	6.1	6.1	3.0	6.1	0.0	0.0
全体		(33)	93.9	12.1	6.1	18.2	12.1	12.1	3.0	6.1	6.1	3.0	6.1	0.0	0.0
全体	未就学児(0~2歳)	(7)	85.7	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
	未就学児(3~4歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5~6歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(16)	93.8	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	中学生	(3)	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(5)	100.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		(16)	93.8	18.8	6.3	12.5	18.8	25.0	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0
男性	未就学児(0~2歳)	(5)	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	未就学児(3~4歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5~6歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(8)	87.5	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中学生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		(17)	94.1	5.9	5.9	23.5	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0
女性	未就学児(0~2歳)	(2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	未就学児(3~4歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5~6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(8)	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	中学生	(3)	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(4)	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q41 【Q36で育休を取得した方にお聞きします】育休期間を終えたとき、あなたの考え方にあてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「子どもの成長を感じることができた」が90%と最も高く、次いで「育児の大変さを身をもって知った」(5%)「育休中の男性に対する世間の理解がまだまだ不十分と感じる」(5%)「同僚など子どもが産まれたら育休をとるべきだと思う」(4%)「その他」(4%)の順である。

【男女】「男性」は「子どもの成長を感じることができた」(78%)が低く、「育休中の男性に対する世間の理解がまだまだ不十分と感じる」(10%)、「その他」(10%)がやや高い。

【年齢】「未就学児(0～2歳)」は「同僚など子どもが産まれたら育休をとるべきだと思う」(42%)、「育休中の男性に対する世間の理解がまだまだ不十分と感じる」(42%)、「育児の大変さを身をもって知った」(33%)が高い。



【表例1】男女

【表例2】子ども年齢

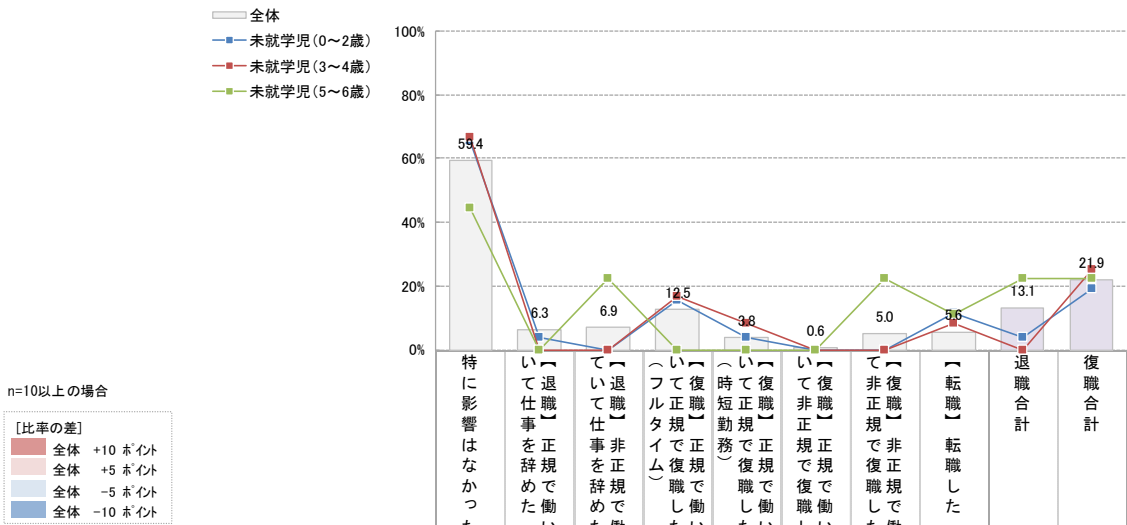
全体(GT)		(53)	54.7	18.9	11.3	0.0	5.7	3.8	13.2	3.8	15.1	18.9	9.4	3.8	1.9	5.7	15.1
全体		(53)	54.7	18.9	11.3	0.0	5.7	3.8	13.2	3.8	15.1	18.9	9.4	3.8	1.9	5.7	15.1
全体	未就学児(0～2歳)	(12)	41.7	33.3	33.3	0.0	8.3	8.3	25.0	0.0	41.7	41.7	33.3	16.7	8.3	16.7	16.7
	未就学児(3～4歳)	(5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	未就学児(5～6歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(24)	54.2	20.8	4.2	0.0	4.2	4.2	12.5	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	16.7
	中学生	(6)	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	高校生	(5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	(28)	50.0	14.3	17.9	0.0	7.1	3.6	17.9	3.6	21.4	25.0	14.3	7.1	3.6	3.6	17.9
男性	未就学児(0～2歳)	(9)	55.6	33.3	33.3	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0	44.4	44.4	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2
	未就学児(3～4歳)	(4)	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	未就学児(5～6歳)	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(11)	54.5	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
	中学生	(2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	高校生	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	(25)	60.0	24.0	4.0	0.0	4.0	4.0	8.0	4.0	8.0	12.0	4.0	0.0	0.0	8.0	12.0
女性	未就学児(0～2歳)	(3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	未就学児(3～4歳)	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5～6歳)	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小学生	(13)	53.8	38.5	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1
	中学生	(4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校生	(4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	(25)	60.0	24.0	4.0	0.0	4.0	4.0	8.0	4.0	8.0	12.0	4.0	0.0	0.0	8.0	12.0

Q42 【お子様と同居している方にお聞きします】 出産・育児を機に、働き方・雇用形態に影響があったかどうかをお答えください。

【全体】「特に影響はなかった」が60%と最も高く、次いで「【退職】正規で働いていて仕事を辞めた」(5%)「【復職】正規で働いていて正規で復職した(フルタイム)」(5%)の順である。

【男女】全体では、退職(正規で働いていて辞めた+非正規で働いていて辞めた)が13%、男性は5%、女性23%と女性への影響が大きい。

「男性」は「特に影響はなかった」(83%)が高い。「女性」は「特に影響はなかった」(32%)がやや低い。また、「【退職】正規で働いていて仕事を辞めた」(11%)、「【退職】非正規で働いていて仕事を辞めた」(12%)が高い。



【表例1】男女
【表例2】子ども年齢

全体(GT)		n=	特に影響はなかった	【退職】正規で働いて仕事を辞めた	【退職】非正規で働いて仕事を辞めた	【復職】正規で働いてフルタイム	【復職】正規で働いて時短勤務	【復職】正規で働いて非正規	【復職】非正規で働いて正規	【転職】転職した	退職合計	復職合計
全体		(160)	59.4	6.3	6.9	12.5	3.8	0.6	5.0	5.6	13.1	21.9
全体	未就学児(0~2歳)	(26)	65.4	3.8	0.0	15.4	3.8	0.0	0.0	11.5	3.8	19.2
	未就学児(3~4歳)	(12)	66.7	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0
	未就学児(5~6歳)	(9)	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2
	小学生	(57)	56.1	7.0	10.5	10.5	7.0	1.8	3.5	3.5	17.5	22.8
	中学生	(30)	50.0	10.0	6.7	16.7	0.0	0.0	13.3	3.3	16.7	30.0
	高校生	(26)	73.1	7.7	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	3.8	11.5	11.5
	全体	(86)	82.6	2.3	2.3	3.5	2.3	1.2	1.2	4.7	4.7	8.1
男性	未就学児(0~2歳)	(20)	80.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	未就学児(3~4歳)	(8)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未就学児(5~6歳)	(5)	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	小学生	(28)	82.1	0.0	7.1	0.0	3.6	3.6	0.0	3.6	7.1	7.1
	中学生	(13)	69.2	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	23.1
	高校生	(12)	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	全体	(74)	32.4	10.8	12.2	23.0	5.4	0.0	9.5	6.8	23.0	37.8
女性	未就学児(0~2歳)	(6)	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0
	未就学児(3~4歳)	(4)	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
	未就学児(5~6歳)	(4)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0
	小学生	(29)	31.0	13.8	13.8	20.7	10.3	0.0	6.9	3.4	27.6	37.9
	中学生	(17)	35.3	11.8	11.8	17.6	0.0	0.0	17.6	5.9	23.5	35.3
	高校生	(14)	57.1	7.1	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	21.4
	全体	(160)	59.4	6.3	6.9	12.5	3.8	0.6	5.0	5.6	13.1	21.9

第4章

家事育児時間の実態と意識

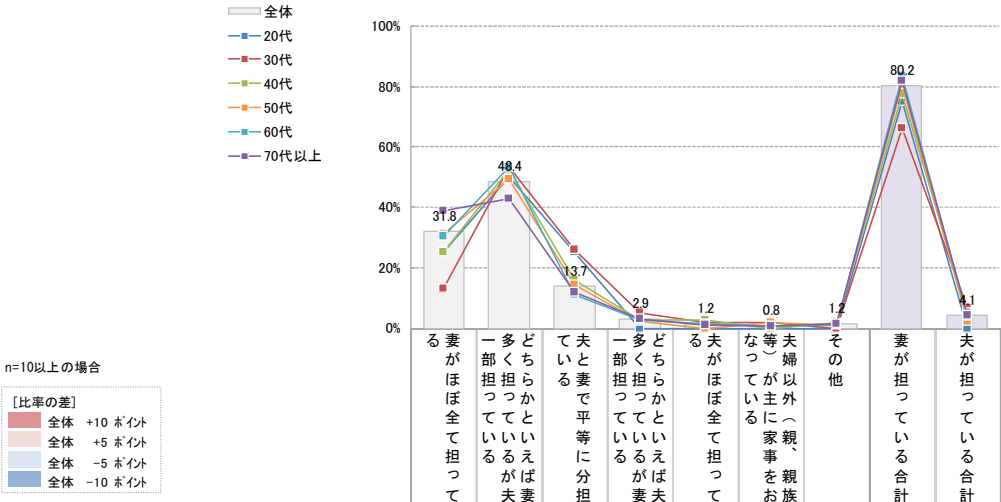
世代別

Q24 【配偶者と同居する方にお聞きします。】 あなたと配偶者の家事分担の状況にいちばん近いと思うものをお答えください。

【全体】「どちらかといえば妻が多く担っているが夫も一部担っている」が48%と最も高く、次いで「妻がほぼ全て担っている」(32%)「夫と妻で平等に分担している」(14%)の順である。

【男女】「男性」は「妻がほぼ全て担っている」(26%)がやや低い。

【年齢】「30代」は「妻がほぼ全て担っている」(13%)が低く、「夫と妻で平等に分担している」(26%)が高い。「40代」は「妻がほぼ全て担っている」(25%)がやや低い。「70代以上」は「妻がほぼ全て担っている」(39%)がやや高く、「どちらかといえば妻が多く担っているが夫も一部担っている」(43%)がやや低い。



【表例1】男女
【表例2】年齢

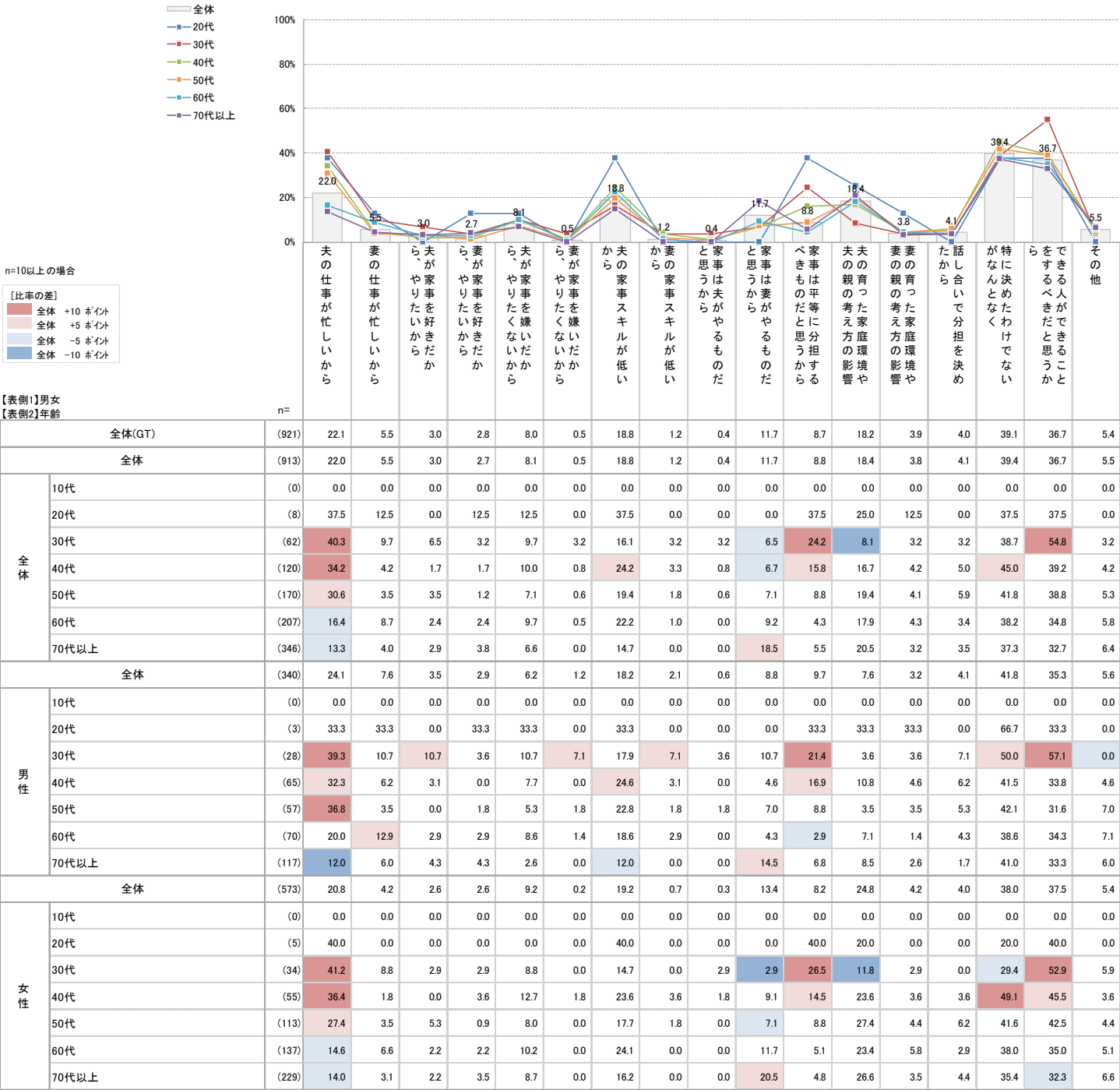
全体(GT)		(919)	32.0	48.3	13.6	2.9	1.2	0.8	1.2	80.3	4.1
全体		(911)	31.8	48.4	13.7	2.9	1.2	0.8	1.2	80.2	4.1
全体	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(8)	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	30代	(62)	12.9	53.2	25.8	4.8	1.6	1.6	0.0	66.1	6.5
	40代	(120)	25.0	52.5	15.8	2.5	2.5	0.0	1.7	77.5	5.0
	50代	(170)	31.2	49.4	14.1	2.4	0.0	1.8	1.2	80.6	2.4
	60代	(207)	30.4	53.1	11.1	2.4	1.4	0.5	1.0	83.6	3.9
	70代以上	(344)	39.0	42.7	11.9	3.2	1.2	0.6	1.5	81.7	4.4
全体		(340)	25.9	51.8	14.7	4.7	0.6	0.9	1.5	77.6	5.3
男性	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(3)	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	30代	(28)	10.7	57.1	25.0	7.1	0.0	0.0	0.0	67.9	7.1
	40代	(65)	24.6	46.2	21.5	4.6	1.5	0.0	1.5	70.8	6.2
	50代	(57)	29.8	50.9	15.8	1.8	0.0	1.8	0.0	80.7	1.8
	60代	(70)	21.4	60.0	10.0	5.7	0.0	1.4	1.4	81.4	5.7
	70代以上	(117)	30.8	49.6	10.3	5.1	0.9	0.9	2.6	80.3	6.0
全体		(571)	35.4	46.4	13.1	1.8	1.6	0.7	1.1	81.8	3.3
女性	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(5)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
	30代	(34)	14.7	50.0	26.5	2.9	2.9	2.9	0.0	64.7	5.9
	40代	(55)	25.5	60.0	9.1	0.0	3.6	0.0	1.8	85.5	3.6
	50代	(113)	31.9	48.7	13.3	2.7	0.0	1.8	1.8	80.5	2.7
	60代	(137)	35.0	49.6	11.7	0.7	2.2	0.0	0.7	84.7	2.9
	70代以上	(227)	43.2	39.2	12.8	2.2	1.3	0.4	0.9	82.4	3.5

Q25 【配偶者と同居する方にお聞きします。】 そのような分担となっている理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「特に決めたわけでないがなんとなく」が39%と最も高く、次いで「できる人ができることをするべきだと思うから」(37%)「夫の仕事が忙しいから」(22%)「夫の家事スキルが低いから」(19%)「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」(18%)の順である。

【男女】「男性」は「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」(8%)が低い。「女性」は「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」(25%)がやや高い。

【年齢】「30代」は「できる人ができることをするべきだと思うから」(55%)、「夫の仕事が忙しいから」(40%)が高く、「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」(8%)が低い。「40代」は「特に決めたわけでないがなんとなく」(45%)がやや高く、「夫の仕事が忙しいから」(34%)が高い。



Q26 【配偶者と同居する方にお聞きします。】 あなたの家庭の家事分担割合についての考えをお答えください。

【全体】「適当かはわからないがこのままでいい」が43%と最も高く、次いで「適当だと思う」(29%)の順である。
【年齢】「30代」は「適当だと思う」(47%)が高く、「適当かはわからないがこのままでいい」(29%)が低い。

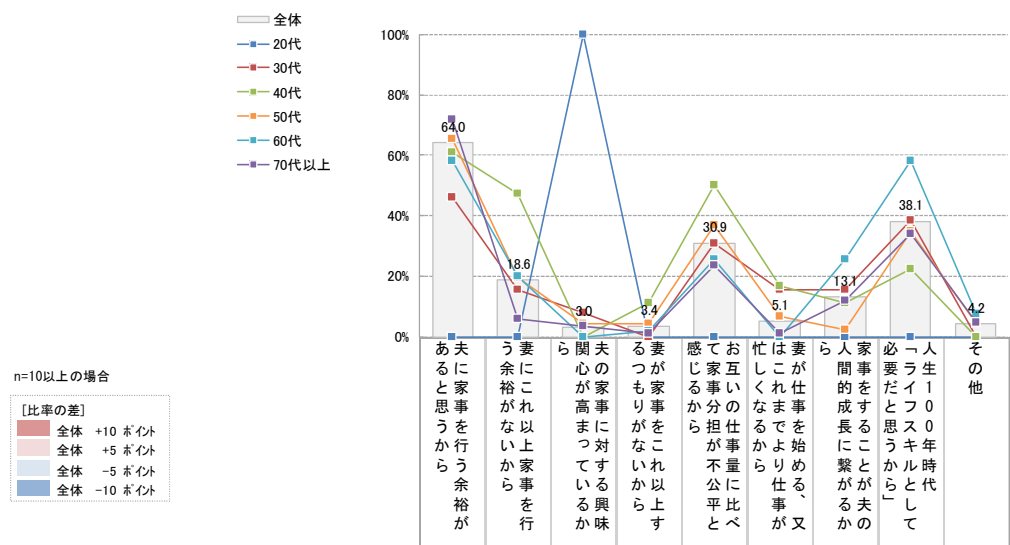


Q27 Q26で「もっと夫が担うべき」と答えた理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「夫に家事を行う余裕があると思うから」が64%と最も高く、次いで「人生100年時代「ライフスキルとして必要だと思うから」(38%)「お互いの仕事量に比べて家事分担が不公平と感じるから」(31%)の順である。

【男女】「人生100年時代「ライフスキルとして必要だと思うから」(13%)が低い。「女性」は「人生100年時代「ライフスキルとして必要だと思うから」(48%)が高い。

【年齢】「40代」は「人生100年時代「ライフスキルとして必要だと思うから」(22%)が低く、「お互いの仕事量に比べて家事分担が不公平と感じるから」(50%)が高い。「60代」は「人生100年時代「ライフスキルとして必要だと思うから」(58%)が高い。

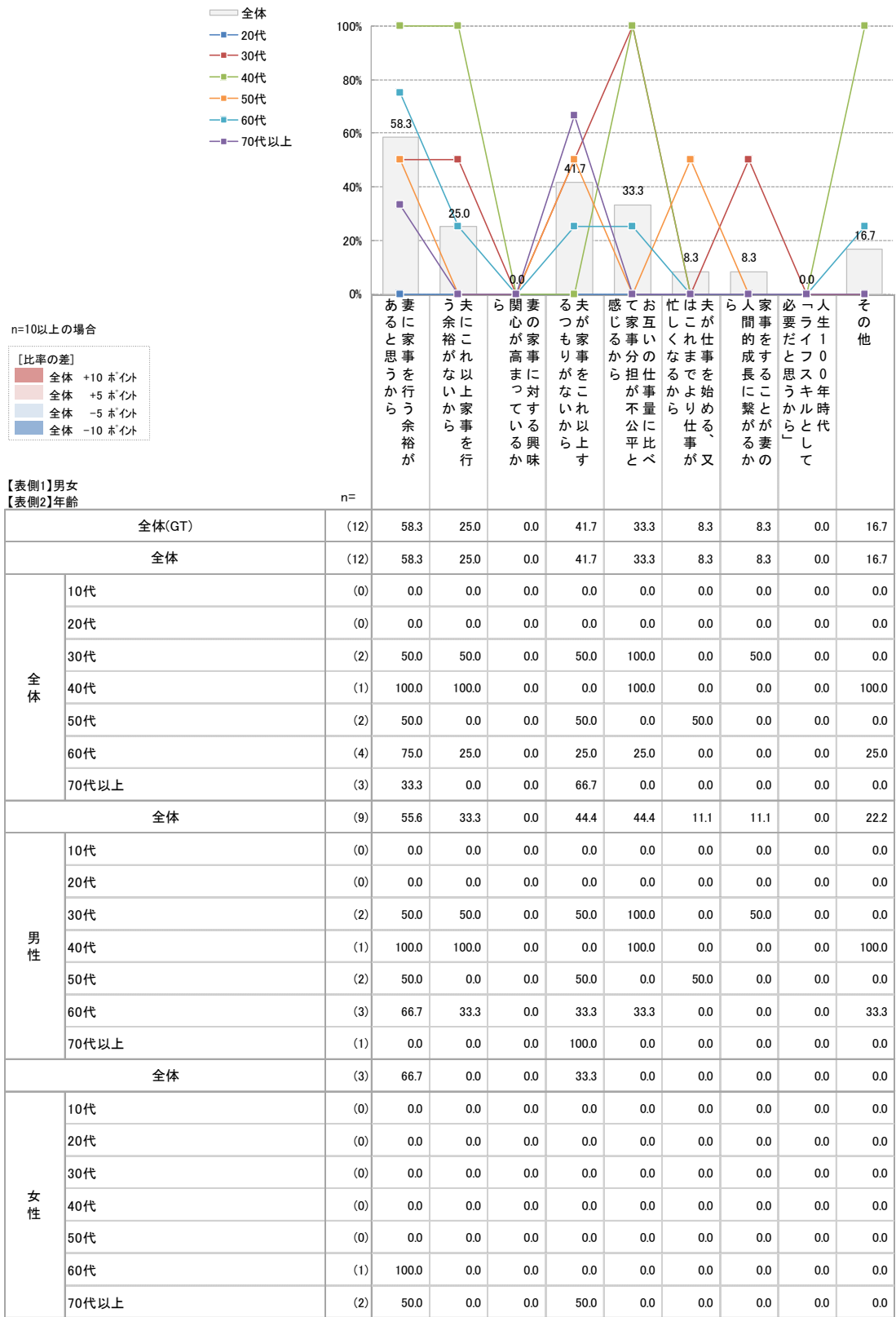


【表側1】男女		【表側2】年齢									
全体(GT)		(239)	64.0	18.8	2.9	3.3	30.5	5.0	13.0	37.7	4.2
全体		(236)	64.0	18.6	3.0	3.4	30.9	5.1	13.1	38.1	4.2
全体	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	(13)	46.2	15.4	7.7	0.0	30.8	15.4	15.4	38.5	0.0
	40代	(36)	61.1	47.2	0.0	11.1	50.0	16.7	11.1	22.2	0.0
	50代	(46)	65.2	19.6	4.3	4.3	37.0	6.5	2.2	34.8	4.3
	60代	(55)	58.2	20.0	0.0	1.8	25.5	0.0	25.5	58.2	7.3
	70代以上	(85)	71.8	5.9	3.5	1.2	23.5	1.2	11.8	34.1	4.7
全体		(68)	69.1	22.1	7.4	1.5	30.9	8.8	13.2	13.2	1.5
男性	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	(6)	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0
	40代	(15)	60.0	40.0	0.0	6.7	53.3	20.0	6.7	13.3	0.0
	50代	(16)	62.5	25.0	6.3	0.0	31.3	6.3	6.3	0.0	0.0
	60代	(14)	78.6	21.4	0.0	0.0	21.4	0.0	21.4	28.6	7.1
	70代以上	(16)	93.8	0.0	12.5	0.0	18.8	6.3	18.8	6.3	0.0
全体		(168)	61.9	17.3	1.2	4.2	31.0	3.6	13.1	48.2	5.4
女性	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	(7)	57.1	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	0.0
	40代	(21)	61.9	52.4	0.0	14.3	47.6	14.3	14.3	28.6	0.0
	50代	(30)	66.7	16.7	3.3	6.7	40.0	6.7	0.0	53.3	6.7
	60代	(41)	51.2	19.5	0.0	2.4	26.8	0.0	26.8	68.3	7.3
	70代以上	(69)	66.7	7.2	1.4	1.4	24.6	0.0	10.1	40.6	5.8

性別	年齢	Q27_9 その他【 】
女性	70代以上	今後1人で生活するようになったら困るので買物とかできるようにして欲しい。最近、男性がマーケットで買物しているのをよくみかけて、変わったなと思います
女性	50代	もっと夫が担うべきと思うが、むいてなかったり仕事の責任が大きかったりでむずかしい
女性	50代	妻が先に死んだ後に生活に困らないように色々知ってほしい
女性	70代以上	私が支援を受けている身なので答えるのはむづかしいです
女性	70代以上	妻が先に死亡したら夫は家事をやっていない場合は困るから

Q28 Q26で「もっと妻が担うべき」と答えた理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

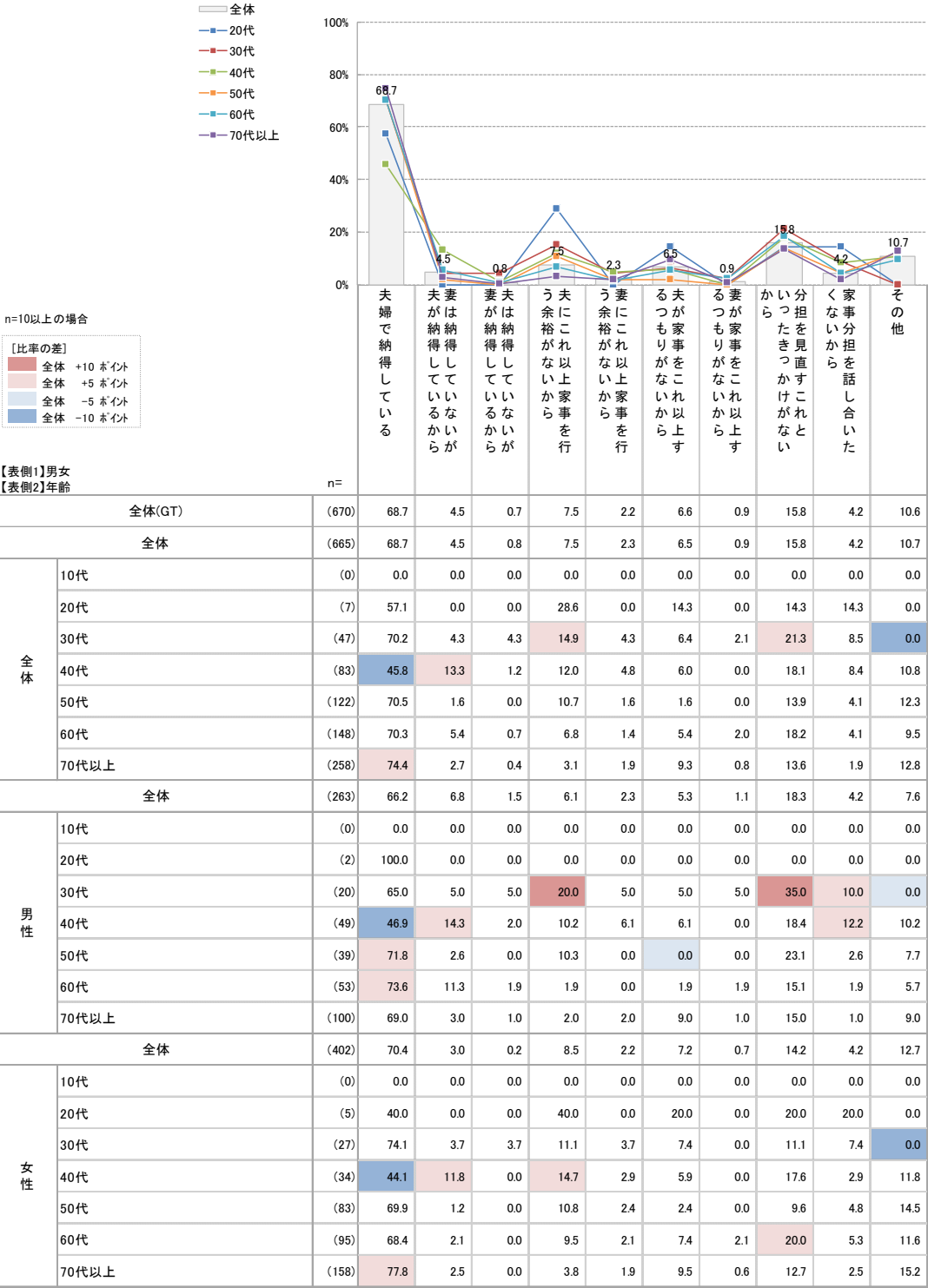
【全体】「妻に家事を行う余裕があると思うから」が58%と最も高く、次いで「夫が家事をこれ以上するつもりがないから」(42%)「お互いの仕事量に比べて家事分担が不公平と感じるから」(33%)の順である。



Q29 Q26で「適当だと思う」又は、「このままでいい」と答えた理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「夫婦で納得している」が69%と最も高く、次いで「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(16%)「その他」(11%)「夫にこれ以上家事を行う余裕がないから」(8%)の順である。

【年齢】「40代」は「夫婦で納得している」(46%)が低い。

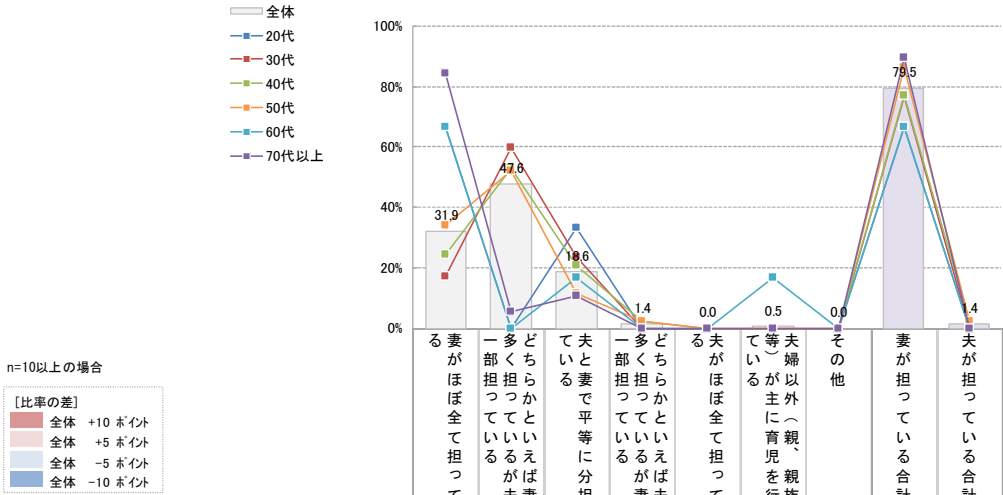


Q30 【配偶者と子と同居する方にお聞きします。】 あなたと配偶者の育児分担の状況にいちばん近いと思うものをお答えください。

【全体】「どちらかといえば妻が多く担っているが夫も一部担っている」が48%と最も高く、次いで「妻がほぼ全て担っている」(32%)「夫と妻で平等に分担している」(19%)の順である。

【男女】「男性」は「妻がほぼ全て担っている」(22%)がやや低い。「女性」は「妻がほぼ全て担っている」(41%)がやや高い。

【年齢】「30代」は「妻がほぼ全て担っている」(17%)が低く、「どちらかといえば妻が多く担っているが夫も一部担っている」(60%)が高い。



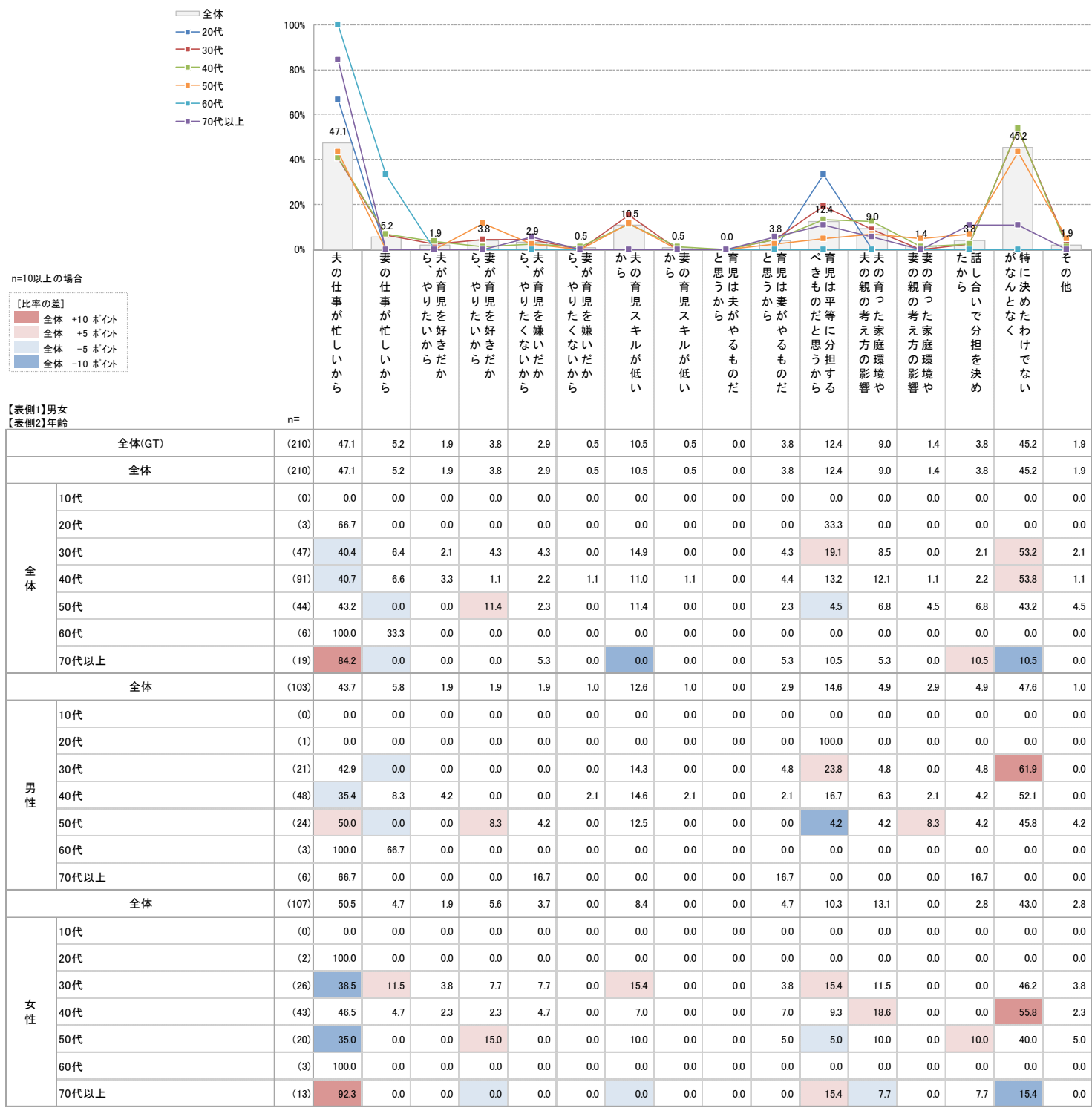
【表側1】男女
【表側2】年齢

【表側2】年齢		n=									
全体(GT)		(210)	31.9	47.6	18.6	1.4	0.0	0.5	0.0	79.5	1.4
全体		(210)	31.9	47.6	18.6	1.4	0.0	0.5	0.0	79.5	1.4
全体	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(3)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	30代	(47)	17.0	59.6	23.4	0.0	0.0	0.0	0.0	76.6	0.0
	40代	(91)	24.2	52.7	20.9	2.2	0.0	0.0	0.0	76.9	2.2
	50代	(44)	34.1	52.3	11.4	2.3	0.0	0.0	0.0	86.4	2.3
	60代	(6)	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0
	70代以上	(19)	84.2	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	0.0
全体		(103)	22.3	52.4	21.4	2.9	0.0	1.0	0.0	74.8	2.9
男性	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	(21)	9.5	66.7	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	76.2	0.0
	40代	(48)	18.8	52.1	25.0	4.2	0.0	0.0	0.0	70.8	4.2
	50代	(24)	25.0	62.5	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	87.5	4.2
	60代	(3)	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	70代以上	(6)	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0
全体		(107)	41.1	43.0	15.9	0.0	0.0	0.0	0.0	84.1	0.0
女性	10代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	(2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	30代	(26)	23.1	53.8	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9	0.0
	40代	(43)	30.2	53.5	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	83.7	0.0
	50代	(20)	45.0	40.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.0	0.0
	60代	(3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70代以上	(13)	84.6	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	0.0

Q31 【配偶者と子と同居する方にお聞きします。】 そのような分担となっている理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「夫の仕事が忙しいから」が47%と最も高く、次いで「特に決めたわけでないがなんとなく」(45%)「育児は平等に分担するべきものだと思うから」(12%)「夫の育児スキルが低いから」(10%)「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」(9%)の順である。

【年齢】「30代」は「特に決めたわけでないがなんとなく」(53%)、「育児は平等に分担するべきものだと思うから」(19%)がやや高い。「40代」は「夫の仕事が忙しいから」(41%)がやや低く、「特に決めたわけでないがなんとなく」(54%)がやや高い。



Q32 【配偶者と子と同居する方にお聞きします。】 あなたの家庭の育児分担割合についての考えをお答えください。

【全体】「適当だと思う」が36%と最も高く、次いで「適当かはわからないがこのままでいい」(32%)の順である。

【年齢】「30代」は「適当だと思う」(45%)がやや高い。「50代」は「適当かはわからないがこのままでいい」(37%)がやや高い。

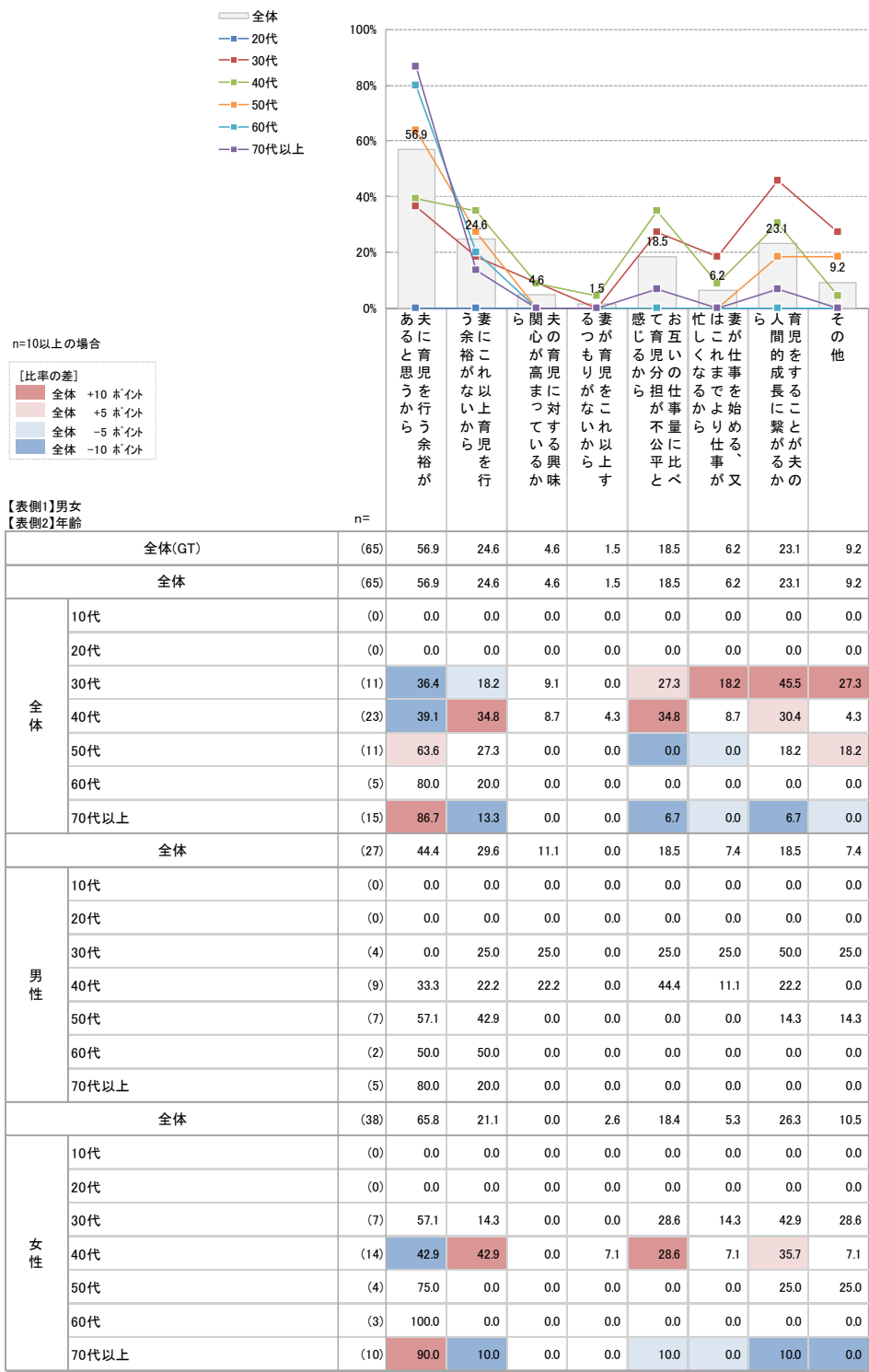


Q33 Q32で「もっと夫が担うべき」と答えた理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

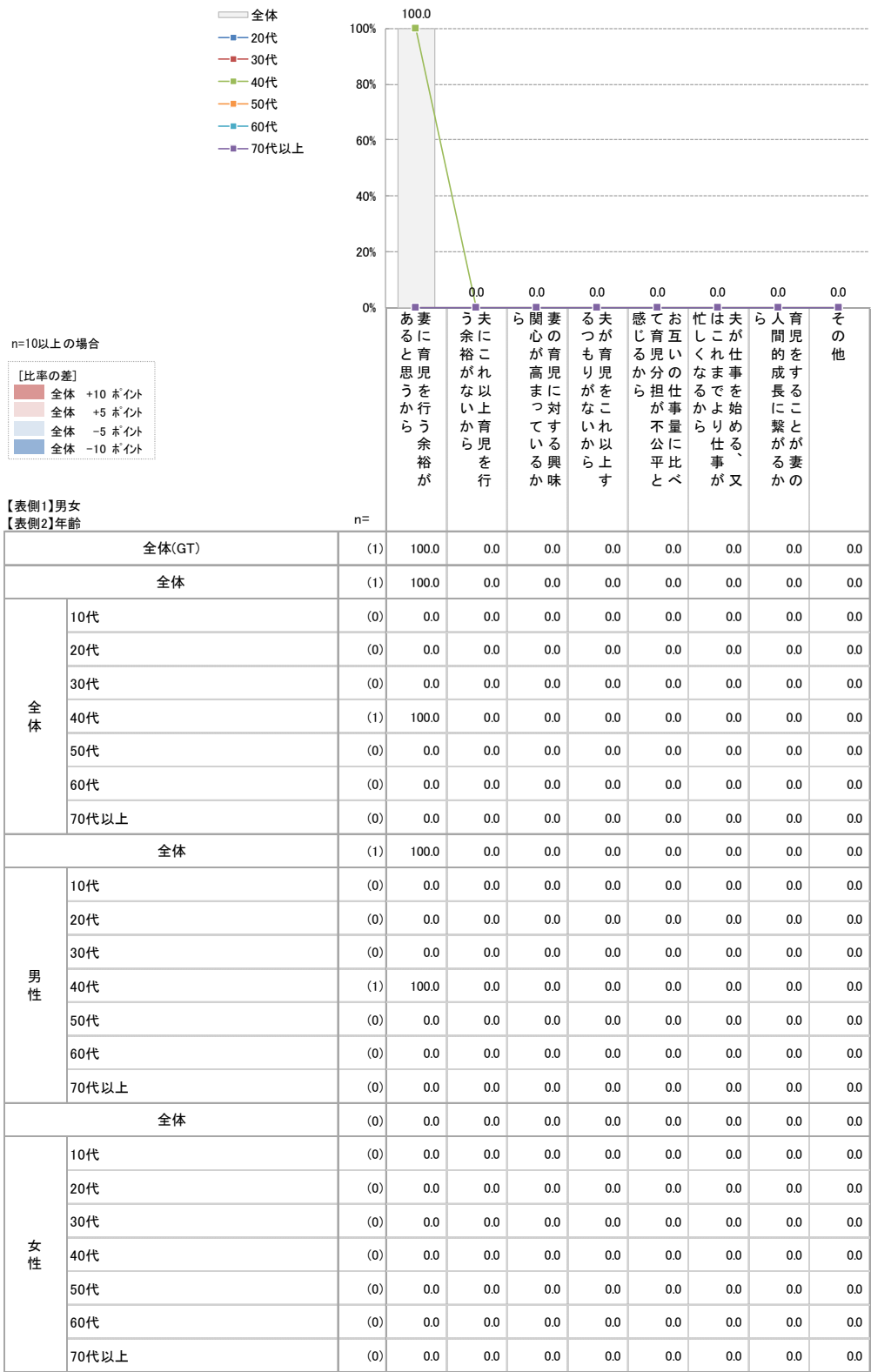
【全体】「夫に育児を行う余裕があると思うから」が57%と最も高く、次いで「妻にこれ以上育児を行う余裕がないから」(25%)「育児をすることが夫の人間的成長に繋がるから」(23%)の順である。

【男女】「男性」は「夫に育児を行う余裕があると思うから」(44%)が低く、「妻にこれ以上育児を行う余裕がないから」(30%)がやや高い。「女性」は「夫に育児を行う余裕があると思うから」(66%)がやや高い。

【年齢】「30代」は「夫に育児を行う余裕があると思うから」(36%)が低く、「育児をすることが夫の人間的成長に繋がるから」(45%)が高い。「40代」は「妻にこれ以上育児を行う余裕がないから」(35%)が高い。



Q34 Q32で「もっと妻が担うべき」と答えた理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

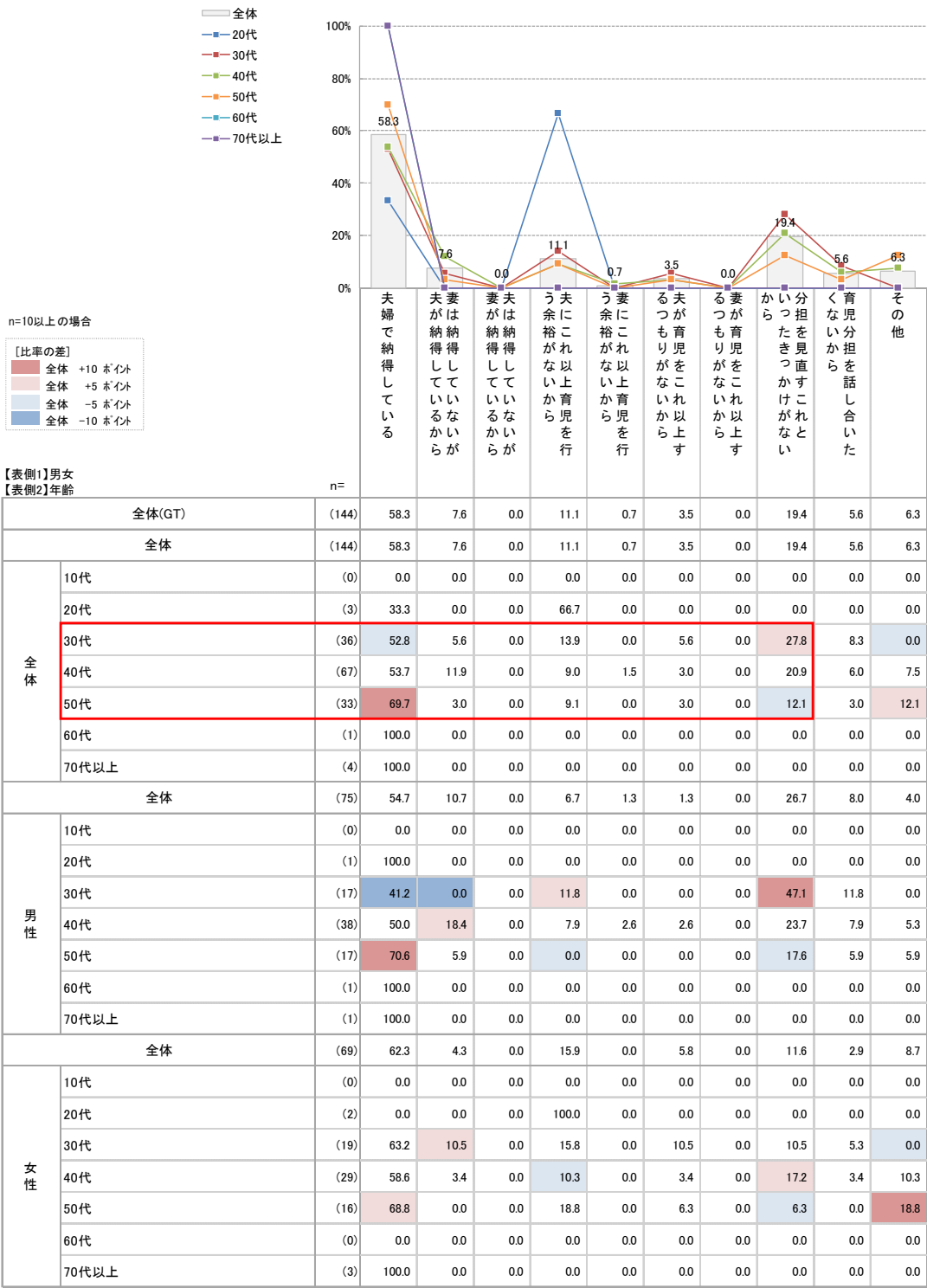


Q35 Q32で「適当だと思う」又は、「このままでいい」と考える理由をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

【全体】「夫婦で納得している」が58%と最も高く、次いで「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(19%)「夫にこれ以上育児を行う余裕がないから」(11%)「妻は納得していないが夫が納得しているから」(8%)の順である。

【男女】「男性」は「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(27%)がやや高い。「女性」は「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(12%)がやや低い。

【年齢】「30代」は「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(28%)がやや高く、「夫婦で納得している」(53%)がやや低い。「50代」は「分担を見直すこれといったきっかけがないから」(12%)がやや低く、「夫婦で納得している」(70%)が高い。



第5章

世代間の価値観の違い

Q19 普段の生活で世代間での価値観の違いを感じる事がありますか。

【全体】「ややそう思う」が42%と最も高く、次いで「そう思う」(38%)の順である。

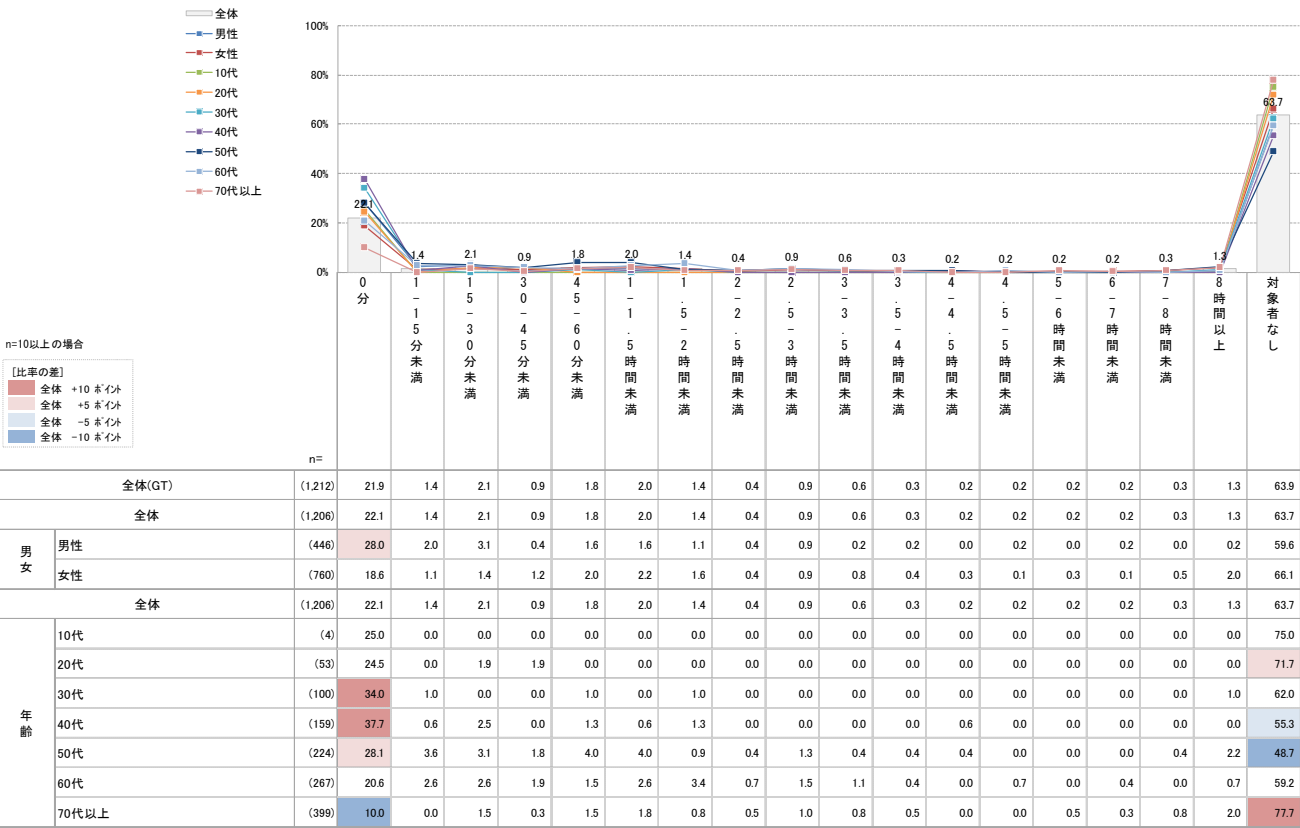
【年齢】「20代」～「50代」は「そう思う」(47%)がやや高い。「70代以上」は「そう思う」(31%)がやや低い。



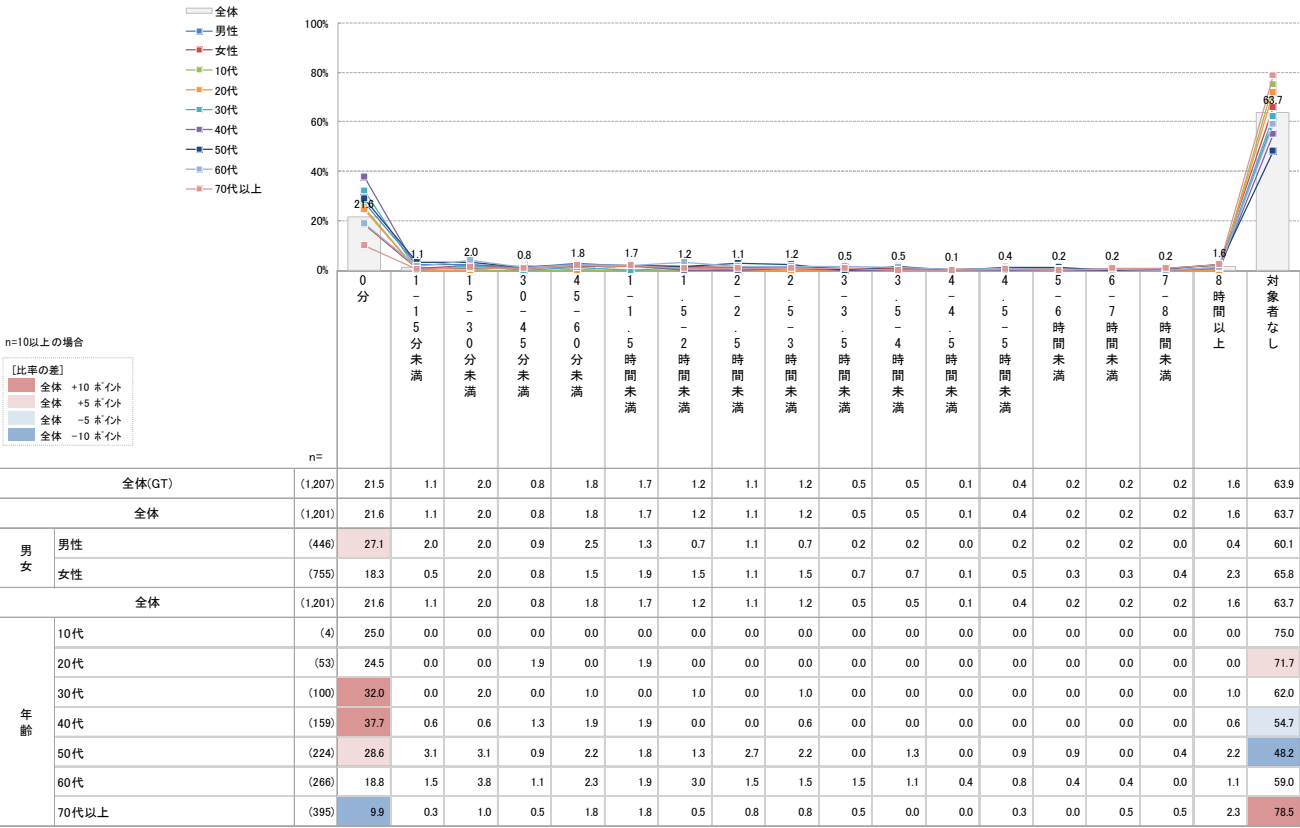
第 6 章 介護の実態

Q22あなたが「介護（別居の家族含む）」にかかる時間をお答えください。

【平日】「対象者なし」が64%と最も高く、次いで「0分」（22%）「15-30分未満」（2%）「45-60分未満」（2%）「1-1.5時間未満」（2%）の順である。



【土日】「0分」が35%と最も高く、次いで「1-2時間未満」（15%）「1-30分未満」（14%）「30-60分未満」（13%）の順である。



第7章

豊岡のサービス利用状況

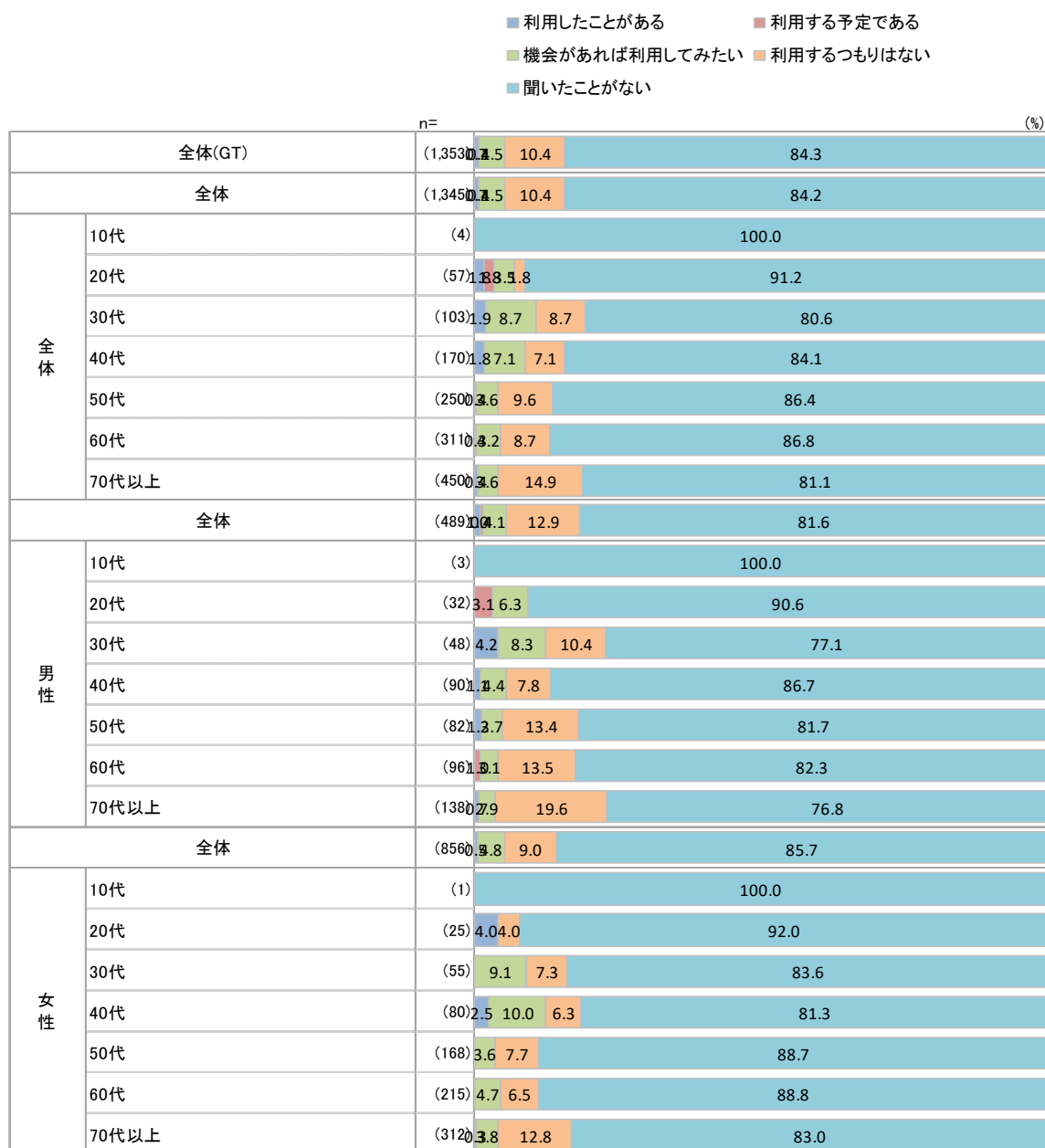
ジェンダーギャップ解消関連事業の利用状況と意向

Q48S1 Q48 下記の豊岡市が行うジェンダーギャップ解消関連事業の利用状況と意向をお答えください。【豊岡流／ラク家事・育児コミュニケーションシート】

【全体】「聞いたことがない」が84%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(10%)の順である。

【男女】-

【年齢】「20代」は「利用するつもりはない」(2%)がやや低く、「聞いたことがない」(91%)がやや高い。

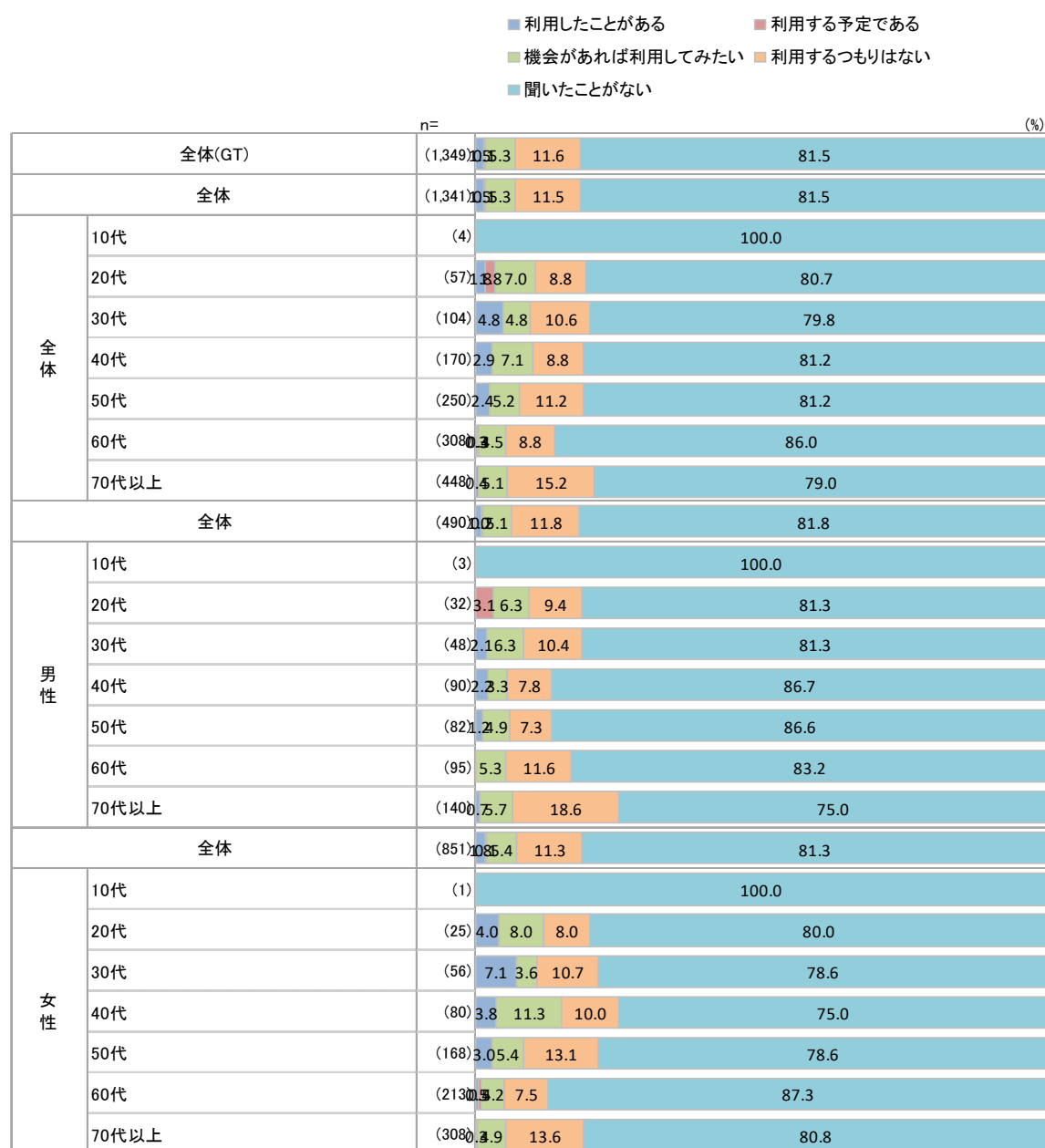


Q48S2 【マンガで考えよう！ジェンダーギャップ】

【全体】「聞いたことがない」が82%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(11%)の順である。

【男女】-

【年齢】-

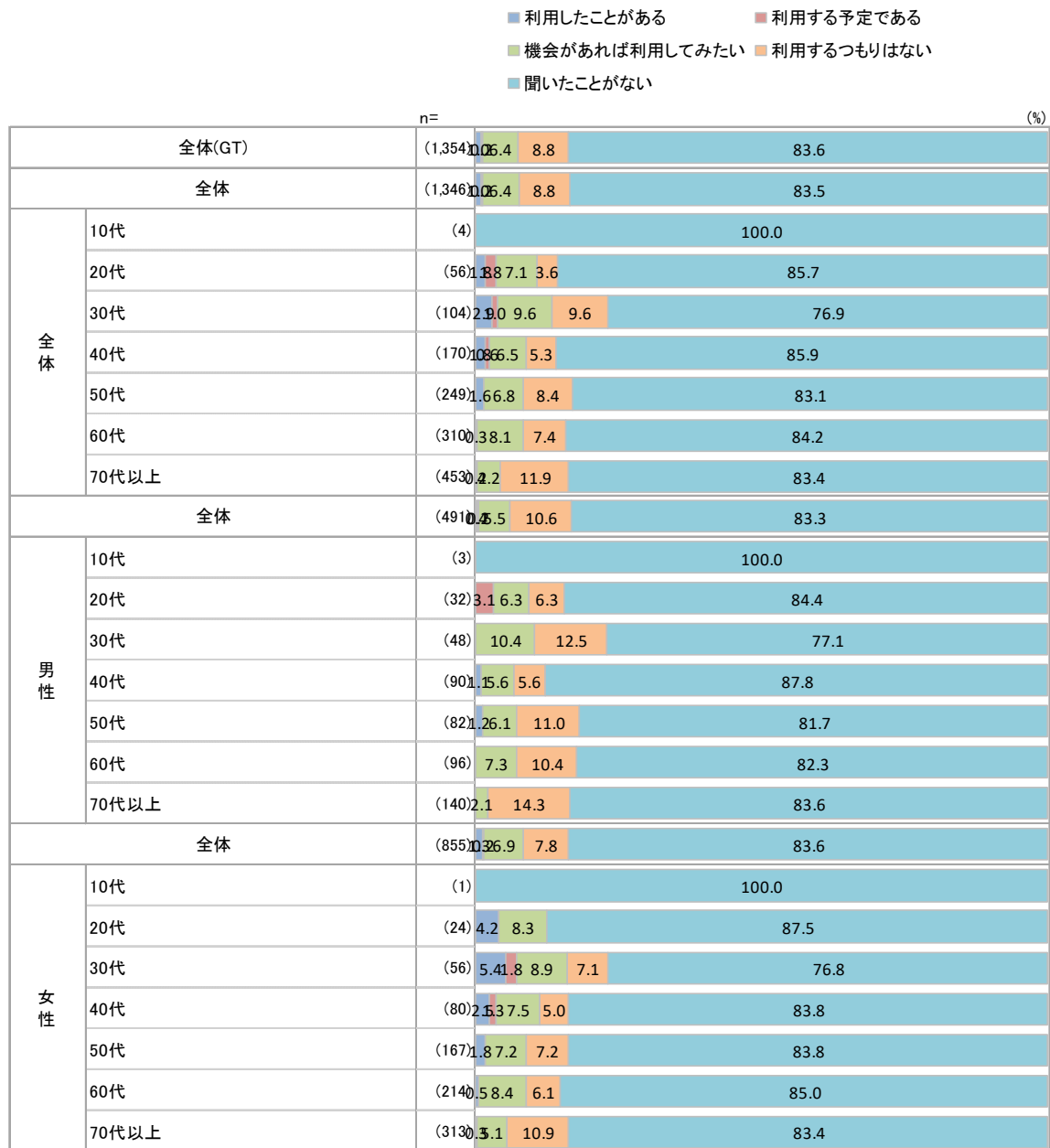


Q48S3 【多様性をテーマにした豊岡市オリジナル絵本「みらいへの つばさを ひろげて」】

【全体】「聞いたことがない」が84%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(9%)の順である。

【男女】-

【年齢】「20代」は「利用するつもりはない」(4%)がやや低い。「30代」は「聞いたことがない」(77%)がやや低い。

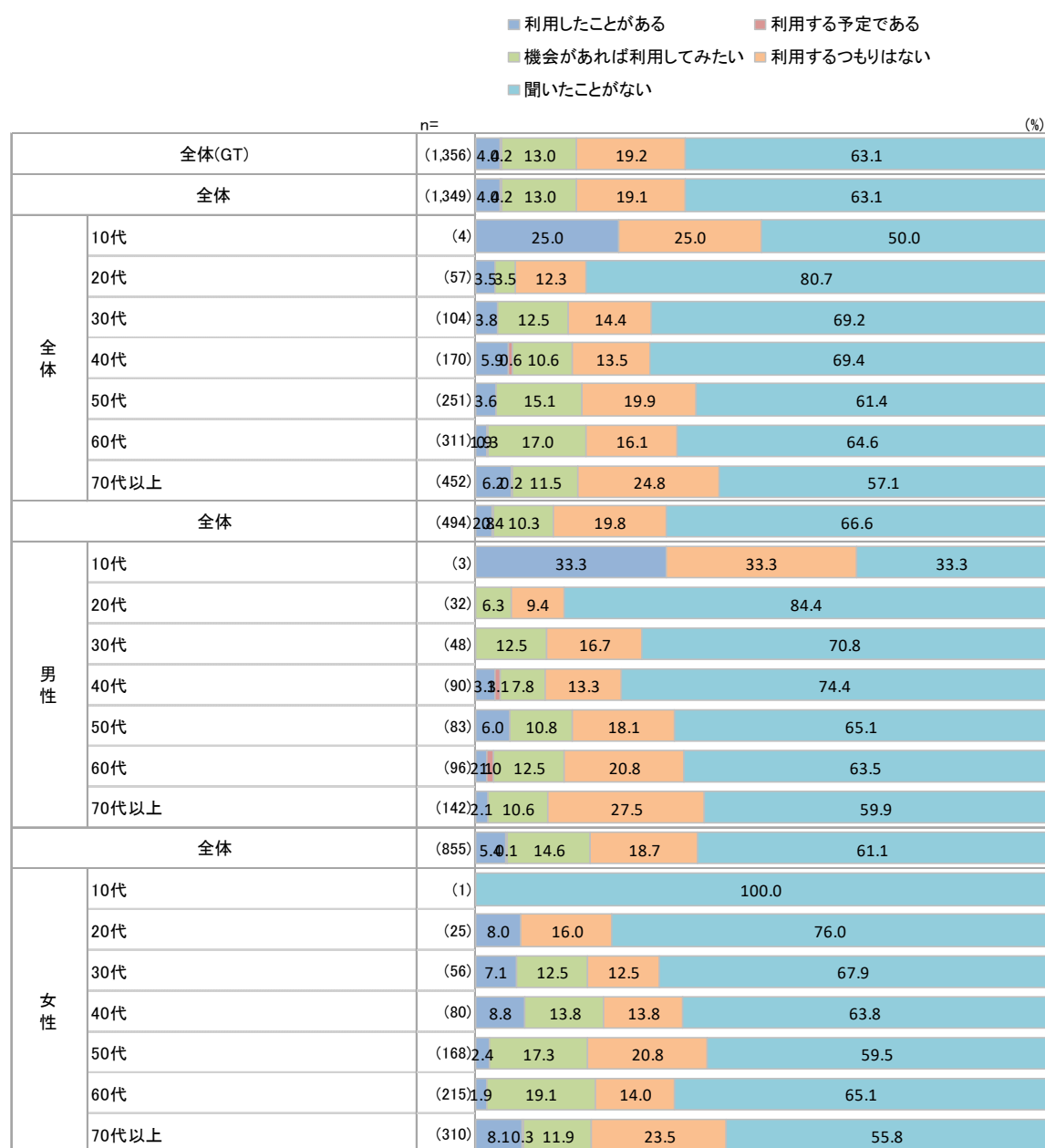


Q48S4 【市民向け（地域コミュニティ、自治会、学校等）研修会、ワークショップ／経営者・従業員向けセミナー、ワークショップ】

【全体】「聞いたことがない」が63%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(19%)の順である。

【男女】-

【年齢】「20代」は「利用するつもりはない」(12%)がやや低く、「聞いたことがない」(81%)が高い。「30代」は「聞いたことがない」(69%)がやや高い。「40代」は「利用するつもりはない」(14%)がやや低く、「聞いたことがない」(69%)がやや高い。「70代以上」は「利用するつもりはない」(25%)がやや高く、「聞いたことがない」(57%)がやや低い。

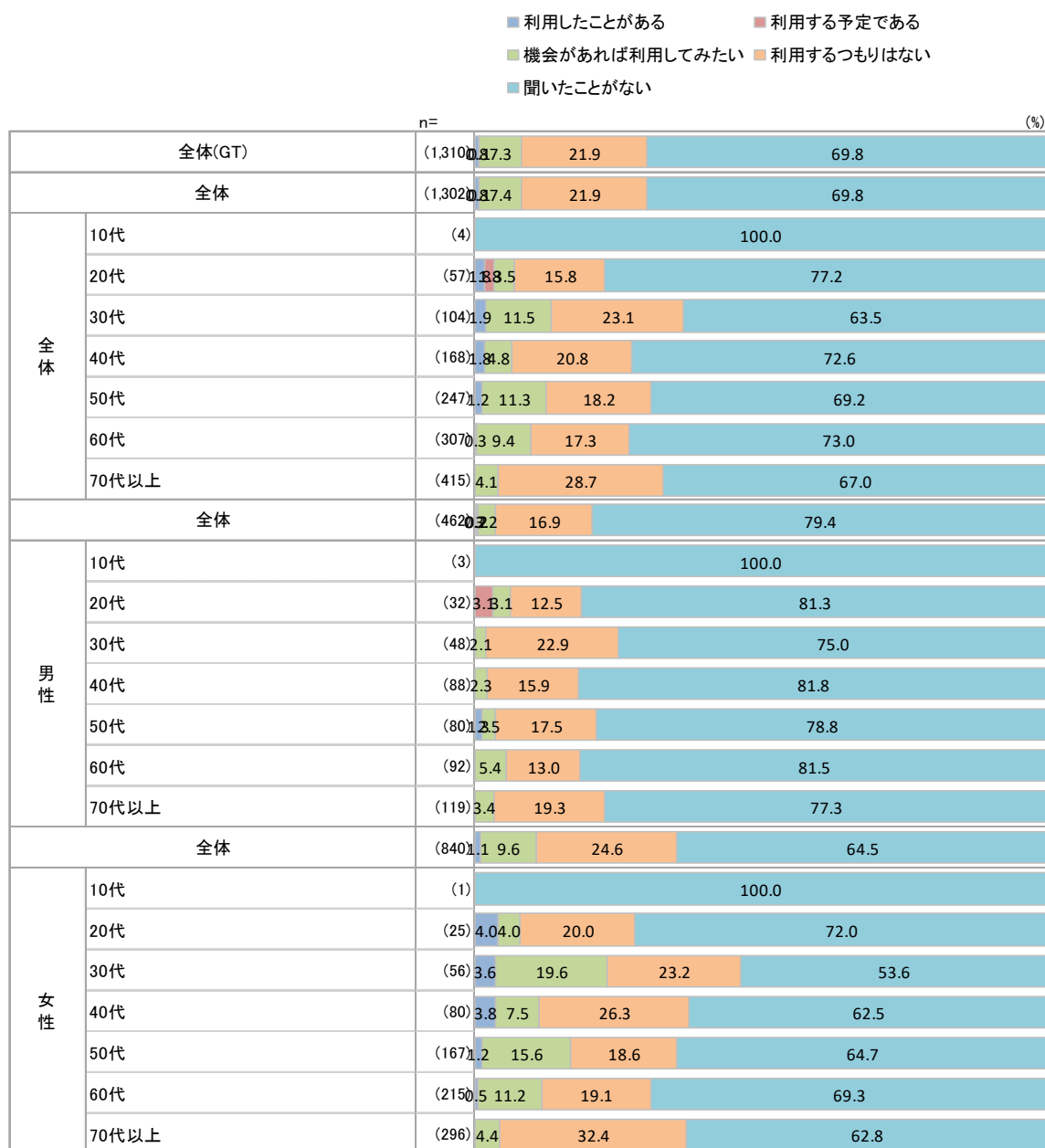


Q48S5 【働きたい女性のためのデジタルマーケティングセミナー】

【全体】「聞いたことがない」が70%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(22%)の順である。

【男女】「男性」は「聞いたことがない」(79%)がやや高い。「女性」は「聞いたことがない」(65%)がやや低い。

【年齢】「20代」は「利用するつもりはない」(16%)がやや低く、「聞いたことがない」(77%)がやや高い。「30代」は「聞いたことがない」(63%)がやや低い。「70代以上」は「利用するつもりはない」(29%)がやや高い。

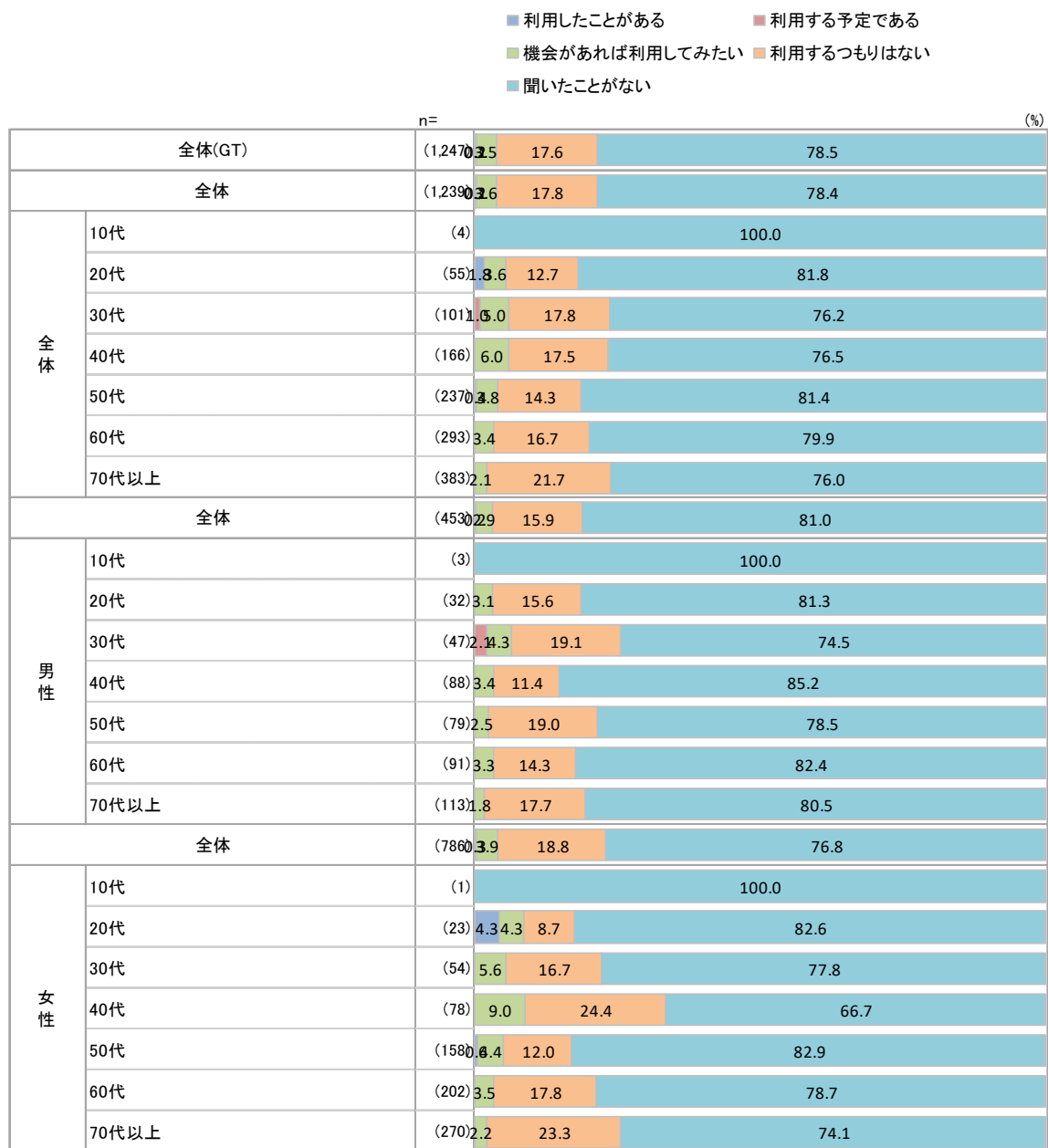


Q48S6 【女子中高生向けプログラミング体験教室】

【全体】「聞いたことがない」が78%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(18%)の順である。

【男女】-

【年齢】「20代」は「利用するつもりはない」(13%)がやや低い。

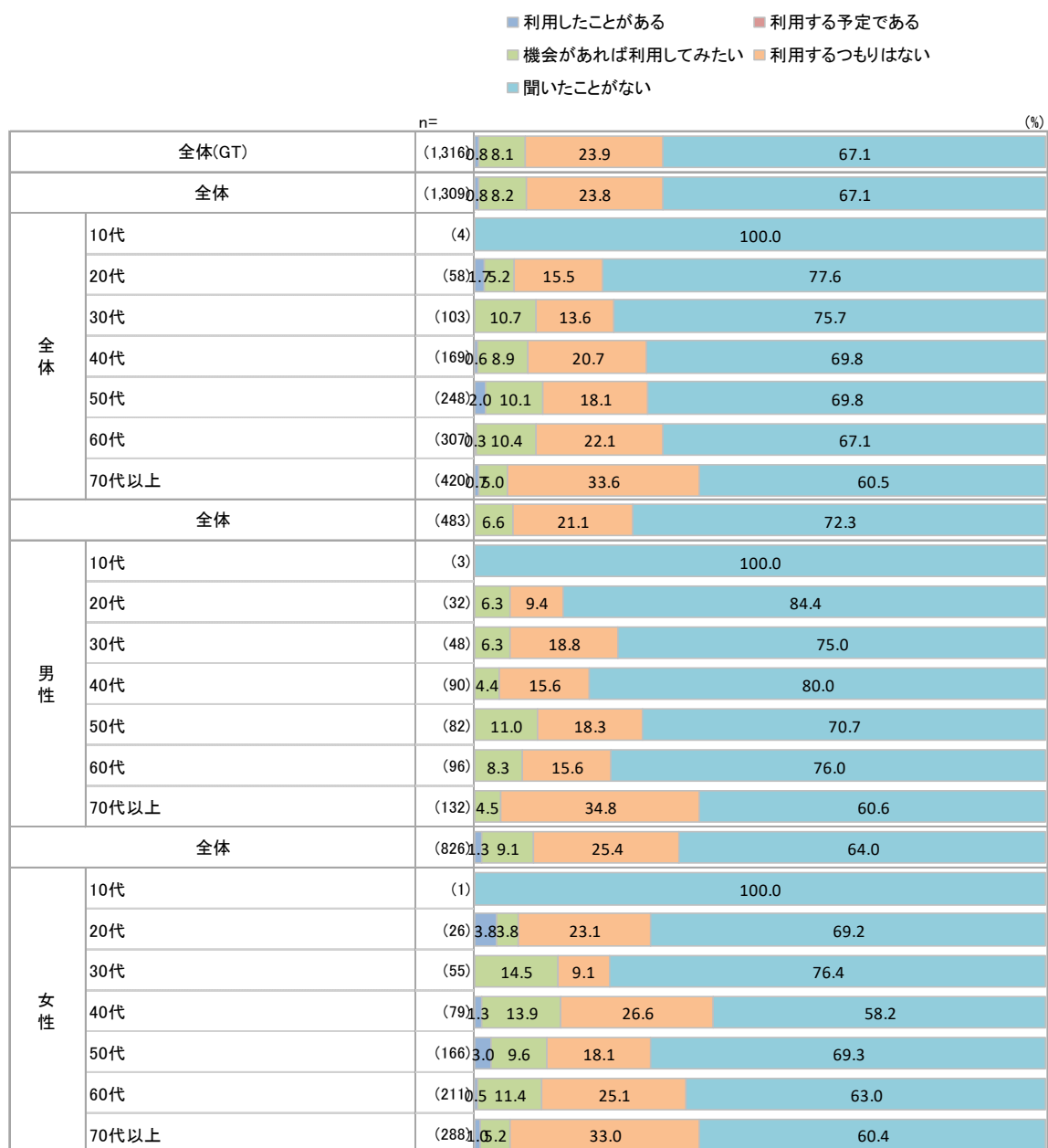


Q48S7 【人材育成セミナー（豊岡みらいチャレンジ塾等）】

【全体】「聞いたことがない」が67%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(24%)の順である。

【男女】「男性」は「聞いたことがない」(72%)がやや高い。

【年齢】「20代」は「利用するつもりはない」(16%)がやや低く、「聞いたことがない」(78%)が高い。「30代」は「利用するつもりはない」(14%)が低く、「聞いたことがない」(76%)がやや高い。「50代」は「利用するつもりはない」(18%)がやや低い。「70代以上」は「利用するつもりはない」(34%)がやや高く、「聞いたことがない」(60%)がやや低い。

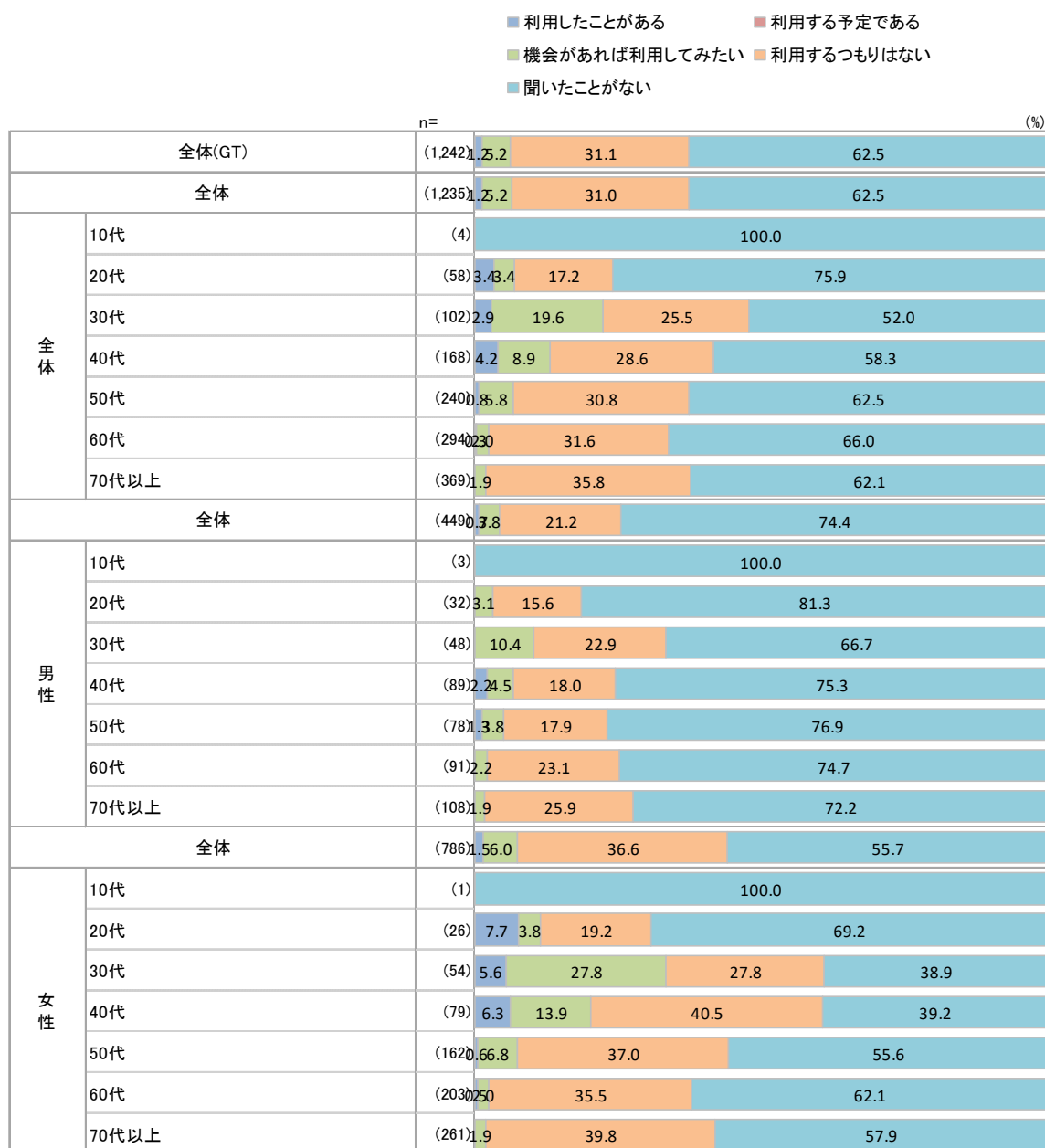


Q48S8 【子育てママ向け就職相談、起業相談等】

【全体】「聞いたことがない」が63%と最も高く、次いで「利用するつもりはない」(31%)の順である。

【男女】「男性」は「利用するつもりはない」(21%)がやや低く、「聞いたことがない」(74%)が高い。「女性」は「利用するつもりはない」(37%)がやや高く、「聞いたことがない」(56%)がやや低い。

【年齢】「20代」は「利用するつもりはない」(17%)が低く、「聞いたことがない」(76%)が高い。「30代」は「利用するつもりはない」(25%)がやや低く、「聞いたことがない」(52%)が低い。



自由記述

性別	年齢	Q13_地域行事や会合に参加する男女の割合に差があると言われますが、その原因は何だと思えますか。
男性	30代	比率を指す具体的な数字が示されていないので判断しかねます。そもそも厚生労働省の調査では、男女参加比に大きな違いはないそうですが、豊岡市は異なるのでしょうか？ そうなら地域的な要素に基因するごく限定的な理由ではないでしょうか。
女性	50代	男性の参加が主なので、男性が参加した方が場のムードがまとまる、女性が食事の準備、片付けをしたり子供の事をするのが効率が良い、行事に体力の差で男性が適当などある。
女性	60代	能力に男女差ないとはいえ、やはり、男性に任せた方がいいと思える、しかし、1/3くらいは女性に任せるべきと思う、男女差よりも、若い人を多く入れるべき。
女性	30代	草かりなど力仕事は、やはり男性の出番が多くなるのは仕方ないと思う。女性は、家の仕事をしてから地域の行事たなると出かけにくい(都合がつきにくいなど)
女性	70代以上	配偶者が亡くなり(病死)。子2人(40代の子が2人です)がいまのところ世帯主が母ということもあり、母親が出ています。家の中の問題ですが。

性別	年齢	固定的な性別役割分担をなくす必要があると思えますか。 【そう思うと答えた方にお聞きします。】 それはなぜですか。
女性	50代	女性だから生き方を抑圧されたり、制限されたりしなくなるから。女性だから「身の程をわきましろ」「僕に向かって口をきいていいと思っているのか」等、日常的に対等とはとても思えない扱いを受けなくなる社会意識に転換してほしいから。
女性	40代	性別、男と女という二つのカテゴリだけでなく、個人の身体的生理的特徴についての理解、共感が社会的に広がっていくから
女性	70代以上	人口減少は多くの要因が重なっていると思うから・いちがいに言えない
女性	50代	男であれ女であれ人間だから、性別で差がおこるのは、ナンセンス
男性	70代以上	現代社会では男性、女性の距離感がなくなりつつある。

性別	年齢	固定的な性別役割分担をなくす必要があると思いますか。 【「そう思わない」と答えた方にお聞きます】 それはなぜですか。
男性	30代	それぞれの性別に適した仕事があるから。例として、力仕事を男性がやるのは筋肉が女性よりも付きやすく育ちやすいから。同じ給料なのに運ぶ物の重さが違ったら不満がでるし、会社としても、そんなのに一々構っていたら仕事が増える。女性でも男性並の筋力があれば問題無いがほとんどいない。「力仕事をやりたいけど男性と同じ物は重くて運べない、でも給料は同じで」なんて事を言われて納得出来るか、という話になります。
女性	60代	活動内容にもよると考える。地域活動では体格、体力的な差があり一概に男女同等にはいかない事もある。 集会など意見する場所や役員に関しては男女同等でも良いかもしれないが。 男女関係なく、各々の得意分野で社会貢献が出来れば、ストレスは少なくなるのではないかと。 ただ、ライクワークになってしまっは、個々の成長が無いため、努力は必要だと思える。
女性	40代	男性と女性で、得意不得意もあるし、筋肉量もちがうし、生物的に脳の作りもちがうし、生体的なことで差もあるんだから、性別的うんぬんはなくなる必要はないのではないと思う、そんなこと言い出すと、生理休かとかはどうなるのか。
女性	40代	男女としての役割を決めつけているわけではないが、もちろん男性も家事や育児が得意な人もいるだろうし、それはそれで得意とかそちらの方が性格的に向いているとかでしていけばいいと思うが、割合的に女性が育児や家事の方に重きを置いていることがおおいし、そういう風潮にありがたい部分もあるため。
女性	50代	社会的性差があってはならないが、出産直後は母にしか出来ない役割があり、母の身体も育児するよう変化しているため、全く同じとはいかないと思う。 父も母もその点を理解し補完しあえる関係にならなければいけないが、父がしなければいけない社会になりつつあり、逆に父の負担が増えないか心配。

性別	年齢	Q29あなたの家庭の家事分担割合についての考えで「もっと夫が担うべき」と答えた理由をお答えください。
女性	50代	もっと夫が担うべきと思うが、むいてなかったり仕事の責任が大きかったりでむずかしい
女性	50代	妻が先に死んだ後に生活に困らないように色々知ってほしい
女性	70代以上	妻が先に死亡したら夫は家事をやってない場合は困るから
女性	70代以上	私か支援を受けている身なので答えるのはむづかしいです
女性	60代	夫も家事をする事は当たり前の役割だとおもうから

性別	年齢	Q29あなたの家庭の家事分担割合についての考えで「適当だと思う」又は、「このままでいい」と答えた理由をお答えください。
女性	70代以上	どちらかが病気になったらどちらかがやらねばならないその覚悟があるか心配病気になったら、やりたくてもできないとなるし、人生100年時代とかなっているが二人ともそろって元気とはいえないので夫婦でそれぞれ家事一般がそこそこ出来るようにならないと、こまると思う
女性	70代以上	必要に応じて話しあったり、少しずつ夫も家事に参加し、慣れておく必要があると思うので、様子を見て、分担など考えていきたいと思うあたり前と思わず、助け合っていけるようにしていきたい。
女性	40代	言えばしてくれるが、言わないとなかなか気付いてしてくれないことに苛立ちを感じるから。いちいちお願いすると、こちらがだんだんと悪者に感じてしまう。
女性	60代	話し合いをしてももめるだけ、言っても長年の習慣はそうそう変えられず、どちらもストレスを2人だけの生活なのでそれ程家事も多くないと思う←抱えそう。
女性	70代以上	夫婦の年令的なものもあり、動きやすい方が積極的に家事をする事が多くなってきている。炊事・洗たくについては妻が主にする。

性別	年齢	Q43あなたが男性の家事・育児参画に抱くイメージについて、あてはまるものをすべてお選びください。
男性	70代以上	1.両親が、もっと子供の教育しつけなどをすべきで学校、先生に責任をおしつけるべきでない。2.しっかり子供に責任をもって子供がいじめする様な育だけ方をすべきでない。3.親にしっかりしろと言いたい4.被害の子供、親等の氏名は出る時があるのに加害者側は出ないおかしいと思う。5.子供が学校に居る時間と家側に居時間で、どちらが長いもっと親が責任感を持って、いいのがればかりすべきではない6.学校側、教育委員会早く対処をして発表をすべきと思う。
女性	50代	女性が専業主婦で家にいるのであれば、仕事で遅くに帰ってきた夫に家事をしてもらう必要はないと思う。若い女性は、自分が仕事をしていなくても夫に家事をしてしまし いとっているのをよく聞くが、そこまではしなくていいのでは?と思う。
女性	40代	男性・女性は仕事・家事・育児などを行う上で関係ないと思う。話し合い、お互いが納得して決めた事を行えばいいと思う。この問いの良い影響・悪い影響とは、どういった事なのかよくわからない。
女性	70代以上	お互いが納得できる状態がベストだと思う、感謝しあい、支えあっていけるのが一番よいと思うが一人暮らしになった時、困らないためにも少しずつ参画するべきだとは思っている。
女性	70代以上	保育園に近い職場の(連絡先)同僚男性が、園からの呼び出しがあると、その時点で早退せざるをえない、他の同僚はその男性分を補わなければならない、男性の昇進にも響く。

性別	年齢	Q47_あなたは男性の家事・育児参画を進めるために何が必要だと思いますか。
男性	30代	その家の家事の仕方を男性が覚える事が大事。服はキチンと畳めても畳み方が違えばタンスに入らない事を理解出来ているかが重要だし、女性はそれを教えなければならない。どっちも我が強いならケンカが絶えないので、基本的にはどちらかが折れるような夫婦でなければスムーズにいかないと思います
女性	60代	市からの積極的なとりくみが不十分。まず市民(男女)にジェンダーギャップについて積極的に学ぶ機会を設けて知らせてほしい。モデルケースになる国や他の自治体が沢山存在するはず。その地域と豊岡市の実状を数値的に比較して考えさせてほしい!!特に70以上の男は話にならない!!
女性	70代以上	100才以上の人が年々多くなっている所以自分がそうなった時はま○の人が○くなっていないとなればたいへんな事であるので若いうちから、自分に必ず課題として自然に身につくよう全体で進めること
女性	40代	職場・社会・環境においての十分な理解。男女関係なく、家事や育児・介護などをする人には時間・金銭・偏見をなくす・地域や周囲の理解が必要だと考える。
男性	60代	今の学校教育は変化しているのかもしれないが、私の時代は家庭科教育は小学校のみで家事能力が育てられてこなかった→男女とも家庭科を中高でもするべき

性別	年齢	今後、家事・育児に関連する必要だと思うサービスがあればお答えください。
女性	30代	50代などの男の方が男は会社が一番大切で女が休むべきと、だんな会社では言うて人が多い。なぜ?と思うがその年の方はそう育ってきたんでしょうが…。そんな人が上司で、会社での、だんなの自分が正しいで何回かケンカになった。上司がそう言っ、自分もそうでなければいけない→女が大変ばかりです。もっと今の時代を考えられるように、男でも育児、家事でも休んでいいんだ、女ばかりがまんしなくていいと、他の人から会社に伝えてくれたり、夫妻と会社の間に入ってくれるサービスがほしい。ここだから言いますが、1人目ができた時に、会社はクビになりました。にんしんがりゆうになるのはダメなので、自分からやめると言う方ふうにおいこまれました。その時に、女の上司の方にもいいましたが「あなたの体が一番大切だからゆっくり休んでうんでね」でした。子が産まれるのにお金もいるし、泣いて苦しみました。私のかんじた事から、50代、60代の方の考え方を考えるのが一番大切だと思うので、その年の方に強くいける方がこのサービスなど考えていってほしいです。けっきょく年上には向もいうな、男だからなどたくさんありますが、言うてる人に強く言ってもまったくゆとりが何言ってる?しかとられないし、きたいしてませんが、本当に変わる事を信じてます。がんばって下さい。☆豊岡市日高町のやくばの方で子供のうけつけの方、色々子供のてつづきで行くんですが、もう少しこちらによりそった対応してほしいです。「え?はあ——…?」みたいなこっちが何かしたのか?ってたいおう多すぎる。ママ友も同じことってたので、気をつけて下さい。
男性	30代	個人が、さらにはその先の自身が所属するコミュニティのビジョンが描け、豊岡市に住みたい、貢献したいと思えるような安心安全の場の提供。個人が幸福度を高め、生きる意味を感じられるような社会の構図。家事や育児、ジェンダー平等の前に、個人が何が幸せでどんな人生を送りたくて、なんのために生きているのかという、人間の根本的な幸せを見つめられるようなセミナー、イベントの開催。
女性	50代	自宅にいながらにして、気楽にネットで、例えば、ズームなどで相談ができればいいなと思う。子育て中の方が知らないだけで利用すれば楽になるような制度を相談時に、オススメができれば、もっと楽に子育てができと思う。 お金を払ってサービスを利用することに賛沢だというような風潮があるような気がする ので、そんなことを気にせず、もっと手を抜いて楽をしていいと思う。
男性	60代	子供が社会人になるまで男性も家事・育児に協力したかったが地区や区の行事や役が多く仕事と両立出来ない時が多くあった。育成会、学P、消防団、農会、これらの飲み会、隣保長、お寺などの役員、戸建てよりアパート暮らしの方が羨ましい時があった。サービスを増やしてもそれに関わる事が増えれば関わりたくない。
女性	50代	安全な第三者による送り迎え。徒歩通園外児童対象。地域の高齢者に話を聞きに行く時行きは先生が送るが帰りは児童クラブを通り越して自宅に帰らされた。鍵無し。人見知りが酷くて大人に喋れなかった哀れな子供がいた。バスに乗って夏のプールに行ったのに現場で中止を知り何時間も炎天下でバスを待つ鍵っ子。

性別	年齢	Q50_あなたは男性の家事・育児参画を進めるために行政が取り組むべきことは何だと思いますか。
男性	20代	豊岡市の情報発信力を上げることが第一だと感じています。どんなに行政が施策啓発活動を行っても、市民が知らなければ意味がありません。例えば豊岡市役所の公式LINEを友だちに追加していますが、北近畿豊岡道の通行止め情報や城崎の火災のことばかりで折角の情報発信ツールが無駄になっていると感じます。私は2024年から豊岡に来て、親類縁者もおらず、地域の会合にも参加していません(そもそも地域の会合があるのかも知りません)、そのような中で、豊岡市が出す情報を受け取れる手段は、「広報とよおか」を始めとする市からの郵便物と、公式LINEだけです。市役所HPはゴミの分別を確認するときだけ見えています。「広報とよおか」も隅から隅まで目を通してはいるわけではないので、恐らくプラスになる情報を見逃していることもあるかと思います。(「すこやか市民健診」の受付用紙来た時は、健診の存在すら知らなかったのが驚きました。)このアンケートにあるような内容もいくつかは既に市で取り組まれているのかもしれませんが、このままだと知らない内に終わると思います折角このようなアンケートを行ったり、良い施策を行っておられるのであれば情報を必要としては層の方々に届くような情報発信をしていただきたいです。LINEの更新頻度の向上、HPの充実などが必要かと思います。
女性	70代以上	子供は夫婦二人で育てるものという狭い概念だけでなく、親(祖父母)もいっしょに育てるという広い考え方にならないのか?行政として推進できぬものか?昔からの習わしで、男女格差は当たり前で、改善されたと言えど今尚残っている気配もあります。しかし、ふり返ると、男性の陰にかくれて(男性に任せておいたら良いと考え)楽な方へ逃げていた女性が大半だった。今も多少なりその体質があるのではないのでしょうか。だから今になって差別、格差と言うけれど、その原因を作っていたのは現在に続いているのは女性にも一因あると思います。でも今は男、女が平等である為、女だからできないと言わず積極的に行動で示していくことで解消するのではないのでしょうか。女性の自覚が大きいと思います。年老いていて何が良いのか悪いのか価値がわかりません……
女性	70代以上	私は83歳夫婦共定年まで勤めさせてもらいました、我家にはおじいちゃんおばあちゃんが子育ても大いに世話になれた事から何の心配もなく仕事優先でさせて頂けたので有難く、土、日曜は子育てでは出来るだけ自分達でするようにしていました。当時はジェンダーギャップ等の問題はほとんど言われなく当然のようにお互い意欲ありしてみたい事は家族で相談し出来る事はさせてもらう事が当然のようにしておりました。勤めの終盤には時代が代わり男女平等が当たり前という事が若い人達の間で当たり前のように言われとまどった憶えもあります。このようなアンケートはもっと若い人を対象に〇でした〇いたうと思います。よろしく願いいたします。
女性	70代以上	昔は家庭は女が守るとされて……口保夫婦共働きでないと老後は……(市民の声を届けて)1人暮らしの大変さを知って欲しい。少ない年金(口保)でこの物価高、お米、灯油、食品……プレミアム券、赤ちゃんでも2枚(子供手当、医療は無料なのに)75才以上で年金暮らしも2枚(1人暮らし)不平等9月迄なのにゴミ袋(捨てる物に高すぎ)市?員の家賃手当、副市長いらない(人口〇ゴミ袋(大、中、小と豊岡市の記入だけで、他の文字いらない、透明で…市?員だけの優遇はダメ、税のむだなにが市民のための市政?子も出してしまうばかり〇土地年寄り〇まきで働き、税金も払い、今は年寄りはじゃま者、皆節約する所がないぐらい困る
女性	50代	2、3と同じようなここですが、日本国の環境、地域の環境により、あと個々家族によりすべてが決まってしまう時代なので、一人一人の生活、生活のあり方等も問題がある事。家庭内に少しでも病人が多くいれば福祉等を取り込まなければならないこと、これは男女関係無しでおこることと思います。端的に言えば貧困を無くすこし、格差が開けば開くほど、問題に大きくなりますので、これにつきますと思います。(よくご存知だと思います)行政とい〇考える事に多いとは思いますが、男女共、平和で安心安全を暮らしてある事が人間の本質だと思います。がんばって下さい。

(参考)調査の見方(集計ロジック／定義等)

(1)n は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。

(2)集計は、小数点第二位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。

(3)回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問については、全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合がある。

(4)家事・育児・介護時間の集計ロジック

- ・回答者は「① 0分」、「② 1～15分 未満」、「③15～30分未満」等の枠より当てはまるものを選択する。
- 各サンプルの家事・買物時間の算出は、各選択枠の中間値(例:① 0分、② 8分、③ 22.5分)を取る。

(各選択肢の中間値)

選択肢	中間値
① 0分	0分
② 1～15分未満	8分
③ 15～30分未満	22.5分
④ 30～45分未満	37.5分
⑤ 45～60分未満	52.5分
⑥ 1時間～1.5時間未満	75分
⑦ 1.5時間～2時間未満	105分
⑧ 2時間～2.5時間未満	135分
⑨ 2.5時間～3時間未満	165分
⑩ 3時間～3.5時間未満	195分
⑪ 3.5時間～4時間未満	225分
⑫ 4時間～4.5時間未満	255分
⑬ 4.5時間～5時間未満	285分
⑭ 5時間～6時間未満	330分
⑮ 6時間～7時間未満	390分
⑯ 7時間～8時間未満	450分
⑰ 8時間以上	510分

- ・月あたりの社会活動の時間も同様に、各選択枠の中間値を取る。

(5)仕事に関わる非在宅時間の集計ロジック

- ・回答者は「家を出る時間」「家につく時間」で当てはまるものを選択する。
- ・各サンプルにおいて、中間値を取る。
- ・「家につく時間」から「家を出る時間」をひいて算出する。時間が不明な方は除く。

(6)「家事」「育児」「介護」の定義

- ・調査内での家事・育児・介護には、以下が含まれる。

【家事】

炊事、食事の後片付け、掃除、洗濯、ゴミ出し、買い物、家計の管理、名もなき家事

【育児(高校生までの子ども対象)】

寝かしつけ、風呂、着替え・身支度、トイレ・おむつ替え、離乳食・幼児食・ミルクあげ、子どものお弁当作り
泣いたときにあやす、幼稚園・保育園・学校への送り、幼稚園・保育園・学校への迎え
子どもの発熱等による急なお迎え、幼稚園・保育園・学校とのやりとり、連絡帳・事務手続き
習い事・クラブ活動・塾などの送迎、子どもと遊ぶ、子どもに勉強を教える、看病・通院

【介護】

食事介助、入浴介助、清拭、排泄介助、歩行介助、更衣介助、体位変換、移乗介助